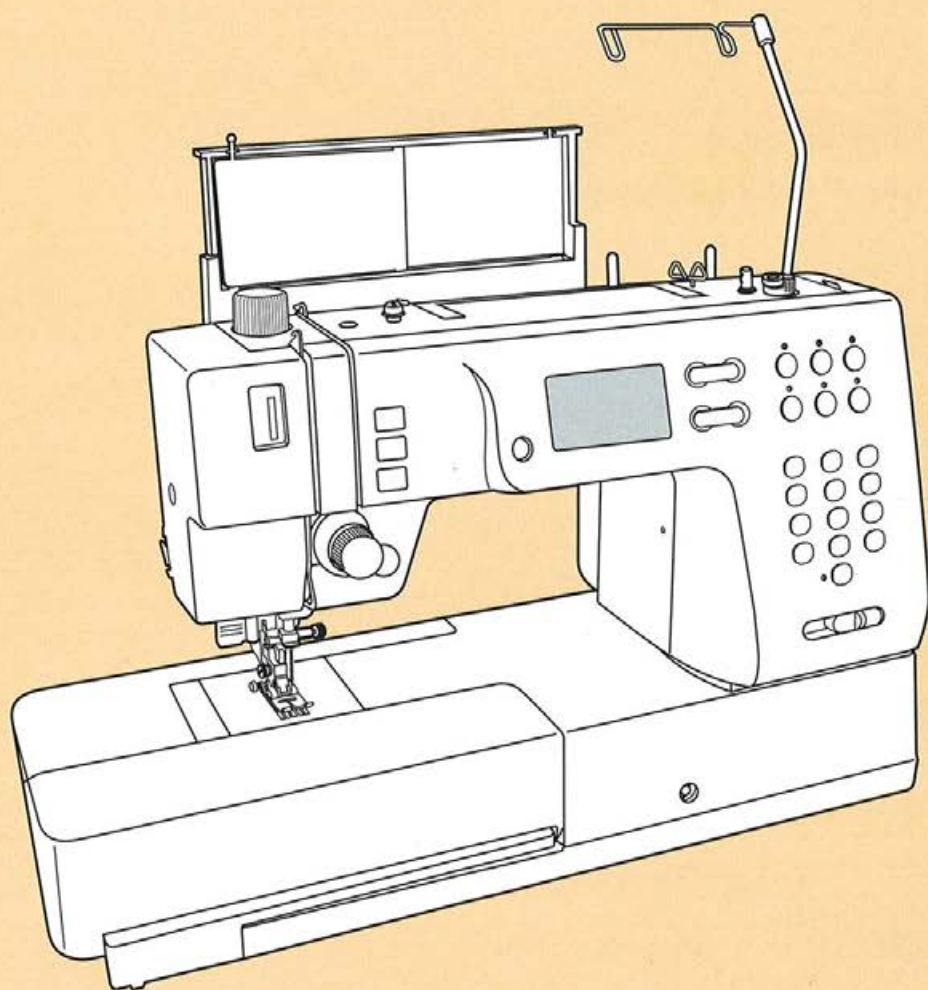


# 使用の手びき

型式: COMPANION BC9800



このミシンを安全にお使いいただくため、この「使用の手びき」をご使用の前に必ずお読みください。

## 安全に使用していただくための重要事項

ご使用前に本説明書をお読みにになり、正しくお使いください。

**危険** —感電の危険を防止するため、以下の内容を必ず守ってください。

1. 電源スイッチをオンにしたら、ミシンから離れないようにしてください。
2. 使用後または清掃前には必ず電源プラグを抜いてください。
3. LEDランプを交換するときには必ず先に電源プラグを抜いてください。この機器には 200 mW、300 mW および 200 mW のLEDランプが使用されており、交換が必要な場合にはお買い上げの販売店まで連絡をとってください。

**警告** —感電、やけど、火災の発生を防止するため、以下の内容を必ず守ってください。

1. ミシンを玩具として使用しないでください。お子様が近寄ってきた時には特に安全に注意してください。
2. 当説明書の指示にしたがってミシンを操作し、説明書に記載された正しい付属品を使用してください。
3. 配線コードまたはプラグがこわれたり、機器の動作不良が発生したり、機器を落としたり、ぶついたりした場合には、最寄の代理店または「お客様相談係」まで連絡をとってください。
4. ミシンおよびフットコントローラーの通風口が詰まらないように注意し、異物があれば取り除いてください。
5. 指をけがしないように、指を針の近くに持っていないようにしてください。
6. 針板は正規のものをご使用ください。まちがった針板を使用するとミシン針が折れることがあります。
7. 折れ曲がったり損傷をうけている針を使用しないでください。
8. 縫い中に針の位置がずれて針折れしないよう、生地を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
9. 糸通し、針交換、下糸巻き、押え交換をする場合には、必ず先に電源スイッチを切ってください。
10. カバーの取り外し、注油、本説明書に記載された修理、調整を使用者が行う場合には、必ず先に電源プラグを抜いてください。
11. 開閉可能なカバーなどに異物を入れないでください。
12. 本製品は室内でご使用ください。
13. ほこりの多い場合でのご使用は避けてください。
14. 電源プラグを抜く前には必ず電源スイッチをオフにしてください。
15. 電源プラグを抜くときには直接コード線を引っ張ったりせず、プラグをしっかりと握ってから抜いてください。
16. 機器の動作が不正確な時は電源スイッチを切りプラグを抜いてください。
17. 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
18. 電源コード、フットコントローラーがこわれた時は、お買い上げの販売店まで連絡をとってください。
19. 体調の悪い時にはミシンのご使用をご遠慮ください。この説明書の記載内容をご一読の上、ミシンの操作方法を十分理解してから使用してください。
20. LEDランプ照明は直視しないでください。

本説明書は大切に保管してください

本製品は家庭用ミシンです。

## 使用前に必ずお読みください

### 安全操作のための説明

1. ミシン操作中は針から目を離さず、はずみ車、天びん、針またはその他の動いている部分に手を近づけないでください。
2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、プラグを抜いてください。
  - ・ ミシン使用后。
  - ・ ミシン針の交換およびその他の箇所の調整前。
  - ・ 使用中に停電した場合。
  - ・ メンテナンス作業中。
  - ・ ミシンのそばから離れる時。
3. フットコントローラーの上には、物を置かないでください。
4. プラグはしっかりとコンセントに差し込んでください。

### 長くご使用いただくために

1. 直射日光の当たる場所や湿度が高い場所に本製品を保管しないでください。
2. 機器の清掃には中性石鹼または洗剤を用い、ベンゼン、希釈剤、水垢溶解剤は絶対に使用しないでください。
3. 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
4. 付属品、押え、ミシン針、その他の部分を交換または取付ける場合には、必ず本説明書を参照してください。

### 修理と調整

故障発生、或いは調整の必要が生じた時には、先に本説明書末尾の「トラブルチェック」を参考にして点検または調整を行ってください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店または「お客様相談係」までお問合せください。

# 目次

<b>操作方法</b>	
安全に使用していただくための重要事項	1-2
目次	3-4
付属品名称	5
各パーツ名称	6
フットコントローラー	7
操作選択キー	8
スタート・ストップキー	8
返し縫いキー	8
止め縫いキー	9
針上下停止キー	9
ファンクションキー	10
振り幅調整キー	10
縫い目長さ調整キー	11
模様グループ選択キー	11
ロックキー	12
下糸巻きキー	12
拡大キー	12
反転キー	13
二本針キー	13
数字選択キー	14
クイック選択+数字選択キー	14
メモリーキー	15
編集キー	15
キャンセルキー	15
<b>操作準備</b>	
電源コードとフットコントローラーの接続	16
電源コード接続	16
電源スイッチ	17
液晶パネル表示	18-19
下糸巻き	20
ポビン巻取り	20-22
ポビン装着	23-24
上糸通し	25-27
自動糸通しの使い方	28
ネットの使い方	29
下糸取り出し	30
糸切りの使い方	31
ミシン針交換	31
押え交換	32
押えホルダー取付け	32
押え取付け	32
押え取外し	32
押えの種類と機能説明	33
二段階式押え上げレバー	34
上送り押えの機能	35
上送り押え使用方法	35
上送り押え開放	36
縫う時の生地的位置	36
<b>基本的な縫い方</b>	
模様の図案	37-38
針、糸、生地の組合わせ	39
上糸糸調子調節ダイヤル	40
振り幅と縫い目長さの調整方法	41
振り幅調整	41
縫い目長さ調整	41
模様の調整	42
押え圧調整	43
実用機能	44
返し縫い	44
アームの使用方法	44
ワイドクリアテーブル	45
送り歯調整レバー	46
ひざ上げレバー装着	46
ひざ上げレバー/押え上げ	46

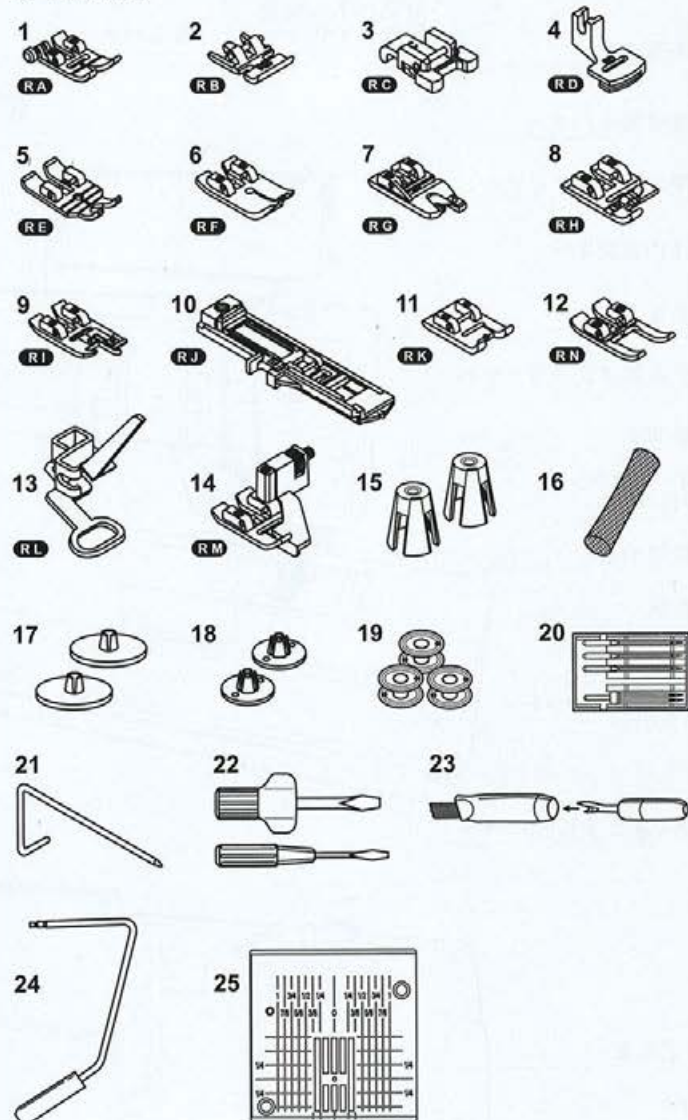
<b>实用縫いの技巧</b> .....	47
角縫い.....	47
厚地縫い.....	47
<b>模様選択</b>	
<b>模様グループ選択</b> .....	48
<b>基本縫い</b> .....	49
直線縫いと針落ち左右位置.....	49
ジグザグ縫い.....	49
伸縮縫い.....	50
まつり縫い(ブラインドステッチ).....	51
<b>端縫い(縁かがり縫い)</b> .....	52
端縫い押えを使用する場合.....	52
基本押えを使用する場合.....	52
<b>ファスナー付け</b> .....	53-54
ファスナー付け(あき止りを先に縫う方法).....	53
ファスナー付け(あき止りをファスナー付け後に縫う方法).....	54
<b>ボタン付け</b> .....	55
ボタン穴かがり.....	56-59
オートボタン穴かがり.....	56-59
伸縮素材のボタン穴かがり.....	59
かんぬき止め縫い.....	60-61
穴かがり.....	62
<b>つくろい縫い</b> .....	63-64
つくろい縫いの針跡そろい調整.....	64
巻き三つ縫い.....	65
<b>キルティング</b> .....	66-69
直線専用針板.....	66
パッチワーク.....	66
手縫い効果.....	66
パッチワークキルト.....	67
つくろい縫いと刺繍縫い.....	68-69
キルター定規の取り付け.....	70
<b>装飾技巧</b>	
<b>コード縫い</b> .....	71
一本線縫い込み.....	71
二本線縫い込み.....	71
接ぎ合わせ縫い.....	72
ギャザー寄せ.....	73-74
サテン縫い.....	75
<b>スカラップ模様縫い</b> .....	76
スカラップ模様端縫い.....	76
スカラップ(波形模様)かがり.....	76
ギャザー+飾り縫い.....	77
二本針.....	78-79
<b>飾り縫い模様</b>	
拡大機能.....	80
反転機能.....	81
<b>メモリー機能</b> .....	82-85
文字または模様の組合せ.....	82-83
模様または文字の追加.....	83
編集機能.....	84
模様または文字のキャンセル.....	84
記憶された模様組合せの縫製.....	85
<b>付録</b>	
<b>警告機能</b> .....	86
警告アイコン表示.....	86
操作説明提示の画面.....	87
キー効果音設定.....	88
<b>ミシンのメンテナンス</b> .....	89-90
液晶パネルの清掃.....	89
エクステリア清掃.....	89
カマの清掃.....	89-90
<b>トラブルチェック</b> .....	91-92
<b>模様詳細表</b> .....	93-102
<b>仕様</b> .....	103

## 付属品名称

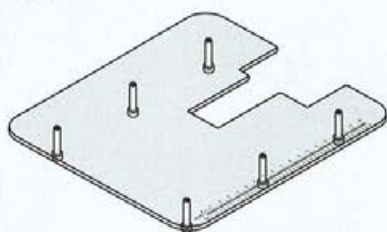
### 標準付属品

1. 基本押え(RA)
2. ファスナー押え(RB)
3. ボタン付け押え(RC)
4. ギャザー押え(RD)
5. 1/4インチ直線専用押え(RE)
6. 直線専用押え(RF)
7. 三つ巻き縫い押え(RG)
8. コード縫い押え(RH)
9. 端縫い押え(RI)
10. オートボタン穴かがり押え(RJ)
11. サテン縫い押え(RK)
12. クラフト押え(RN)
13. 刺繍縫い押え(RL)
14. まつり縫い押え(RM)
15. 糸こまホルダー
16. ネット
17. 糸こまキャップ(大)2個
18. 糸こまキャップ(小)2個
19. ボビン3個
20. ミシン針セット(HAX1 14番3本、HAX1 二本針1本)
21. キルター定規
22. ドライバー(大、小)
23. ブラシ・目ほどこきセット
24. ひざ上げレバー
25. 直線専用針板
26. ワイドクリアテーブル

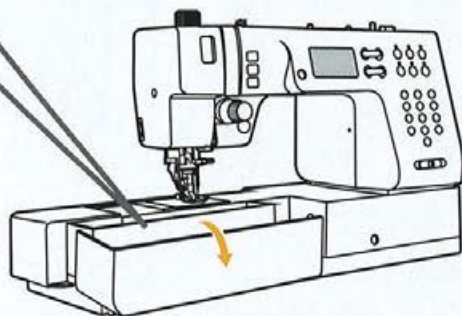
### 標準付属品



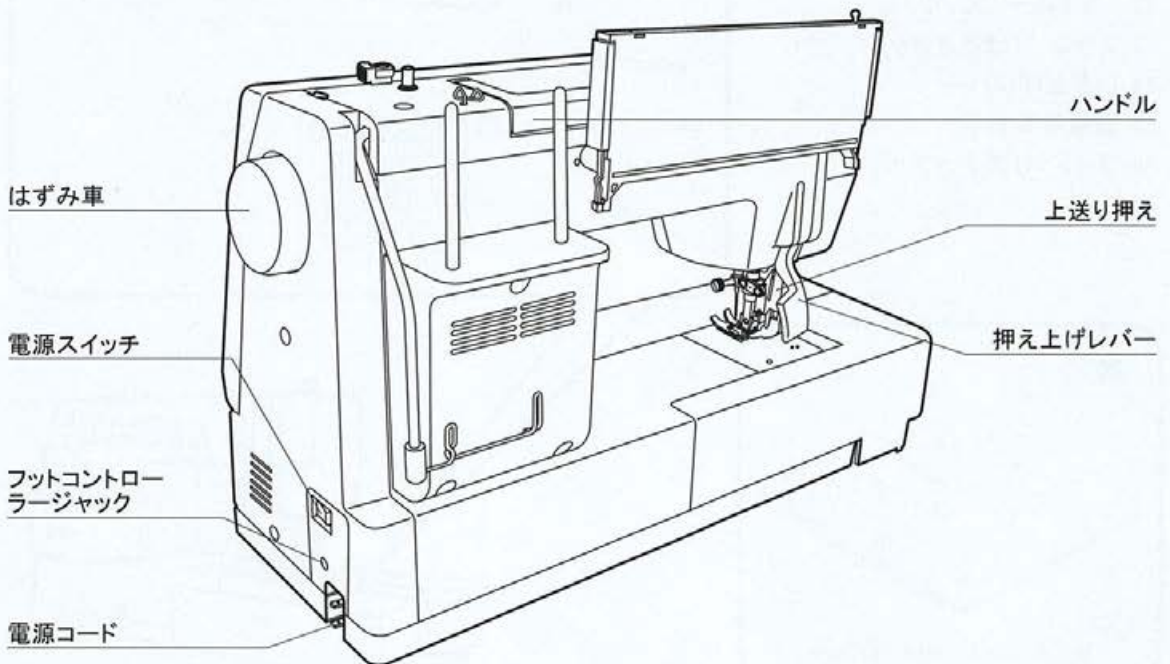
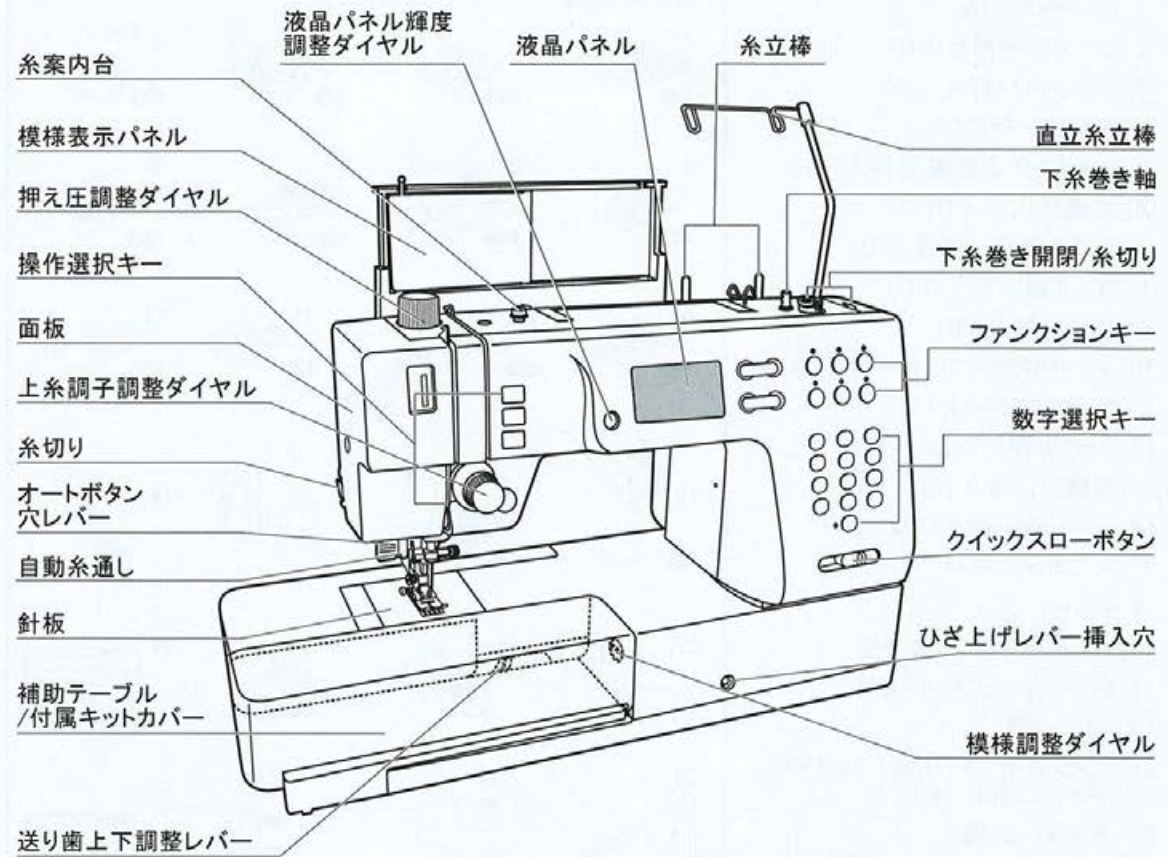
26



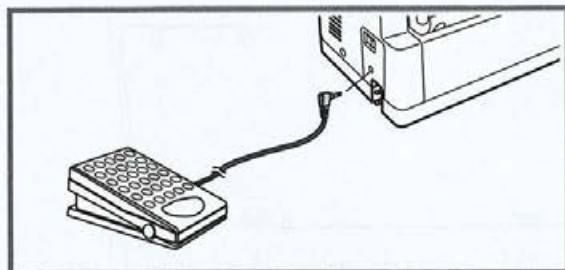
サイズ: 600(幅)×460(奥行)mm



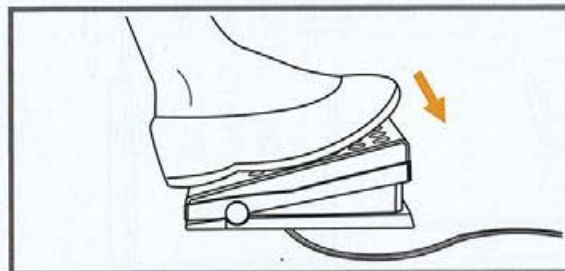
# 各パーツ名称



## フットコントローラー




フットコントローラープラグを側面にあるジャックに挿入します。



フットコントローラーを踏み込むと縫いが開始され、踏み込みストロークが大きいほど縫い速度は速くなり、ストロークが小さいほど遅くなります。踏み込みを止めると縫いは停止されます。

フットコントローラー踏み込み一回につき針が上昇または下降します。

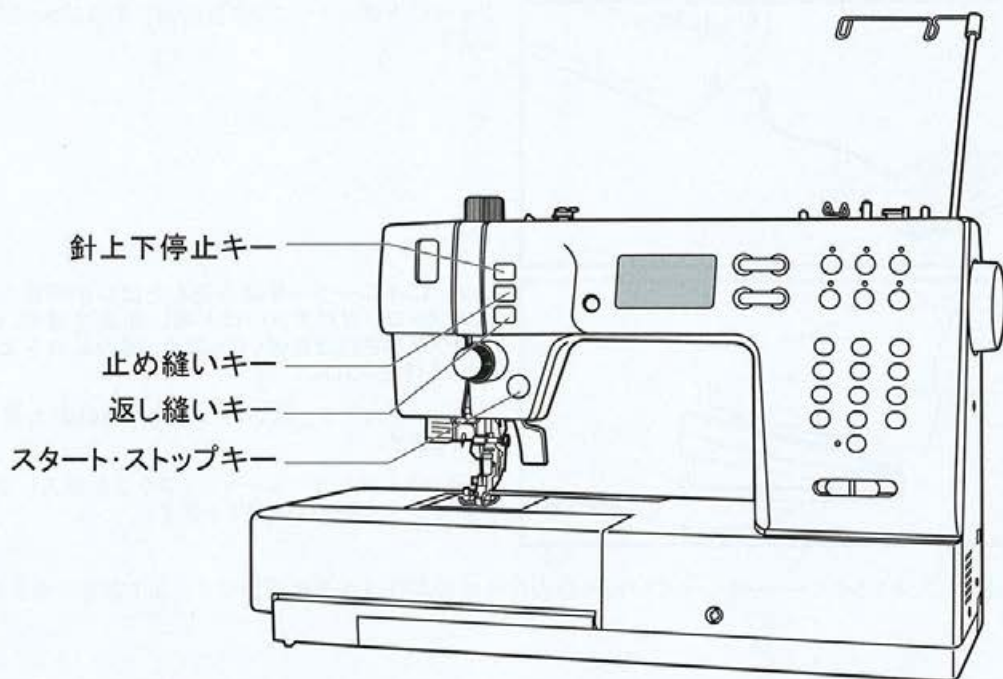
フットコントローラージャックにプラグを挿入してもスタート・ストップキーは使用できます。

 注意: フットコントローラーをいっぱい踏み込んだ時の最高速度を速度調節ダイヤルで調整できます。

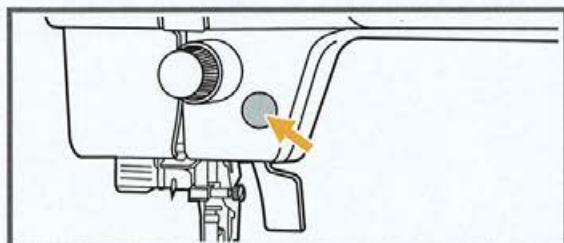


警告: 本製品の電源に問題がある場合にはお買い上げの販売店または「お客様相談係」にお問い合わせください。本製品に使用されるフットコントローラーは台湾鍵泓有限公司製造の C-9001 型に限ります。



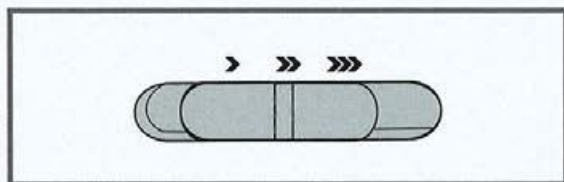


## ■ スタート・ストップキー



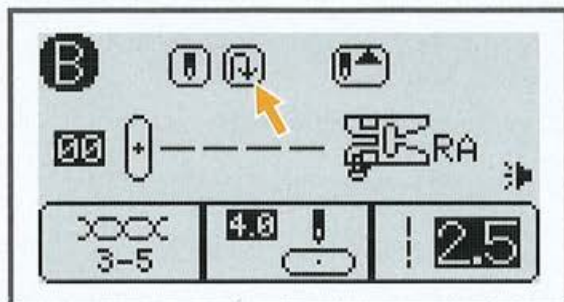
スタート・ストップキーを押すことにより縫いが開始または停止されます。


スタート・ストップキーを押すと低速で縫いが開始されます。



スライド式速度調節ボタンで縫い速度を調節します。右にスライドさせると早くなり、左にスライドさせると遅くなります。

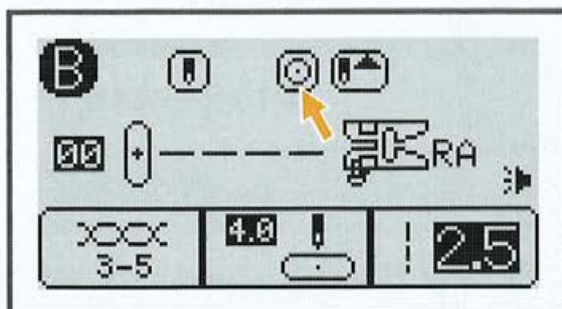
## ■ 返し縫いキー



Bグループ模様 00-06、27-29、またはCグループ模様 00-02、04 を選択すると返し縫いができます。液晶パネルに矢印のような“”アイコンが図示されると、返し縫い中であり、返し縫いキーを押して元に戻すと模様縫いが再開されます。

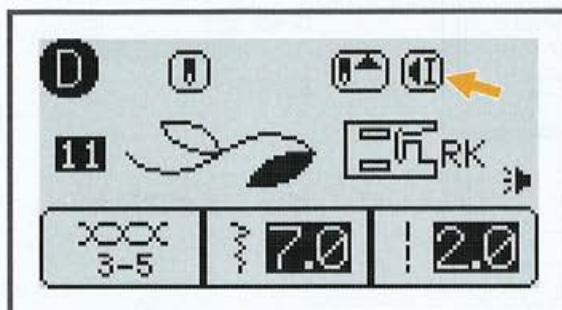
Bグループ模様 07-26、50-92、Cグループ模様03、05-24、およびDグループ模様 00-78 を選択し、低速送りで模様が縫われているとき、返し縫いキーを押すと、すぐさま三針止め縫いをして針上下停止で終わります。

## ■ 止め縫いキー



Bグループ模様 00-05、45 およびCグループ模様 01-02、04、18 を使用中に止め縫いキーを押すとモニターに“③”アイコンが表示され、すぐさま三針止め縫いをして針上停止で終わります。縫い始めと縫い終わり等、強化が必要なところに適しています。

縫いを続けたい場合はもう一度スタート・ストップキーを押す、またはフットコントローラーを踏み込んでください。

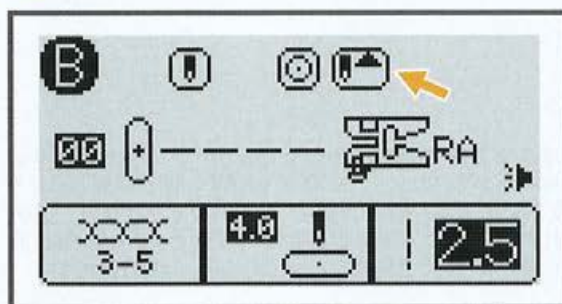


縫っている模様を終えたいとき、または一最小単位だけ模様を縫いたいとき(Bグループ模様 00-05、27-49、およびCグループ模様 00-02、04、18を除く)、止め縫いキーを押すと、液晶モニターに“⑦”アイコンが表示され一最小単位の模様を終えたところで針は三針止め縫いをして、針上停止で終わります。

縫いを続けたい場合はもう一度スタート・ストップキーを押す、またはフットコントローラーを踏み込んでください。

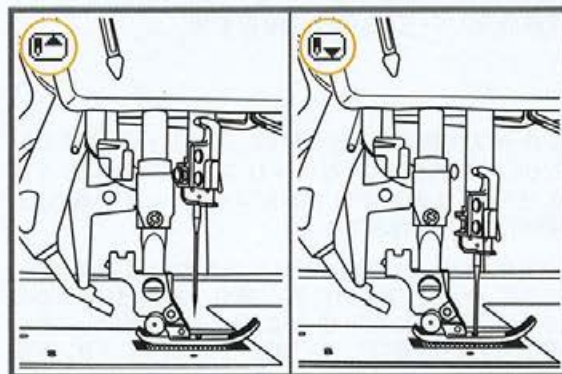
止め縫いキーを二回押すとモニター上の“⑦”アイコンは消えて機能は取り消され、模様選択を変えても機能は消失したままとなります。

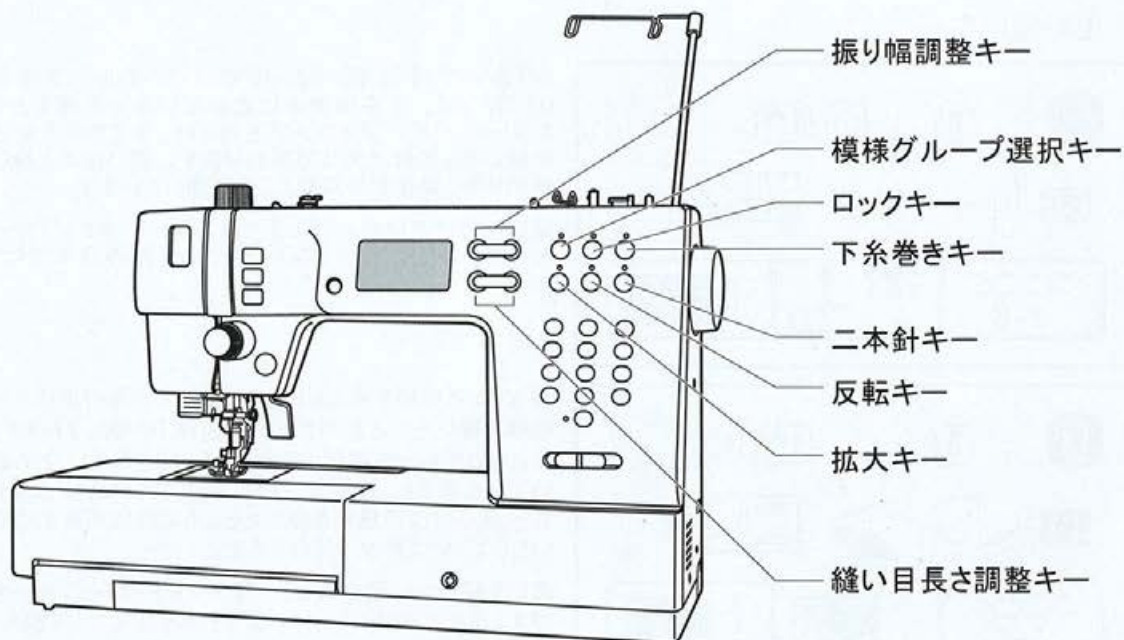
## ■ 針上下停止キー



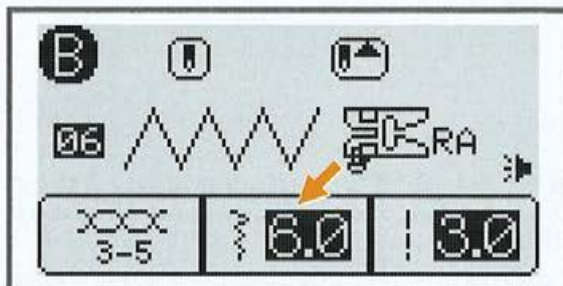
液晶モニターに“③”アイコンが表示されると針上停止となり、“⑤”アイコンが表示されると針下停止となります。

このキーを使うことにより針の停止位置を変更することができます。つまり、針上停止のときにこのキーを押すと針下停止に変更され、針下停止のときにこのキーを押すと針上停止に変更されます。

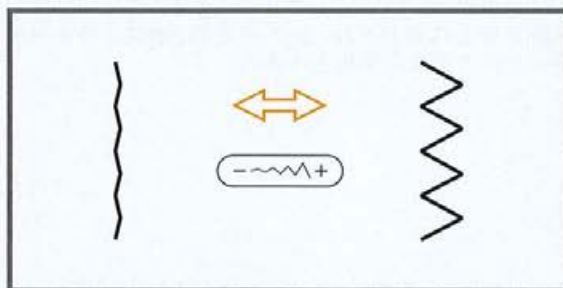




■ 振り幅調整キー

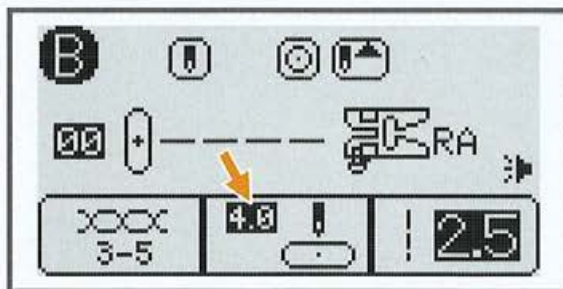


模様を選択されると、標準設定値が自動的にパネル表示されます。



必要とする設定値を手動調整できます。“+”キーを押すと振り幅が広くなり、“-”キーを押すと振り幅が狭くなり、0.1 間隔で振り幅の増減がパネル表示されます。選択された模様により振り幅の手動調整のピッチと範囲が異なりますが、最大調整範囲は 0.0 から 8.0 の間です。

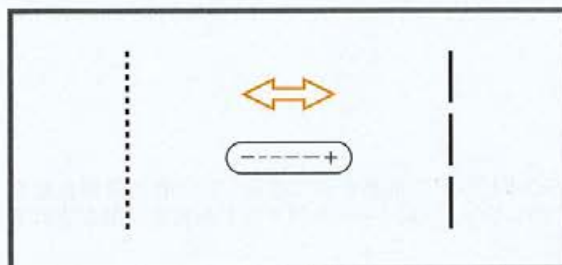
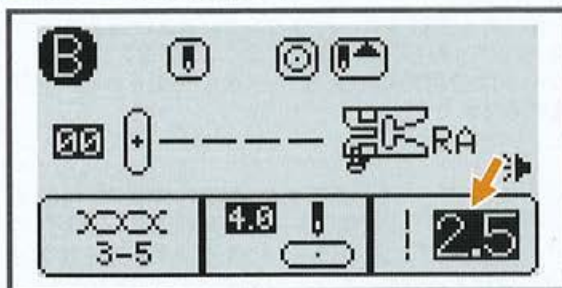
一部の模様では振り幅設定値が制限されています。(詳細は 93 ページの模様詳細表参照)



Bグループ模様 00-05、27-29、Cグループ模様 00-02、04、18(直線縫い)およびDグループ模様 50 を選択したとき、標準設定値である“4.0”と“中央針落ち”が自動的にパネル表示されます。

振り幅調整キーの機能は針落ちの左右位置調整であり、模様によって針落ちの位置が異なります。針落ちの位置を右に移動させたい場合は“+”ボタンを押し、左に移動させたい場合は“-”ボタンを押します。ボタンを押すごとに針落ち位置の数値が 0.1 間隔で増減し、パネル表示されます。

## ■ 縫い目長さ調整キー




模様を選択されると、標準設定値が自動的にパネル表示されます。

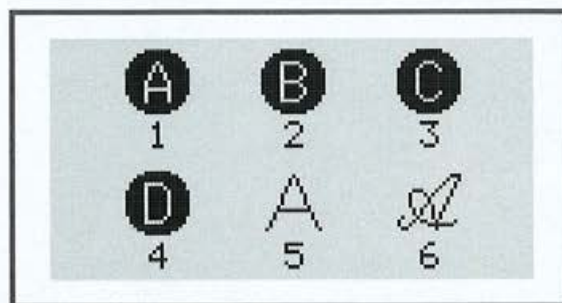
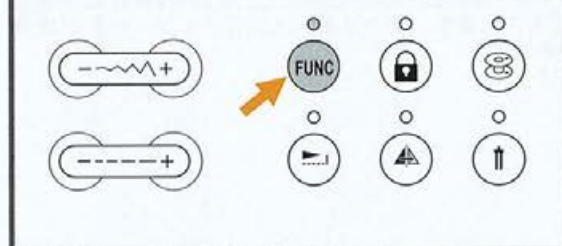
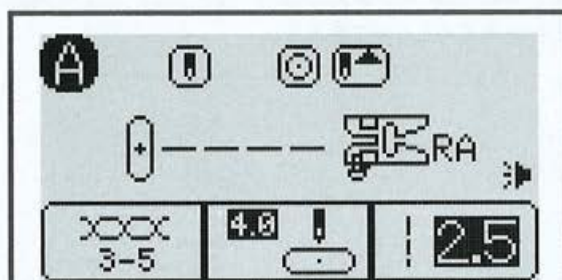
必要とする設定値を手動調整できます。“+”キーを押すと縫い目長さが長くなり、“-”キーを押すと縫い目長さが短くなり、0.1 間隔で縫い目長さの増減がパネル表示されます。

選択された模様により縫い目長さの手動調整のピッチと範囲が異なりますが、最大調整範囲は 0.0 から 5.0 の間です。

縫い目は生地、ミシン針、模様により適切な長さに調整されるべきであり、一般的には厚地になるほど縫い目を長めに設定すると効果的です。

 注意：一部の模様には縫い目長さの設定値に制限が設けられています。

## ■ 模様グループ選択キー



電源をオンにするとクイック選択モードである“A”が自動的にモニター表示され、“**FUNC**”キーを押すとLEDランプが点灯され、模様グループがウインドウ表示されますので、選択したい模様を数字で入力します(例：“**FUNC**”キーを押し、Bグループ選択なら数字の2を入力し、模様表示パネルに表示されたBグループの模様コードの二桁の数字を入力して模様を選択します)。

**A** クイック選択モード(Aグループ) – 数字キーを使って直接一桁入力する、または“**FUNC**”キー入力後、  
1 “1”のキーを押してクイック選択モードに入ります。

**B** 一般模様と装飾模様(Bグループ) – “**FUNC**”キー入力後、“2”のキーを押し、“0”から“9”までの数字キーを使い、二桁の数字を入力して模様を選択します。

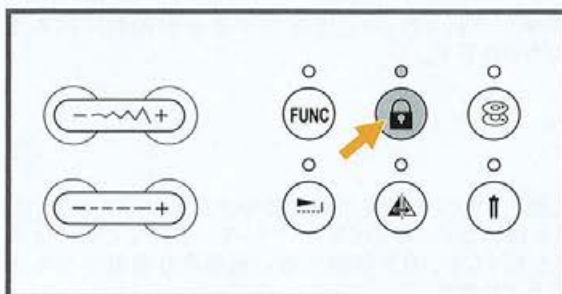
**C** パッチワーク縫い模様(Cグループ) – “**FUNC**”キー入力後、“3”のキーを押し、“0”から“9”までの数字キーを使い、二桁の数字を入力して模様を選択します。



**D** 装飾模様(Dグループ) – “**FUNC**”キー入力後、“4”のキーを押し、“0”から“9”までの数字キーを使い、二桁の数字を入力して模様を選択します。


**A** ブロック体文字グループ – “**FUNC**”キー入力後、“5”のキーを押し、“0”から“9”までの数字キーを使い、二桁の数字を入力して模様を選択します。

**F** 筆記体文字グループ – “**FUNC**”キー入力後、“6”のキーを押し、“0”から“9”までの数字キーを使い、二桁の数字を入力して模様を選択します。

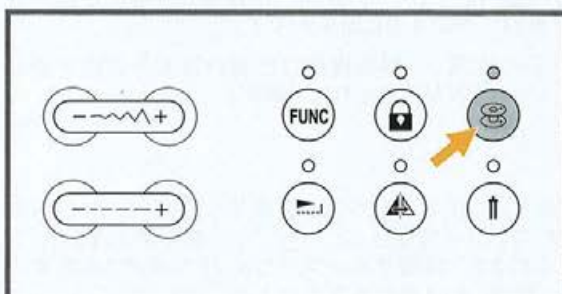
## ■ ロックキー




“”キーを押すと、ファンクションおよび選択キーがロックされ、再び“”を押すとロック解除されます。このキーは使用時に設定値が不意に変更されるのを防止するためです。

 警告:ロックキーを押すと、針上下停止キー、止め縫いキー、返し縫いキー、下糸巻きキー、クイック・スローボタン、スタート・ストップキーはそのまま機能する以外、すべての機能がロックされます。

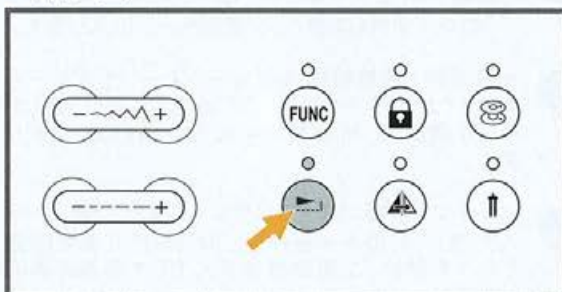
## ■ 下糸巻きキー




空のポビンを下糸巻き軸に置き、下糸巻き開閉を左側に押しやり、“”キーを押すと下糸巻きが開始されます。

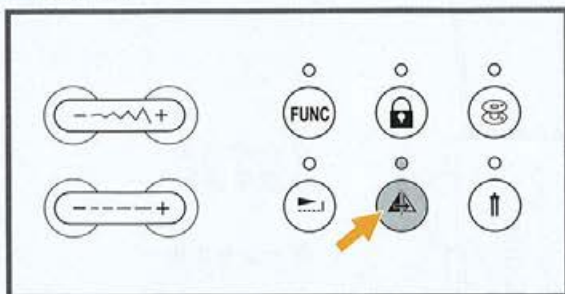
下糸巻きの時、キーのLEDランプが点灯します。下糸巻き機能は独立操作が可能で、縫いながらもこの機能を使用することができます。


## ■ 拡大キー



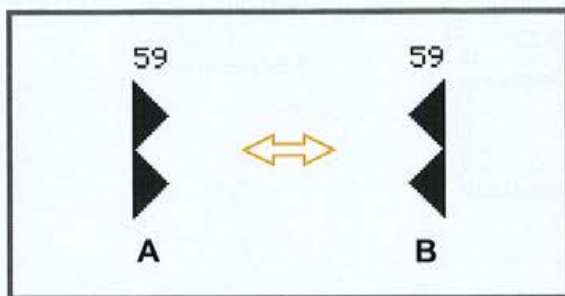
Bグループの模様 58-75 を選択し、“”キーを押すとキーのLEDランプが点灯し、模様が2倍から5倍に拡大されます。縫い目長さは同じですが、針数が増加されます。

## ■ 反転キー



“”キーを押すと、縫い模様が左右に反転されます (Bグループの模様 30-49 を除く)。

キーを押すとLEDランプが点灯され、もう一度反転キーを押すと反転機能がキャンセルされます。

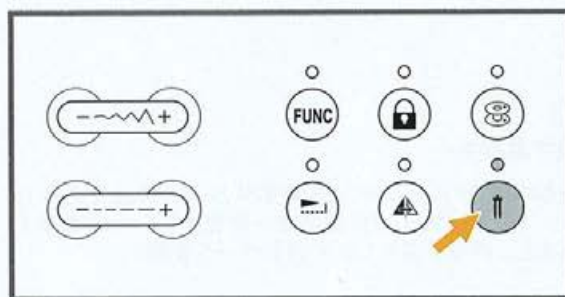


液晶パネルに反転後の模様が表示されます。


A. 通常の模様。


B. 反転模様。

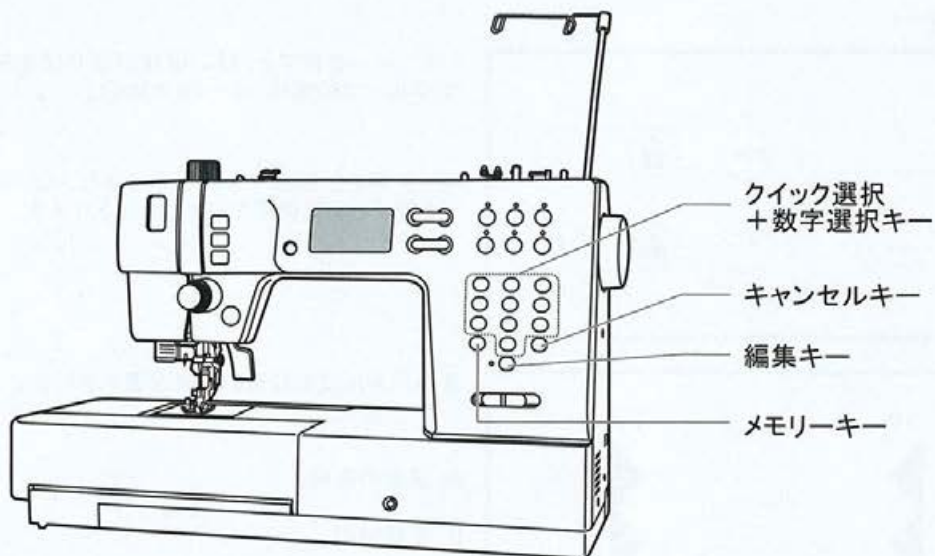
## ■ 二本針キー



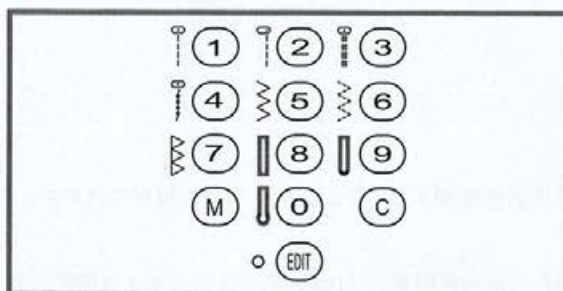
二本針を使用すると同じ模様が平行に縫製されます。

“”キーを押すとLEDランプが点灯すると同時に、モニターの振り幅設定表示が模様によって変更されます。二本針のときの振り幅設定値は 2.0-6.0mm で、模様により設定値も異なります。

 注意: Aグループの模様 0、8、9、Bグループの模様 27-49、およびブロック体文字、筆記体文字に対しては二本針は使用できません。

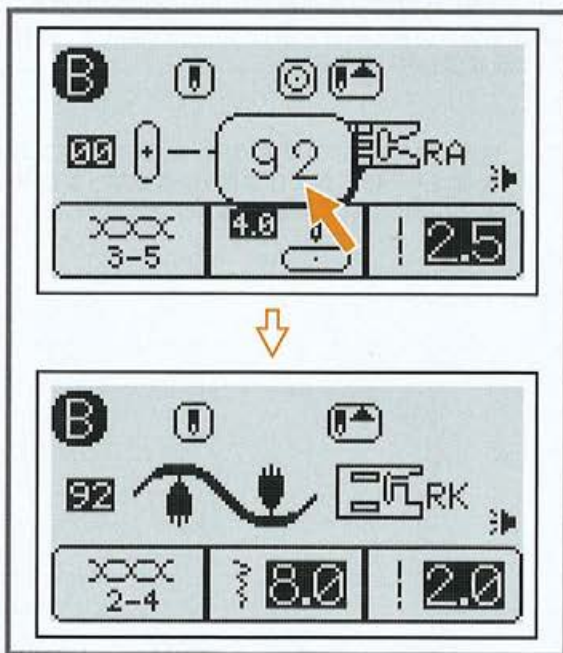


## ■ クイック選択 + 数字選択キー



### クイック選択キー

クイック選択モードの時、“0”から“9”までの数字キーを使い、最もよく使う 10 種類の模様を直接入力して選択します。

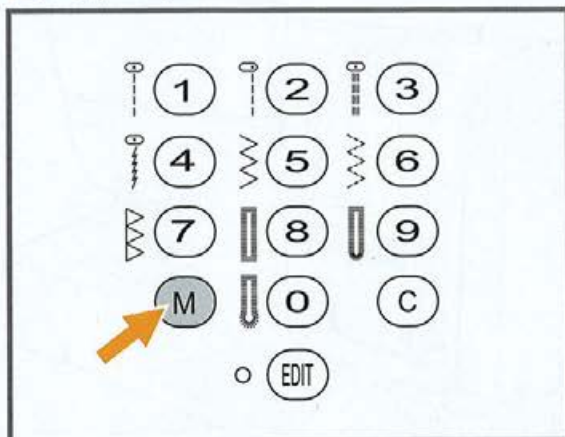


### 数字選択キー

一般模様グループまたは文字グループに設定された時、“0”から“9”までの数字キーを使って二桁の数字を入力し、模様を選択します(11 ページ参照)。

例：Bグループから模様コード 92 を選択する場合、“**(FUNC)**”キー入力後、“2”のキーを押してBグループを選び、さらに“92”を入力します。


## ■ メモリーキー



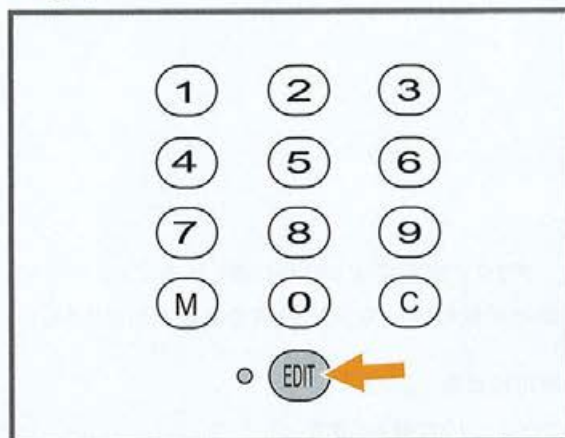
“(M)”キーを押すとメモリーモードに切り替わります。文字または模様のご組合せが 8 組まで編集でき、1 組当たり 20 の模様を記憶させることが可能です。

メモリーモードにおいては振り幅調整キーの“+”または“-”を上下移動キーとして用い、カーソルを前後に移動させて選択する文字と模様を確認し、セット完了後、再び“(M)”キーを押して保存し、メモリーモードを閉じます。

詳しくは 82 ページ参照。

 注意: クイック選択の模様および B グループの模様 27-49 および C グループの模様 00 はメモリー保存できません。

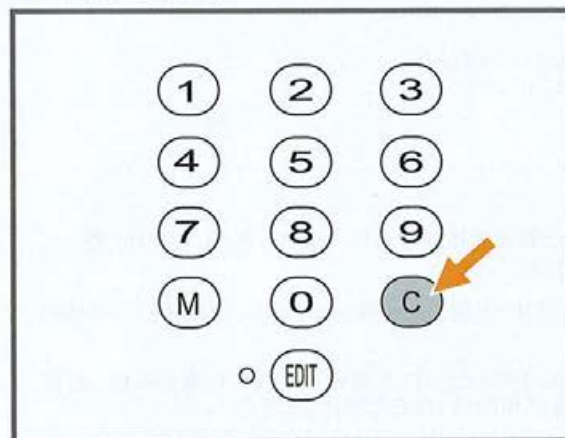
## ■ 編集キー



メモリーモードに記憶された模様のご振り幅、縫い目長さを変更したい場合、先に振り幅調整キーの“+”または“-”を用いてカーソルを前後に移動させて編集したい文字または模様を選びます。さらに“(EDIT)”キーを押すとキーのそばの LED ランプが点灯し、編集モードに切り替わりますので、ここで縫い目長さ、振り幅を変更します。再び“(EDIT)”キーを押すとメモリーモードに戻ります。

詳しくは 84 ページ参照。

## ■ キャンセルキー

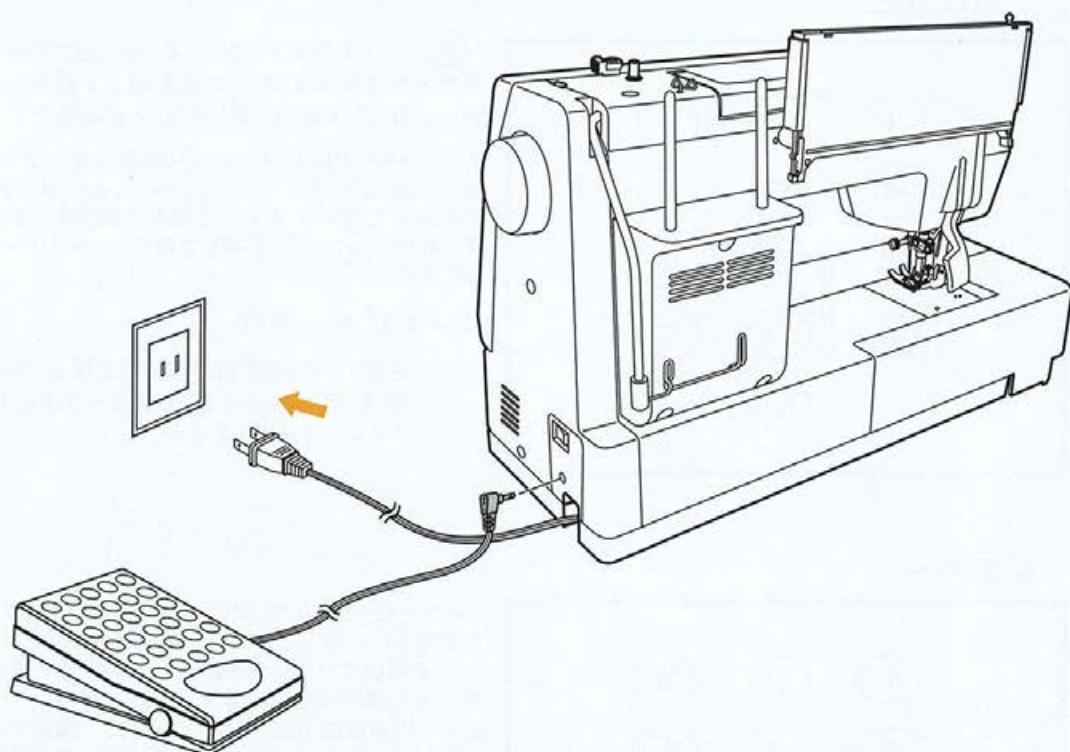


模様選択に当たり誤ったコードを入力し、キャンセルしたい場合には、“(C)”キーを押してキャンセルします。

詳しくは 84 ページ参照。




## 電源コードとフットコントローラーの接続

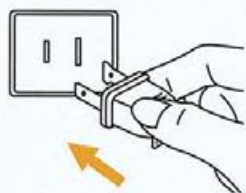


### ■ 電源コード接続

1. 電源プラグを持って引っ張りながら電源コードを引き出し、プラグを家庭用コンセントに差し込みます。
    - 電源コードの端には赤のテープが巻いてあります。この印が見えたら、電源コードをそれ以上引き出さないでください。
  2. 電源スイッチをオンにし、ミシンのランプが点灯すると使用可能状態となります。
  3. フットコントローラープラグを本体側面のフットコントローラージャックに挿入します。
    - フットコントローラーは必ず C-9001 型を使用してください。
- ◎ 注意：電源スイッチをオンにするとコンピュータが針上停止位置を自動探知し、縫い始めの第一針の時にはコンピュータが針下停止位置を自動探知するため、機器は一時停止し、位置探知の効果音が発生しますが、これは正常な現象ですので安心してご使用ください。

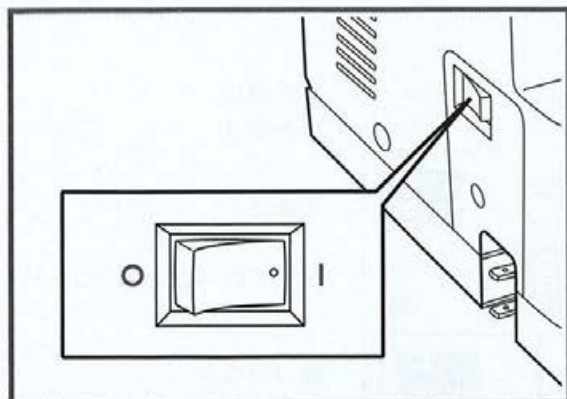
 警告：電源コードを接続した後は、ミシンのそばを離れないでください。使用後および修理前には必ず電源プラグを抜いてください。

#### 注意：



- 感電や火災を防止するため、電源を接続する時にはプラグをしっかりと握ってコンセントに差し込んでください。
- 電源プラグを抜くときには直接コード線を引っ張ったりせず、プラグをしっかりと握ってから抜いてください。
- 本製品の電源またはフットコントローラーに不具合が発生した場合には、お買い上げの販売店または「お客様相談係」までお問合せください。

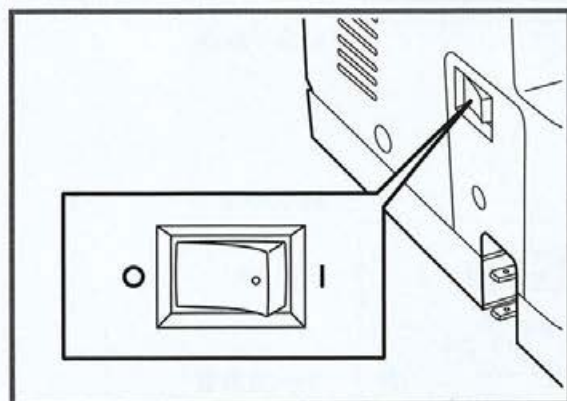
## 電源スイッチ



### 電源オン

電源スイッチは本体の右側面にあり、オンにする時は右側の“|”の位置に押ししてください。


電源がオンになるとランプが点灯します。



### 電源オフ

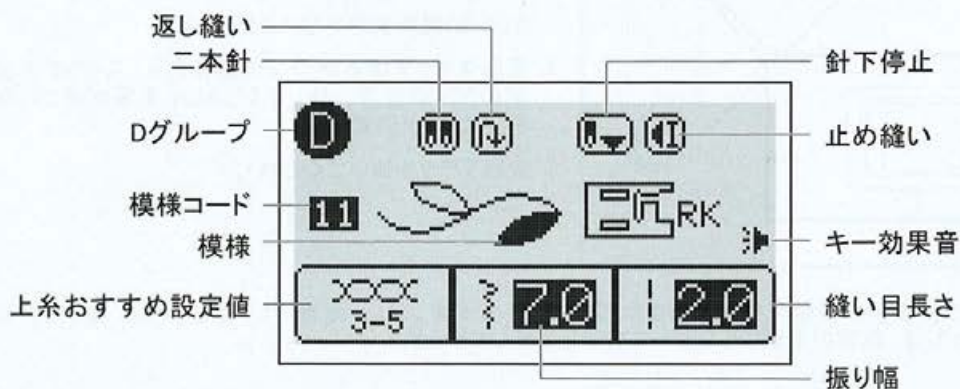
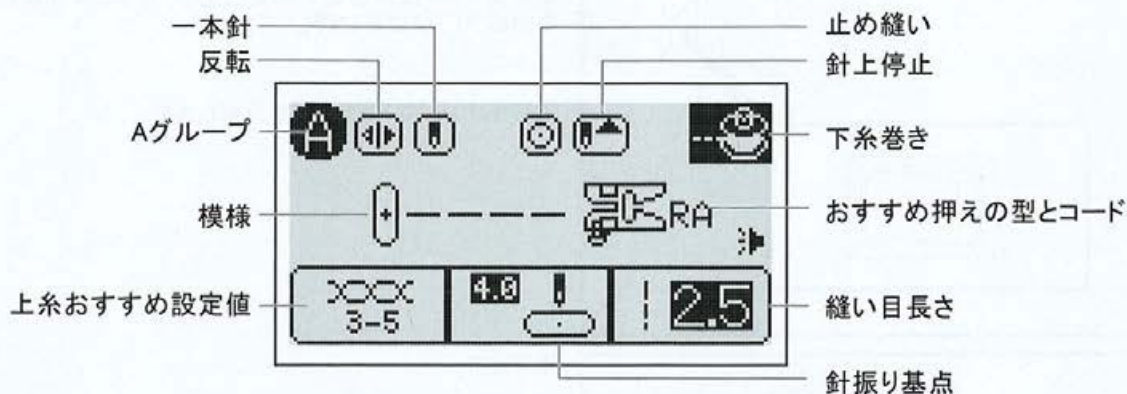
ミシン使用後は電源をオフにしてください。また、ミシンを他の場所へと搬送する場合、電源をオフにしてから機器を移動させてください。

1. ミシンが使用状態でないことを確認。
2. 電源スイッチは本体の右側面にあり、スイッチを左側の“○”の位置に押ししてください。電源がオフになるとランプが消滅します。
3. 電源プラグを抜いてください。

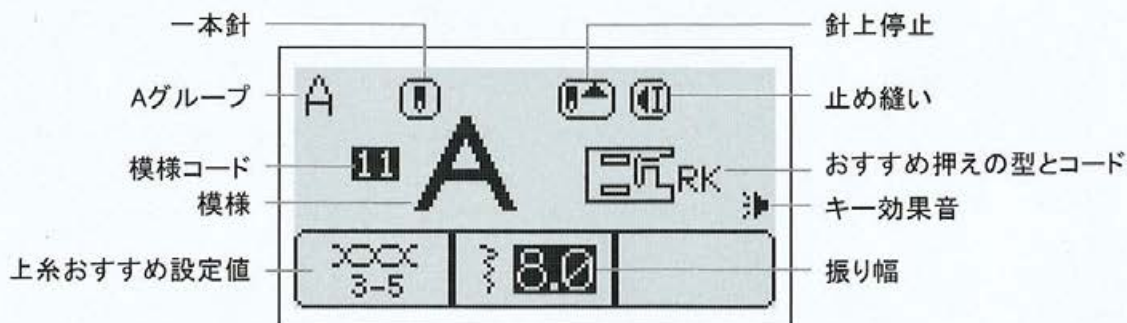
 注意：ミシン使用中に停電が発生した場合、電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。再始動に当たっては、規定の手順にしたがって機器を操作してください。

# 液晶パネル表示

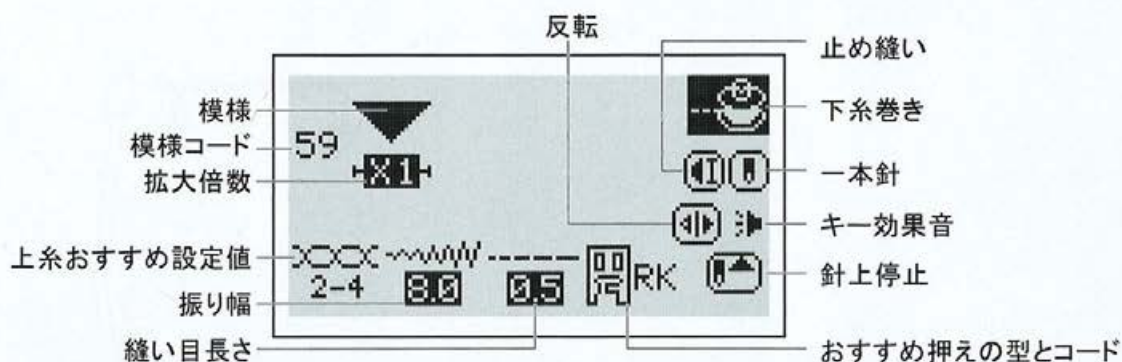
## ■ 模様



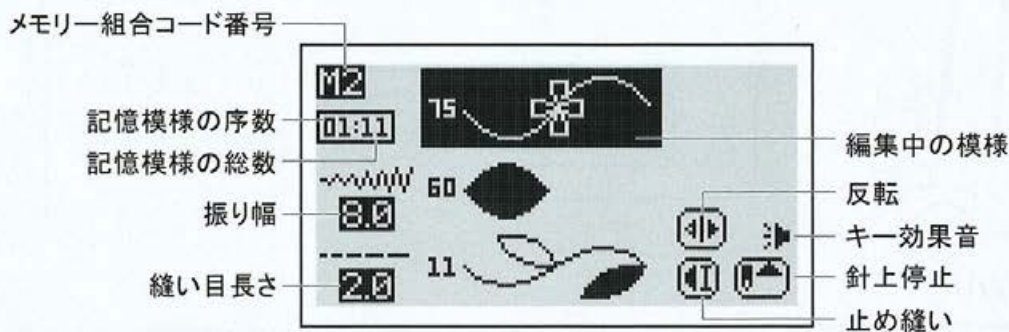
## ■ 文字



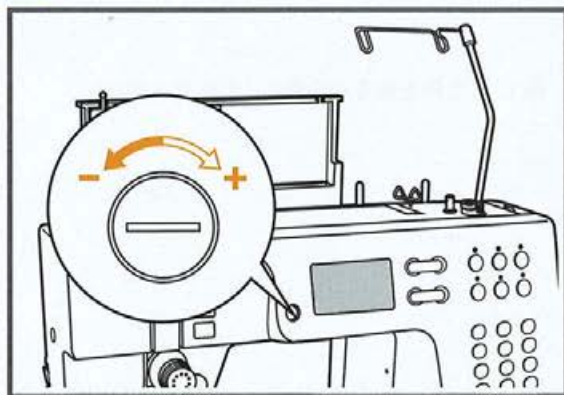
## ■ 拡大



## ■ メモリー



## 液晶パネル輝度調整

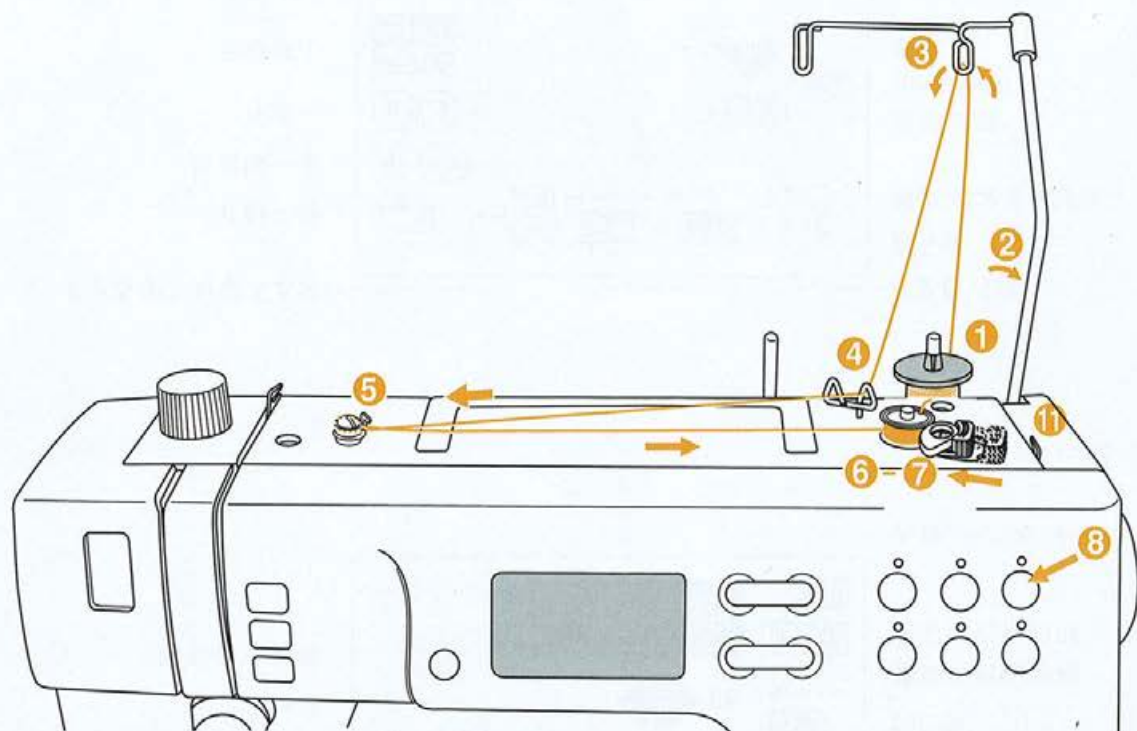


液晶パネル輝度調整ダイヤルはモニターの左側にあり、このダイヤルでモニターの輝度を調整します。

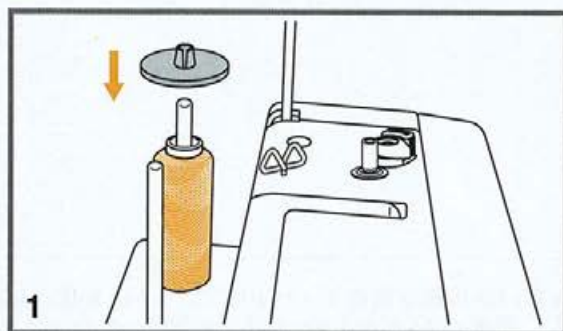
電源をオンにしてもモニター表示されない場合は、このダイヤルでモニター輝度を調整してください。

明るくしたい場合：ダイヤルを“+”の方向(右)に回す。

暗くしたい場合：ダイヤルを“-”の方向(左)に回す。

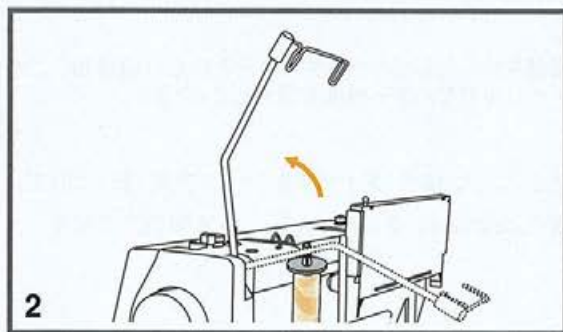


■ ボビン巻取り

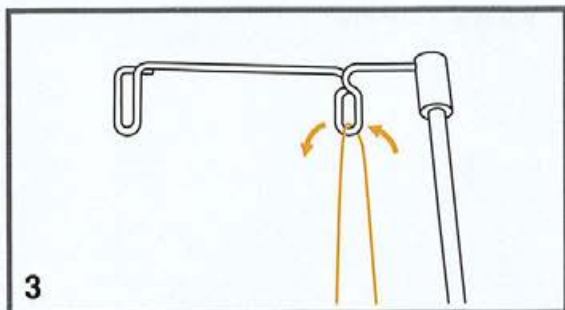


1. 糸こまを糸立棒にセットし、糸の脱落防止のため糸こまキャップをします。こま巻きの場合は小型キャップを使用してください。

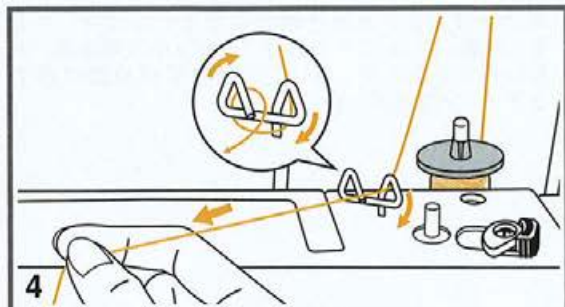
キャップの直径が糸こまの直径を下回ると、巻き取りの時の糸切れの原因になりますので、キャップの直径は糸こまの直径以上であること。



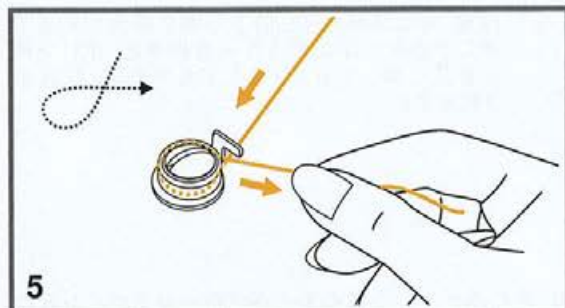
2. 直立糸立棒を後方から起こして直立させる。



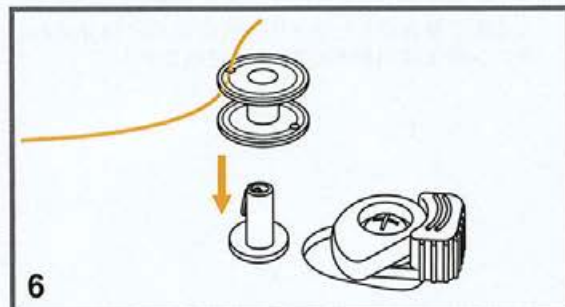
3. 糸を後ろから前に、直立糸立棒に通す。



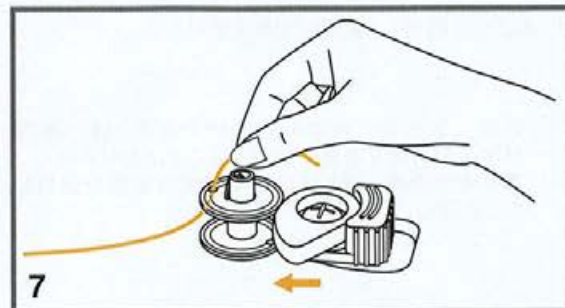
4. 糸を図のようにアーム糸掛けに通す。



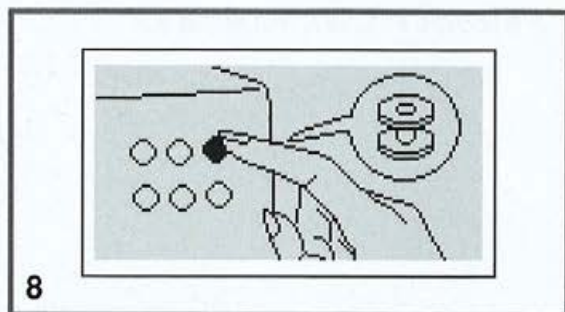
5. 糸を図のように、時計回りの方向に糸案内台に巻き付ける。



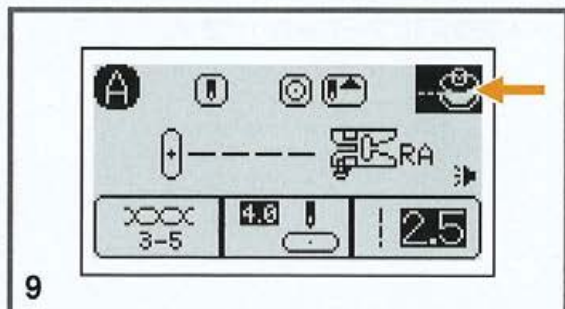
6. 糸を図のように、ボビンの穴に通し、下糸巻き軸に取り付ける。



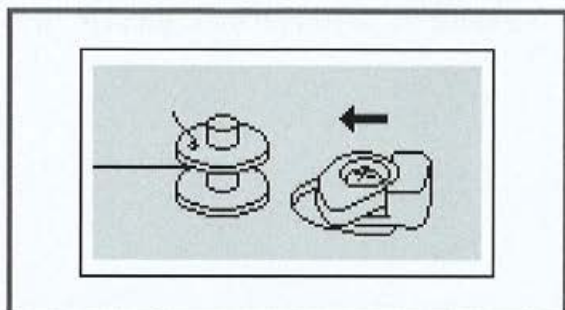
7. 指で糸端をつかみながら、ボビン押えを左に押しやり、下糸巻き軸に付ける。



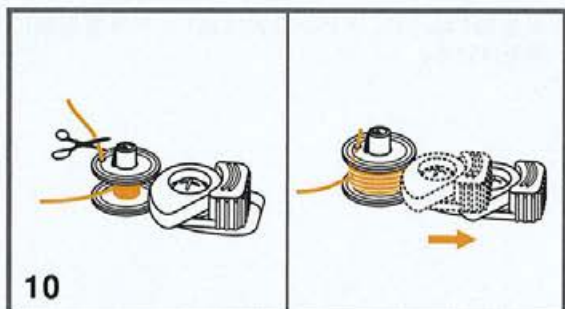
8. 下糸巻きキーを押す。



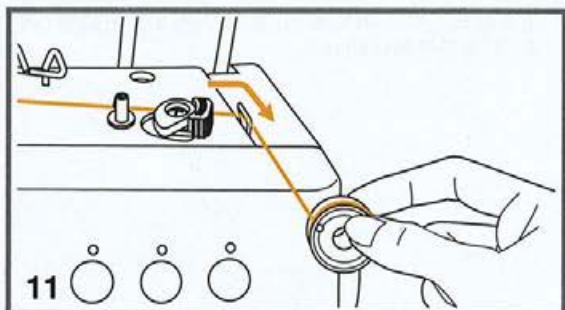
9. ボビン押えを下糸巻き軸の位置まで左に押しやると、液晶パネルに下糸巻きアイコンが表示され、ボビン押えを右に押し戻して正常縫製の位置に戻すとアイコンは消滅します。



注意：ボビン押えを左の下糸巻き軸の位置まで押しやる前に下糸巻きキーを押すと、ボビン押えを左に押しやるよう喚起するアイコンが表示されます。

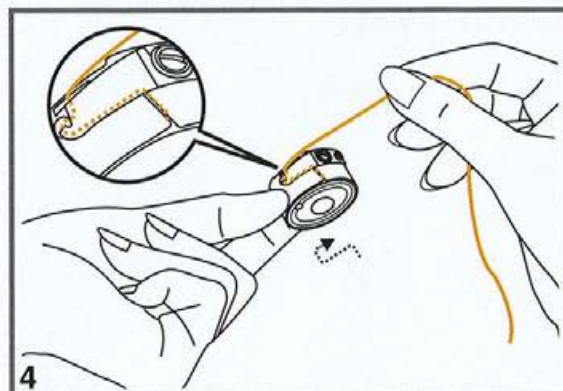
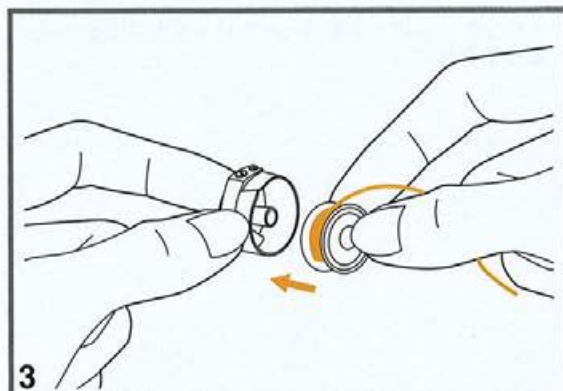
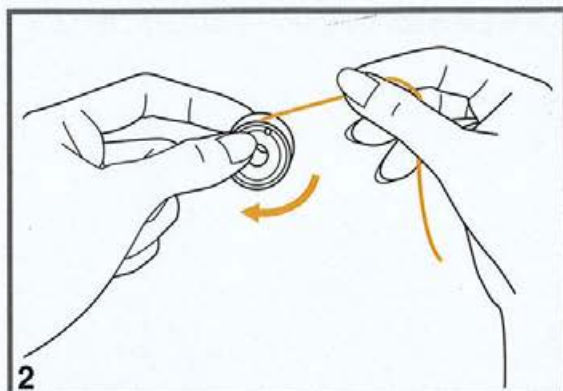
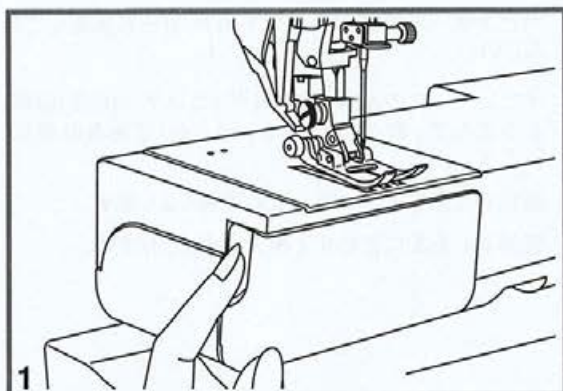


10. 先にボビンに少量の糸を巻き取らせてボビン穴に通した糸を切り、巻き取り動作を継続。いっぱいになるまで巻き取るとモーターが自動的に停止され、ボビン押えは自動的にリセットされます。



11. ボビンを取外し、糸切りで糸を切ります。

警告：下糸巻き軸は独立システムのため、縫い速度が下糸巻き取り速度に影響することはありません。下糸巻きの時、指と針の間に安全な距離を保持してください。

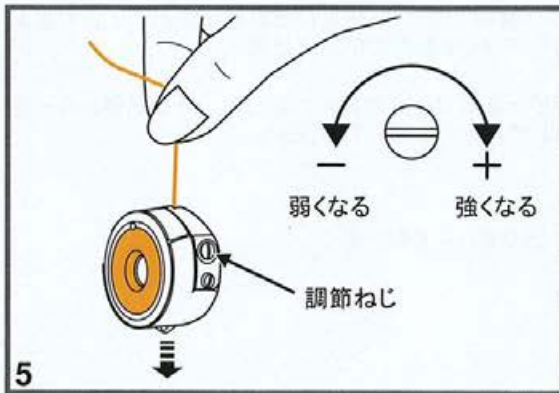


**⚠ 警告:** ボビン装着または取替えの前に、必ず電源スイッチをオフにしてください。

ボビン装着または取替えの前には、針上下停止キーを押して針上停止にしてください。

1. カマカバーを開ける。
2. ボビンの糸巻きが時計回りであることを確認(矢印の方向)。
3. ボビンケースを手に取り、ボビンを時計回りの方向にはめ込む。
4. 糸端を左から右へ、空転防止ばねの下方へ通し、ケースの糸取り口から取り出す。



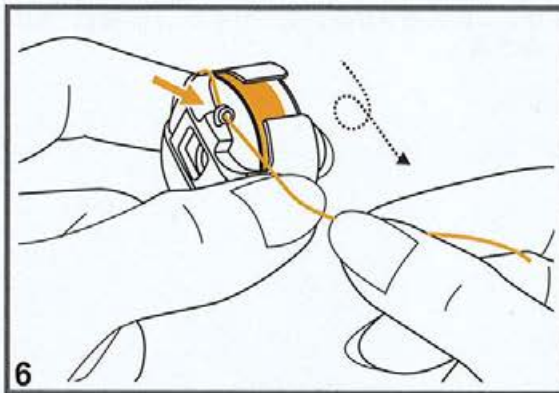


5. ボビンケースの調節ネジで下糸糸調子を調節してください。

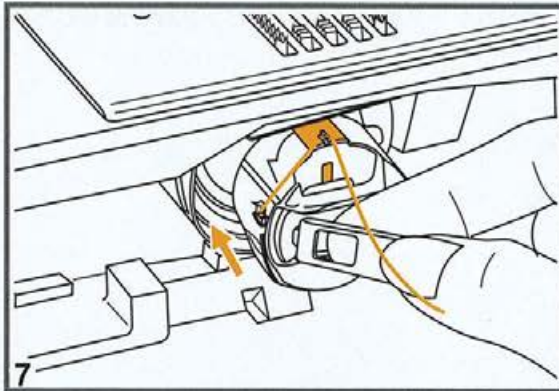
ボビンケースの糸調子は糸(ポリエステル60番)の端をつまんで、軽くふったとき、ゆっくり落ちるのが目安です。

調節ねじを右にまわすと張力は強くなります。

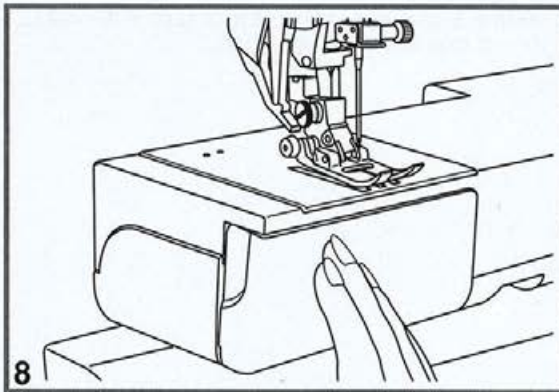
調節ねじを左にまわすと張力は弱くなります。



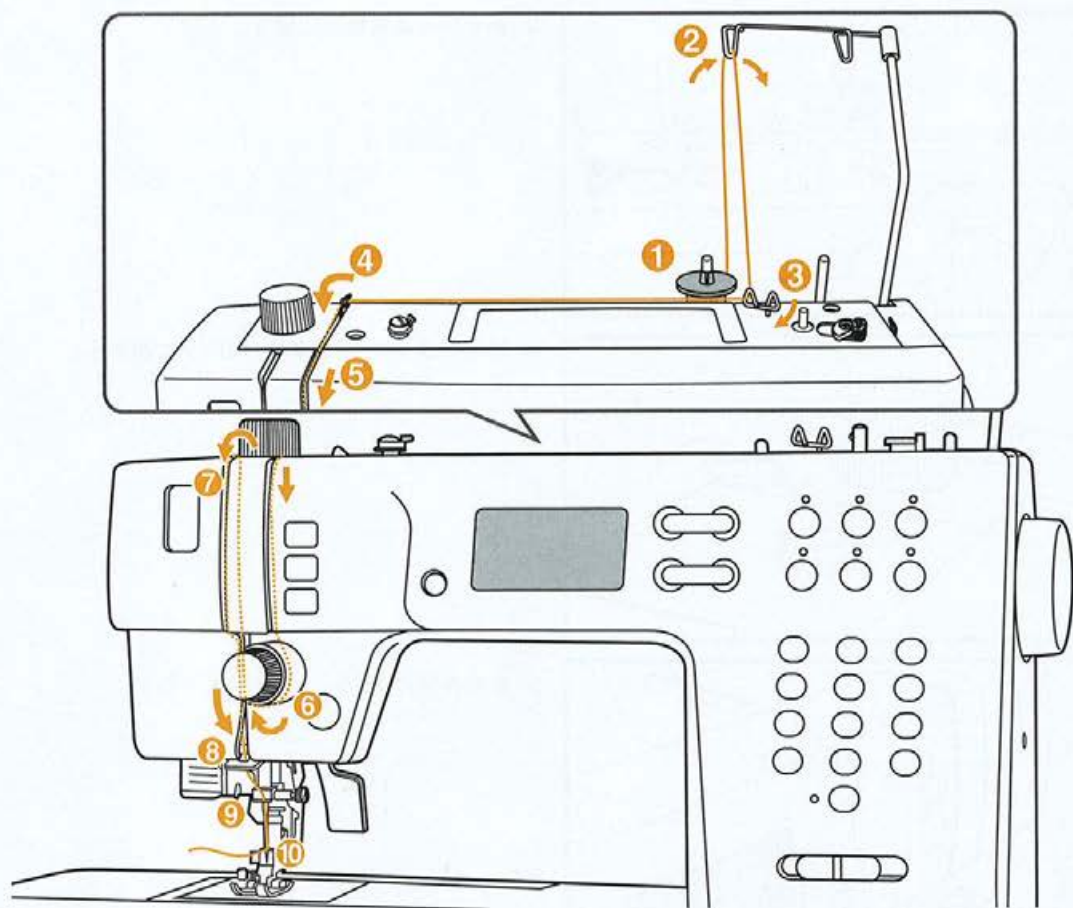
6. 糸端を時計回りにボビンケースのフックに掛ける。



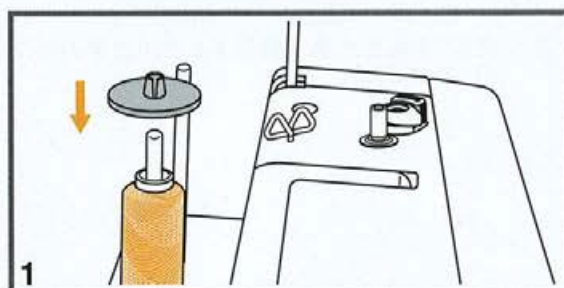
7. ボビンケース取手を握ってポビンをカマにセットし、取手を放す。



8. カマカバーを閉じる。

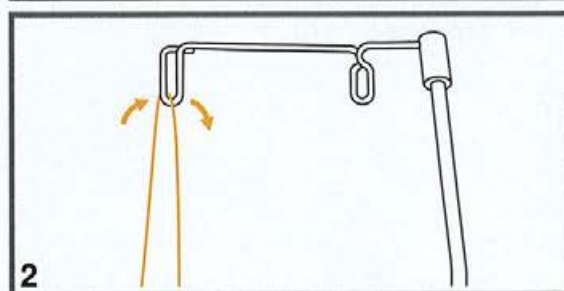


**注意:** 安全のために、上糸通し前に電源スイッチをオフにすることをすすめます。正確に上糸通しされないと縫製に支障をきたします。

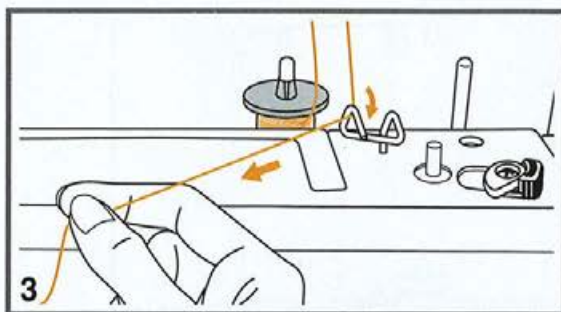


まず、針を針上停止とし、押えを上げてください。

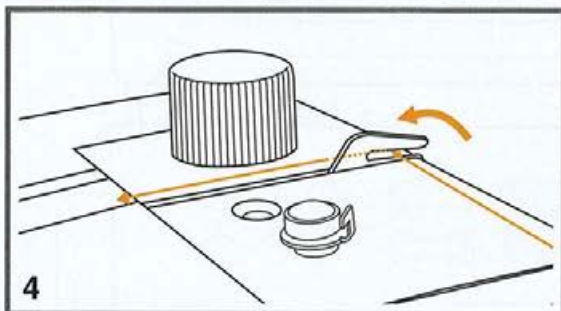
1. 糸こまを糸立棒にセットし、キャップをして糸端を取り出す。



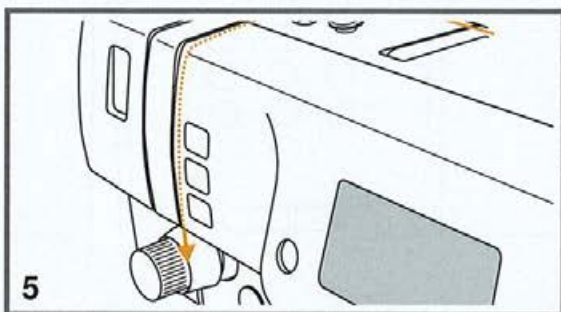
2. 糸を後ろから前に、直立糸立棒に通す。



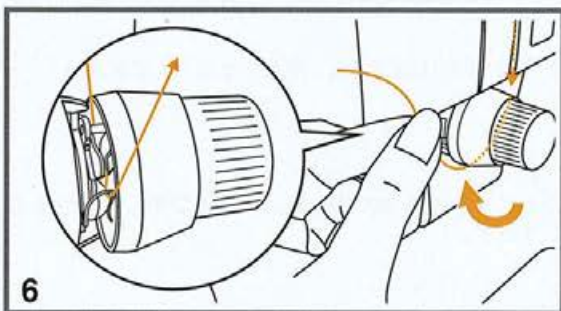
3. 糸をアーム糸掛けに通す。




4. 図示のように、糸を糸抜けガイドに掛ける。

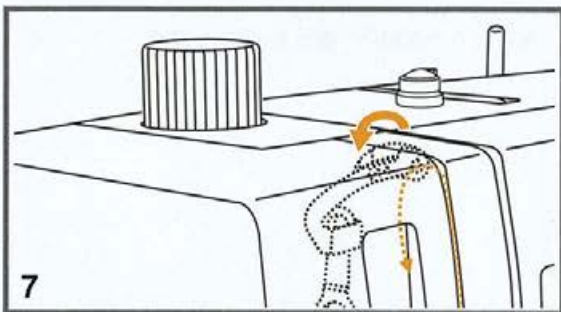


5. 糸を右側ガイドラインに沿って下ろす。

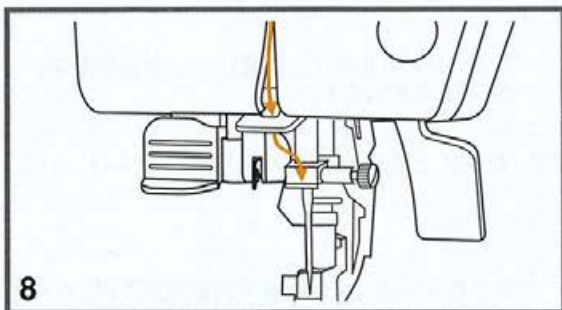


6. 糸を右から左に、上糸調子調整ダイヤルに巻き付ける。

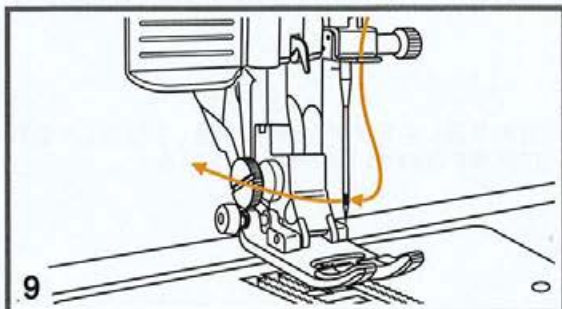
 注意：糸を上糸調子調整ダイヤル左側の爪に引っ掛けること。



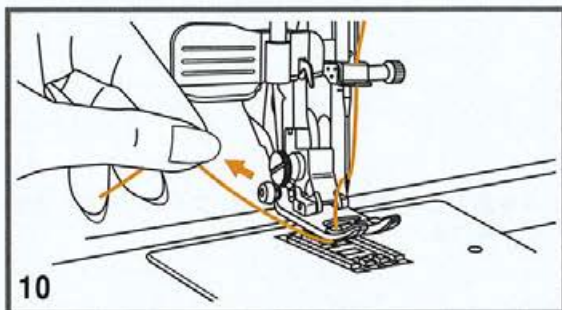
7. 糸を左側ガイドラインに沿って起こし、左から右に向けて天びんに掛け、さらに下に下ろす。



8. 糸を水平糸通しガイド板後方の穴から下に下ろす。

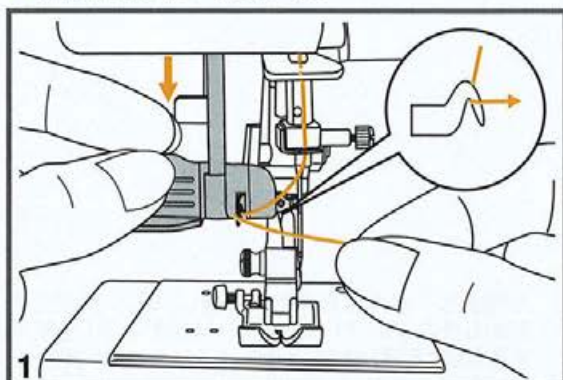


9. 糸端を水平案内台右側の穴に通し、ミシン針穴の手前から後方に向けて通す、或いは自動糸通しを利用する(自動糸通し使用の場合は 28 ページ参照)。



10. 糸を押えの下に持っていき、糸端を約 15cm ほど後方に引っ張る。

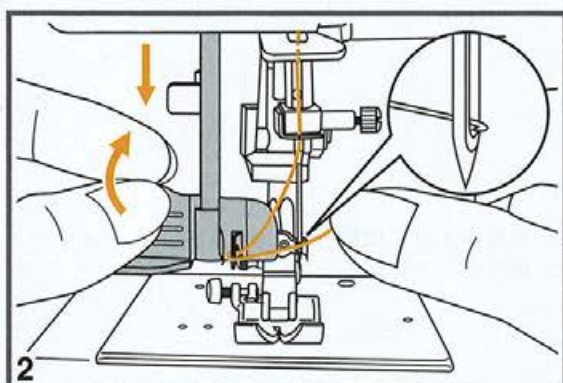
## ■ 自動糸通しの使い方



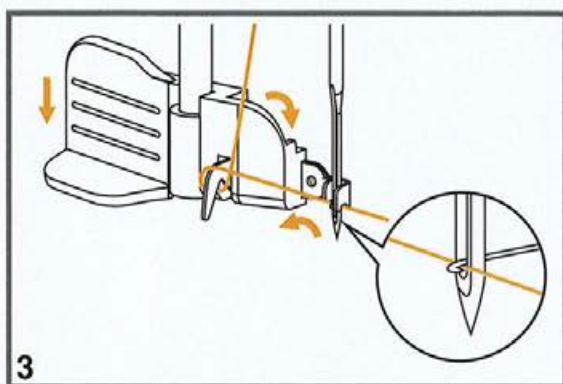
**⚠ 警告:** 安全のために、糸通し前に電源をオフにすることをすすめます。

まず、針を針上停止とし、押えを下げてください。

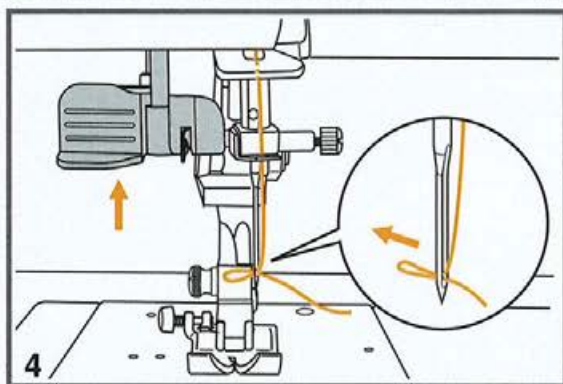
1. 左手で自動糸通しレバーを下死点まで下げ、右手で案内板の下にある爪に、糸を右から左に引っ掛ける。



2. 自動糸通しを下げ切ると自動糸通しが旋回して針穴に照準を合わせ、フックが針穴を通る。

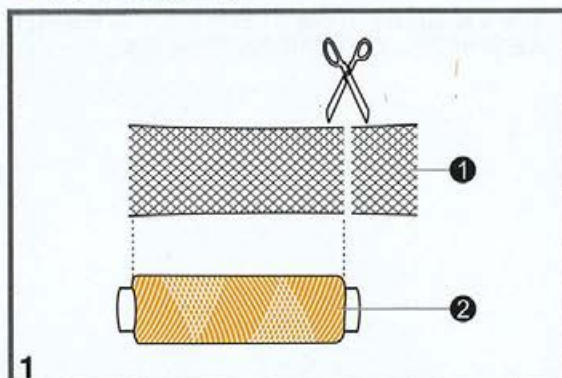


3. 糸を針穴の手前に持っていき、フックの下から上に引っ掛ける。



4. 自動糸通しレバーを開放し、元の位置に戻すと、フックが糸を引っ張り穴に通してループを形成する。針穴を抜けたループを後方に 10cm ほど引っ張る。

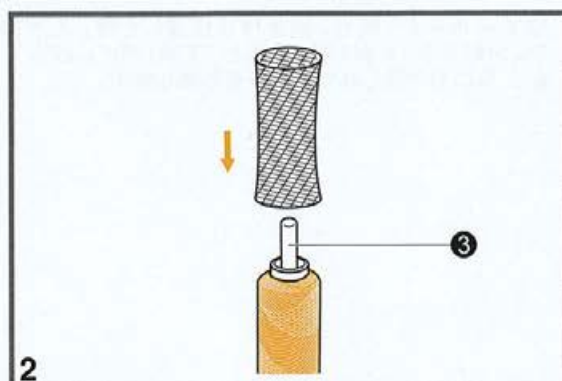
## ■ ネットの使い方



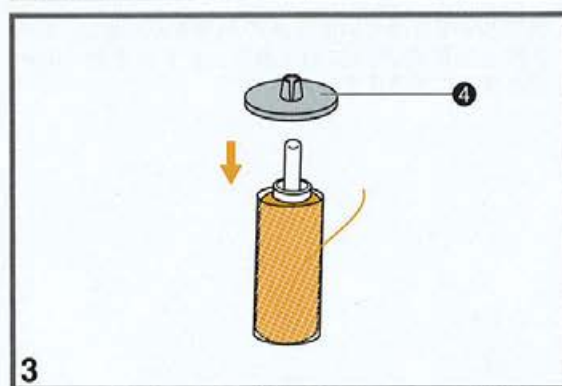
特別な糸を使用し、糸巻きをスピードアップしたい場合、糸こまにネットをかけます。

\* 糸こまサイズに合わせてネットを切ります。

- ① ネット
- ② 糸こま

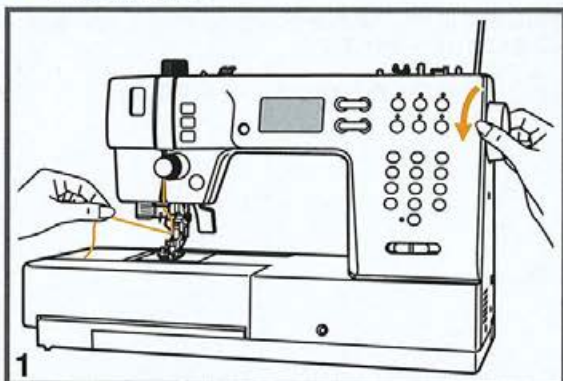


- ③ 糸立棒

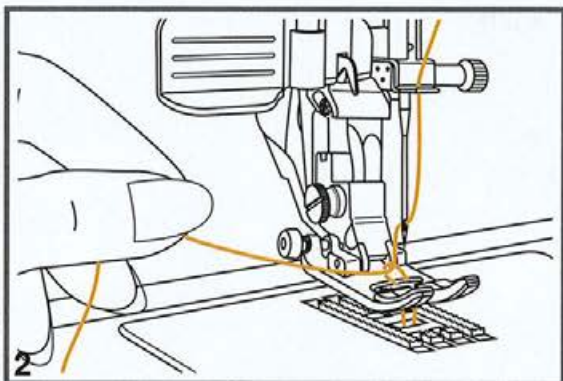


- ④ 糸こまキャップ

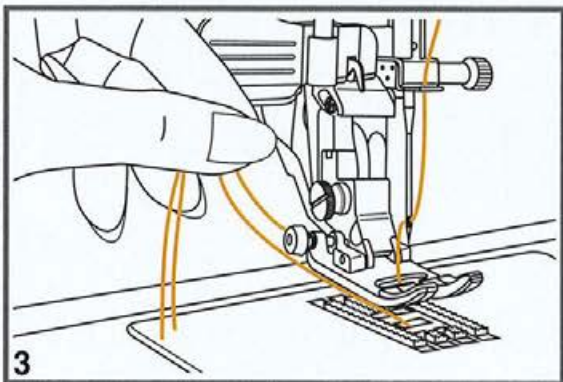
## ■ 下系取り出し



1. 左手で軽く上糸を引っ張り、右手ではずみ車を時計と逆回りに回して針を針板内に下ろします。

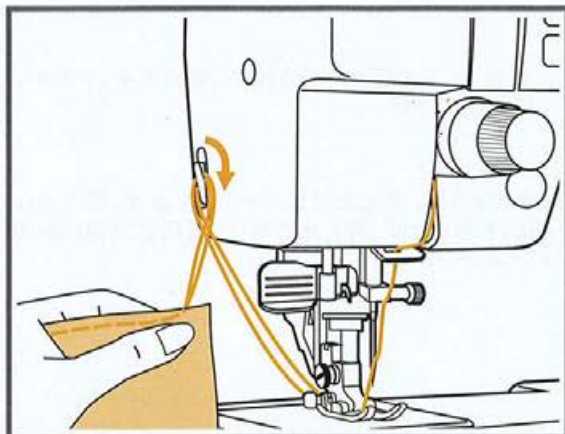


2. はずみ車を回し続け、針上停止に達した時、上糸(ミシン針の糸)を軽く引っ張ると、下糸(ボビンの糸)が上糸に引っ張られてループを形成します。



3. 指でループをほどいて下糸の糸端を取り出し、上糸を押え足間の凹みに引っ掛け、上下糸を約 10cm ほど後方に引きます。

## 糸切りの使い方

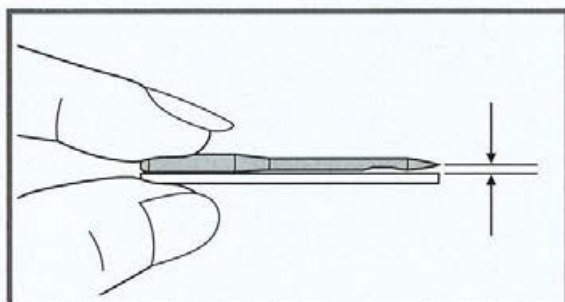


縫いが終わり、ミシンが停止してから、“針上下停止キー”を押して針上停止とします。

押えを上げます。

生地を取り出し、面板側面の糸切りまで持っていき、糸を後方から手前に引っ掛けて切断します。

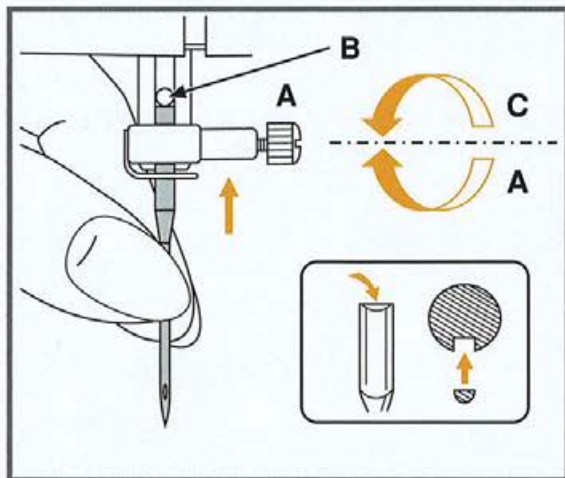
## ミシン針交換



⚠ 警告: ミシン針取付け、取外し前には電源スイッチを切ってください。

縫製レベルを維持するため、ミシン針は定期的に変換してください。針に曲がりや損壊があると目跳び、生地損壊、針折れ発生の原因となります。

ミシン針交換の前にははずみ車を回して針上停止としてください。



A. 針止めねじをゆるめ、損傷を受けた針を取り出す。

B. 針の頭の平たい部分を後ろに向け、針棒の凹みにはめ込んで針を上死点まで押し上げる。

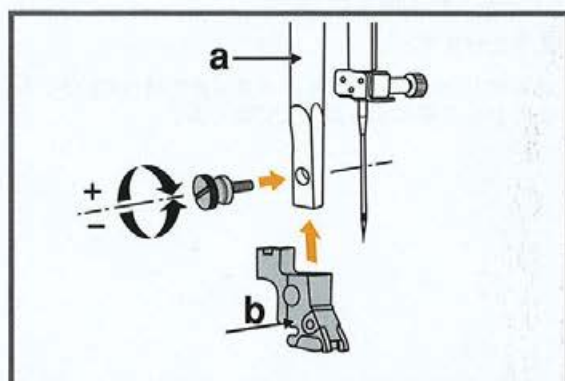
C. 針止めねじを締め付ける。



## 押え交換



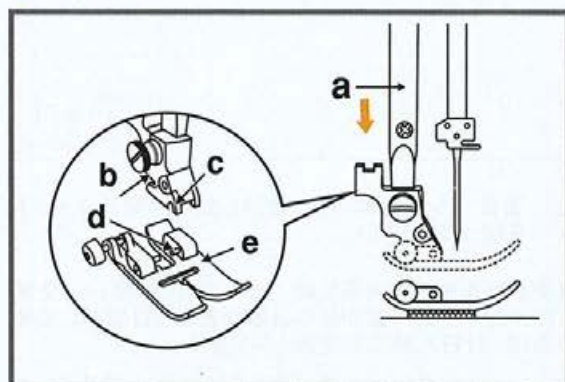
### ■ 押えホルダー取付け



⚠ 警告: 以下の操作を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。

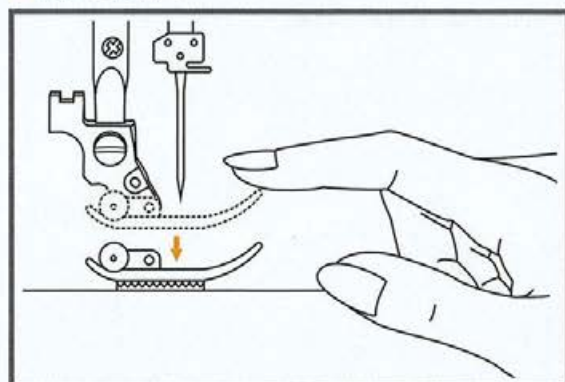
図に示すように、押え上げレバー(a)を上げ、押えホルダー(b)を取り付け、押え止めねじを矢印の方向に締め付けてください。

### ■ 押え取付け



押えホルダー(b)の凹み部分(c)を受け座(d)の上方に合わせ、押え上げレバー(a)を下ろして押えホルダー(b)と押え本体を結合させます。












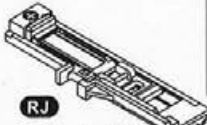
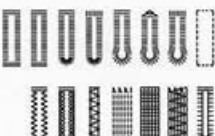




























### ■ 押え取外し



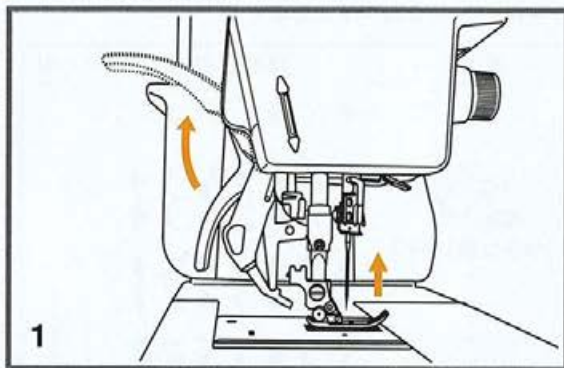
押え上げレバー(a)を上げ、指で押え足を押し、押え本体が押えホルダーから分離します。

## ■ 押えの種類と機能説明

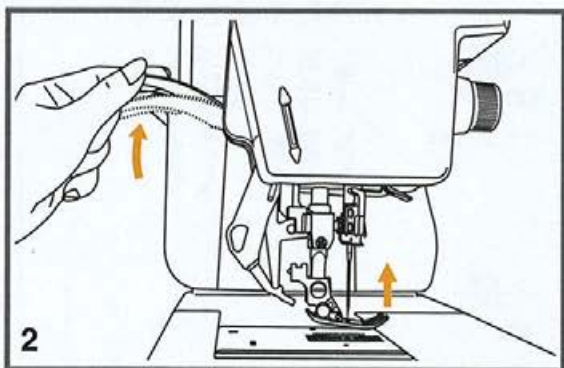
(模様縫製効果により独自性を持たせるためには、二本針の使用をおすすめします。)

押え	機能説明	ミシン針	押え	機能説明	ミシン針
 <b>RA</b> 基本押え	直線縫い、基本縫い、 ブロック縫い、飾り縫 い等、すべてに使用 可能		 <b>RK</b> サテン縫い押え	サテン縫い、飾り縫い 	
 <b>RB</b> ファスナー押え	ファスナー 		 <b>RN</b> クラフト押え		
 <b>RJ</b> オートボタン 穴かがり押え	ボタン穴かがり 		 <b>RF</b> 直線専用押え	キルティング 	
 <b>RH</b> コード縫い押え	コード縫い 		 <b>RL</b> 刺繍縫い押え	刺繍 	
 <b>RI</b> 端縫い押え	端縫い 		 <b>RD</b> ギャザー押え	ギャザー寄せ 	
 <b>RM</b> まつり縫い押え	まつり縫い 		 <b>RC</b> ボタン付け押え	ボタン付け 	
 <b>RG</b> 三つ巻き縫い押え	巻き縫い 		 <b>RE</b> 1/4インチ直線専 用押え	キルティング、パッチ ワーク 	

## ■ 二段階式押え上げレバー



1. 押え上げレバーを水平位置まで持ち上げた時が第一段階の高さ。

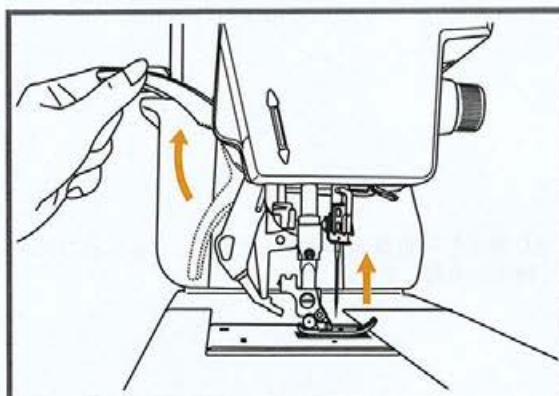


2. 押え上げレバーを最高点まで持ち上げた時が第二段階の高さ。重ね縫いまたは厚地縫いするとき、押えを第二段階まで上げると縫い途中の生地移動が楽に行えます。

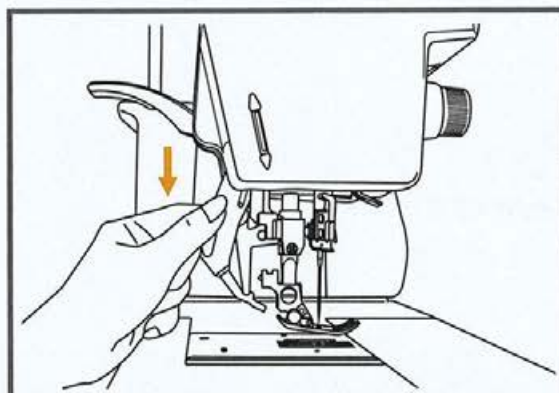
## 上送り押えの機能

上送り押えがあると上下同時に布を送れるので、生地に柄または格子模様がある場合に柄合わせしながら縫うことができ、薄地または縫製にくい生地（絹または化学繊維等）の場合は、上送り押えが縫いずれ防止に効果を果たします。

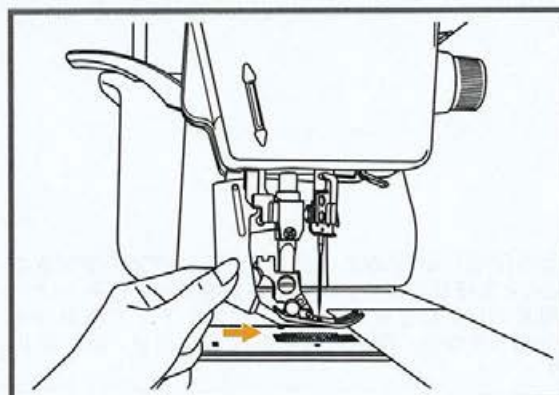
### ■ 上送り押え使用方法



押え上げレバーを上げます。



上送り押えを下ろします。



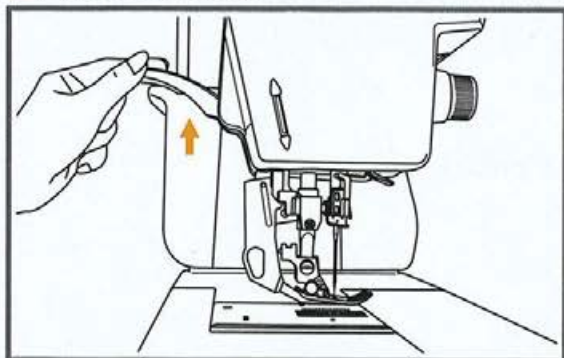
上送り押えを最低点まで下ろし、押えの後方に直接接合するまで手前に押しやります。



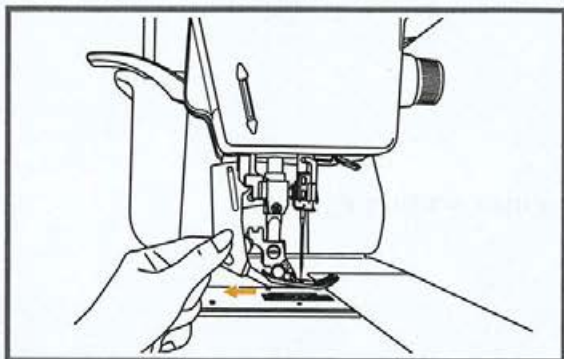
警告：上送り押えを使用するときは、下記の押え以外は使用できません。



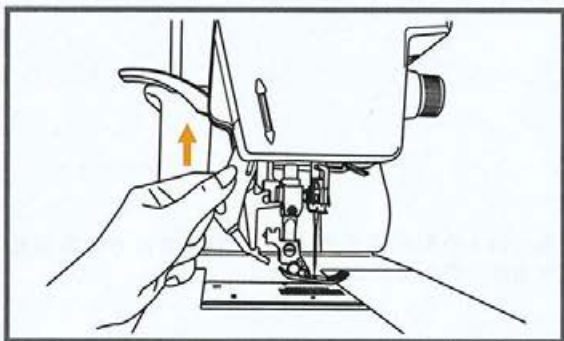
## ■ 上送り押え開放



押え上げレバーを起し、押えを上げます。

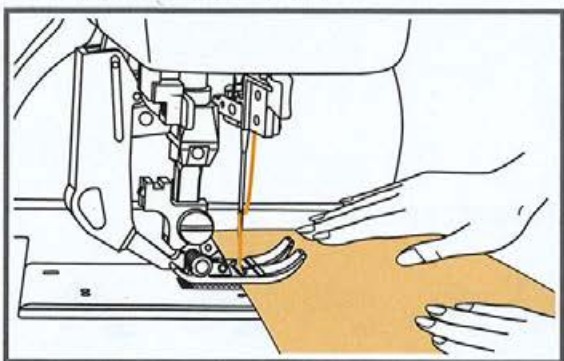


上送り押えを一旦最低点にもっていき、さらに後方に引いて押えから離します。



上送り押えを起こします。

## ■ 縫う時の生地的位置



生地を平坦に針板の上に置き、生地が押えの下にきていることを確認します。左手で糸端を握り、右手ではずみ車を回して針を生地に刺し、押えを下げて三針から四針縫ってから、両手を押えの両側に置き、縫い始めます。

# 模様の図案

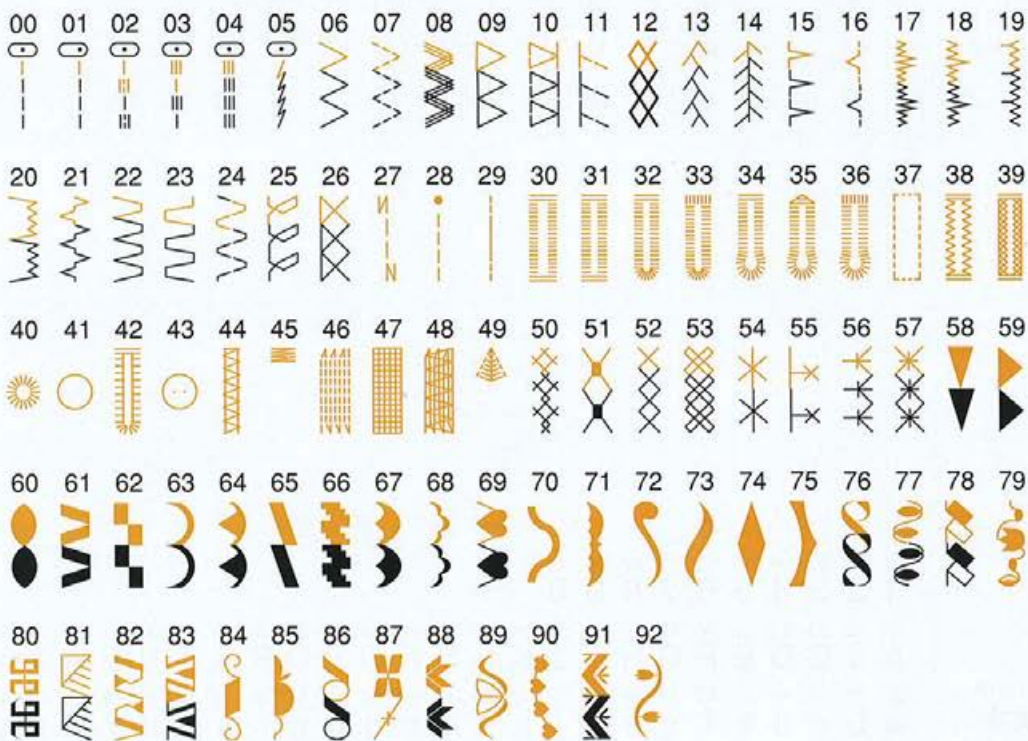
以下の図示において、カラー表示部分がその模様の最小単位となります。

## ■ 模様

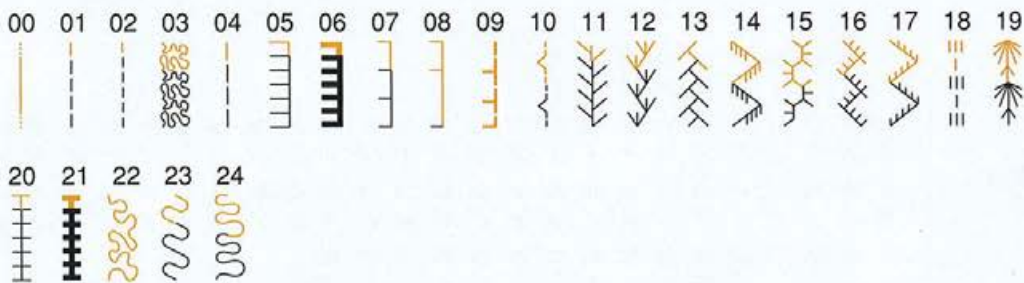
### Aグループ模様(クイック選択) - 10種類



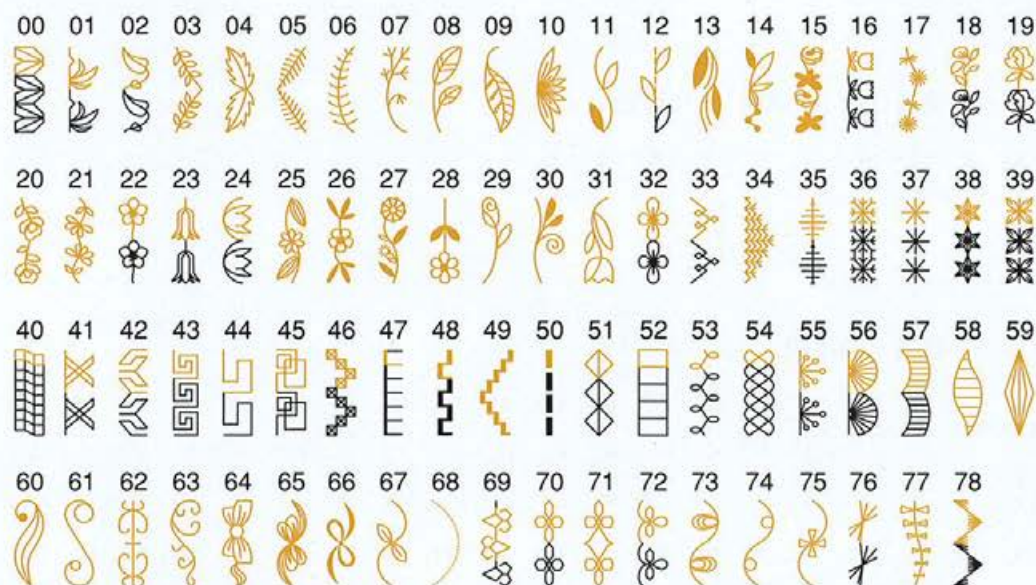
### Bグループ模様 - 93種類



### Cグループ模様 - 25種類



Dグループ模様—79種類



■ 文字

ブロック  
体文字

01	02	03	04	05	06	07	08	09	10																
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0																
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78										
-	.	'	,	!	-	+	=	&	÷	?	%	(	)	[	]										

筆記体  
文字

01	02	03	04	05	06	07	08	09	10																
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0																
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78										
-	.	'	,	!	-	+	=	&	÷	?	%	(	)	/	/										

## 針、糸、生地のお合わせ

### 針、糸、生地のお合わせ

マシン針サイズ	生地	糸
HAX1 9~11番	薄地—ポイル、ローン、ジョーゼット、クレープ、モスリン、トリコット、絹、綿ジャージ、化繊織物。	ポリエステル 90~100番 ナイロン 90~100番
HAX1 11~14番	普通地—サテン、サージ、ブロード地、ジャージ、ダブルニット、薄手ウール地。	絹糸 50番 綿糸 50~60番 ポリエステル 60~90番
HAX1 14番	中厚地—ズック布、ウール地、中厚デニム、厚手ニット、タオル地。	
HAX1 14~16番	厚地—ツイード、デニム、コート地、カーテン地。	綿糸 40~50番(30番) ポリエステル 50~60番(30番)

#### 注意：

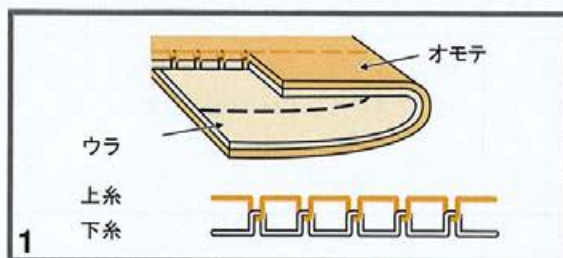
- 一般的に、薄地には細番手の針と細糸を、厚地には太番手の針と太糸を用います。
- この表を標準に針と糸を選び、余り布で試し縫いをしてください。
- 原則的に、上糸、下糸には同じサイズの糸を使用してください。



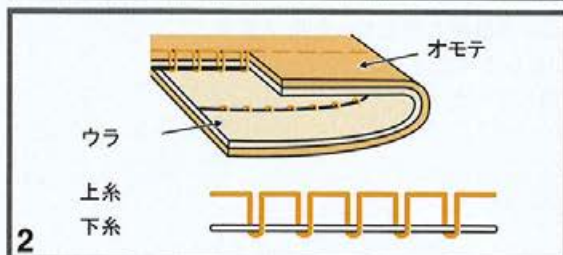
## 上糸系調子調節ダイヤル



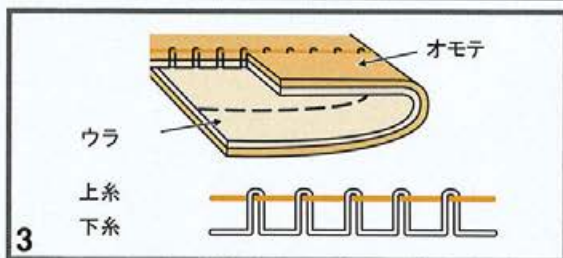
- 上糸系調子の標準設定値は“4”です。
- 糸調子を強くする: 数値が大きくなるように調節。
- 糸調子を弱くする: 数値が小さくなるように調節。
- 良好な縫製を行うためには最適の糸調子が不可欠です。
- 生地と糸サイズに合わせて上糸系調子を調節してください。
- 適正な上糸系調子設定は“3”から“5”の間(標準設定は“4”)です。
- すべての飾り縫いで縫いツレをなくするためには、通常は上糸系調子を弱めにしてやると、しわが発生しにくくなります。



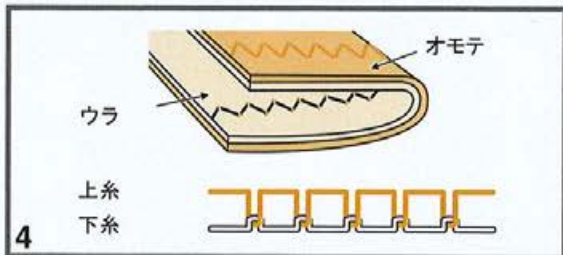
1. 上糸系調子が正確に調節されていると、上下糸の交点が生地の中に隠れます。



2. 上糸系調子が弱すぎる時は、糸調子設定値を大きくする。



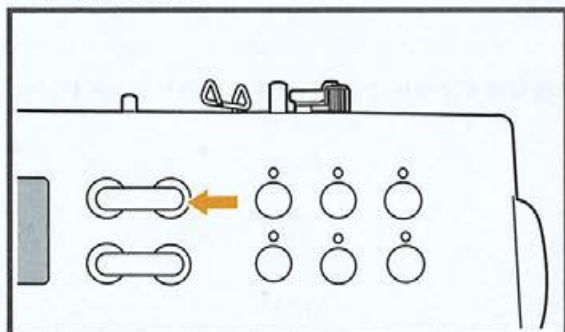
3. 上糸系調子が強すぎる時は、糸調子設定値を小さくする。



4. ジグザグ縫いまたは飾り縫いの場合の上糸系調子は、通常は直線縫いの時よりも弱く調節し、しわ防止のために生地の張りを維持すると縫い上がりが向上します。

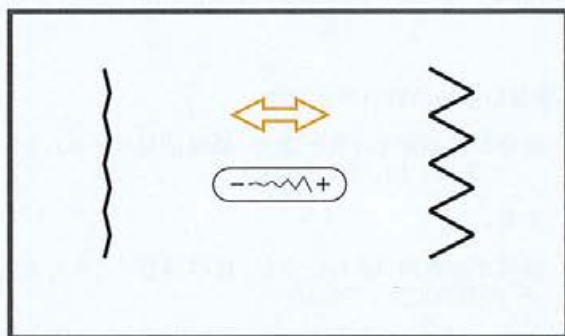
## 振り幅と縫い目長さの調整方法

### ■ 振り幅調整

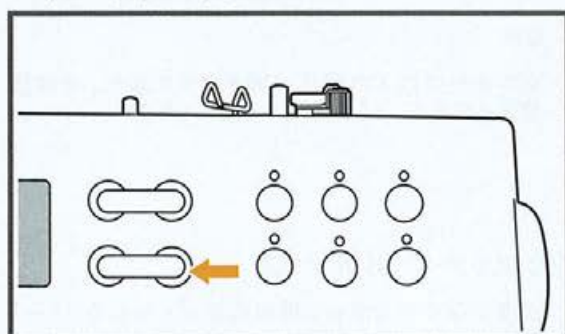


振り幅を広げたいときには“+”キーを押し、振り幅を狭めたいときには“-”キーを押して手動調整すると、一回押すごとに設定値が0.1の間隔で増減するのが液晶パネルに表示されます。選択された模様ごとに手動調整のピッチと範囲が異なりますが、一般的には調整範囲は0.0から8.0の間です。

注意：一部の模様では振り幅設定値が制限されています。(93ページの模様詳細表を参照し、振り幅と縫い目長さを適切に調整してください。)




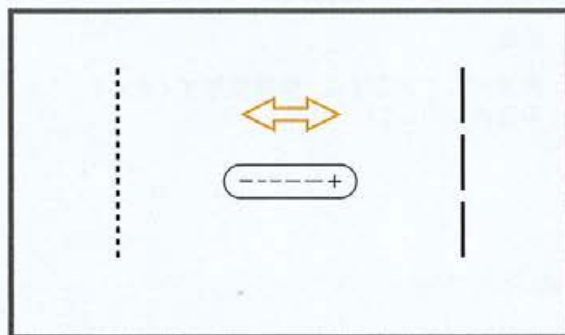
### ■ 縫い目長さ調整



縫い目を長くしたいときには“+”キーを押し、縫い目を短くしたいときには“-”キーを押して手動調整すると、一回押すごとに設定値が0.1の間隔で増減するのが液晶パネルに表示されます。

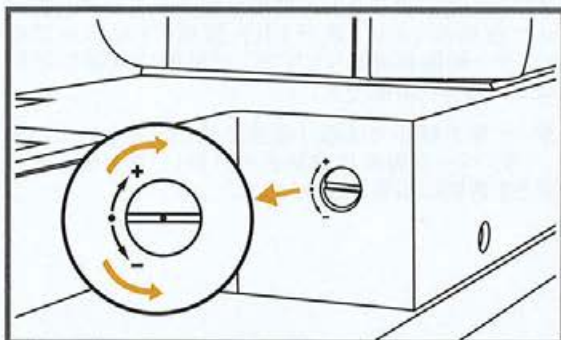
選択された模様ごとに手動調整のピッチと範囲が異なりますが、一般的には調整範囲は0.0から5.0の間です。

 注意：一部の模様では縫い目長さ設定値が制限されています。(93ページの模様詳細表を参照し、縫い目長さと振り幅を適切に調整してください。)

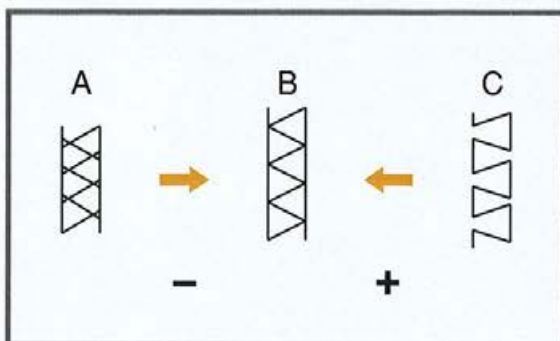


## 模様調整

生地の種類、厚み、縫い速度といった要素により縫い上りの模様の変形可能性があります。実際の縫い条件に合わせて試し縫いし、模様調整ダイヤルで調整してください。

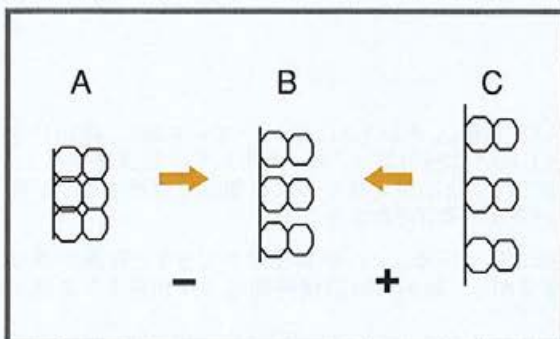


模様調整ダイヤルは通常、水平の位置にあります。



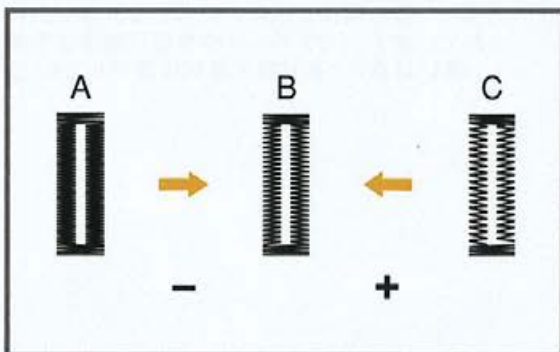
連続縫い模様の縫い密度調整

- A. 模様が圧縮変形された場合、模様調整ダイヤルを“-”の方向に回してください。
- B. 正常。
- C. 模様が引き伸ばされた場合、模様調整ダイヤルを“+”の方向に回してください。



文字または数字の縫い密度調整

- A. 文字または数字の間隔が狭すぎる場合、模様調整ダイヤルを“-”の方向に回してください。
- B. 正常。
- C. 文字または数字の間隔が開きすぎた場合、模様調整ダイヤルを“+”の方向に回してください。

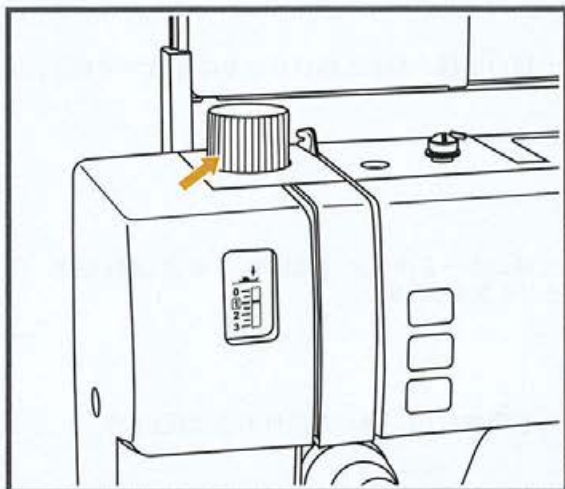


ボタン穴かがりの縫い密度調整

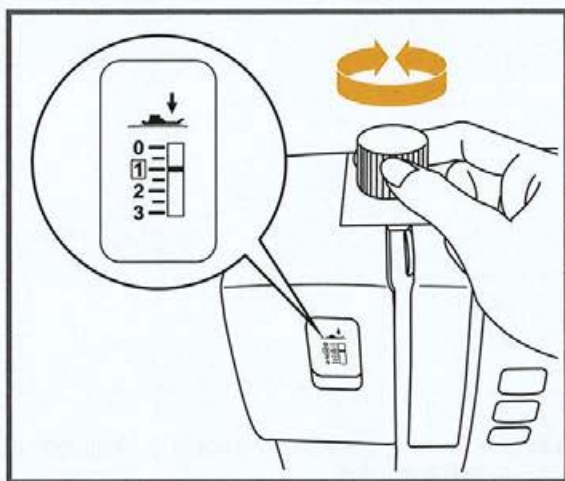
- A. 密度が高すぎる場合、模様調整ダイヤルを“-”の方向に回してください。
- B. 正常。
- C. 密度が低すぎる場合、模様調整ダイヤルを“+”の方向に回してください。

 注意：正式に縫製する前に、同じ生地を使って試し縫いしてください。

## 押え圧調整



押え圧調整ダイヤルは面板の上にあります。

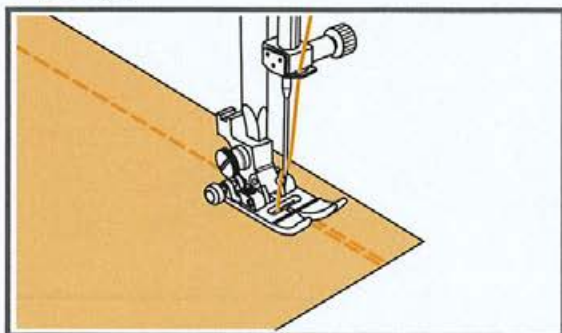


押え圧はあらかじめ調整済みですので、通常は調整の必要はありません。

標準的な縫製の場合、押え圧は1に近い値を設定します。押え圧1から2の間は厚地または高密度の生地に適しています。押え圧0から1の間は軽く繊細な生地、或いはアップリケに適しています。

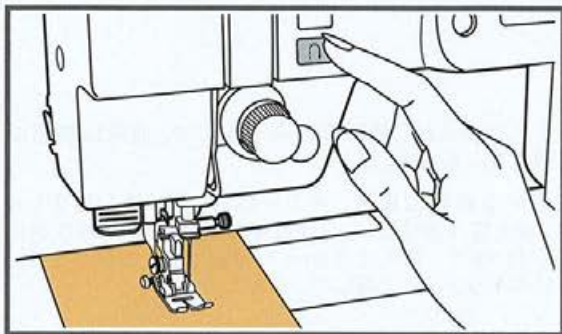
## 実用機能

### ■ 返し縫い



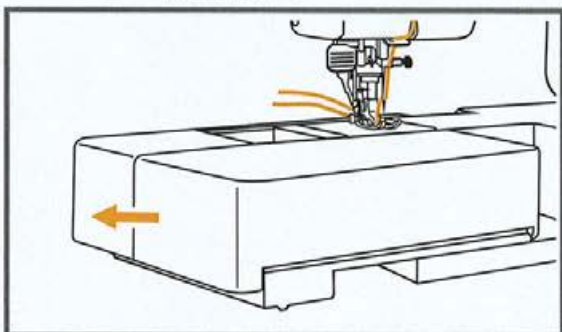
返し縫いは縫い始めと縫い終わりの位置で使用されます。

返し縫いキーを押すと、四針から五針返し縫いされ、ほころびを防止します。



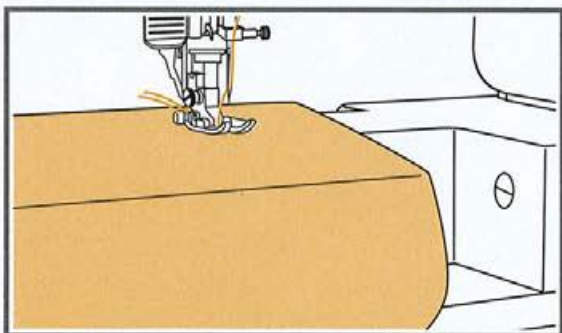
キーを開放すると、縫い方向は前進に戻ります。

### ■ アームの使用方法

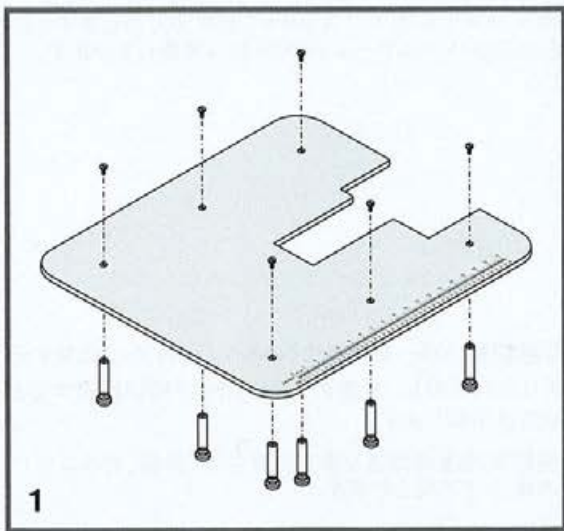


補助テーブルの左サイドをしっかりと握り、矢印の方向にアームを引き出します。

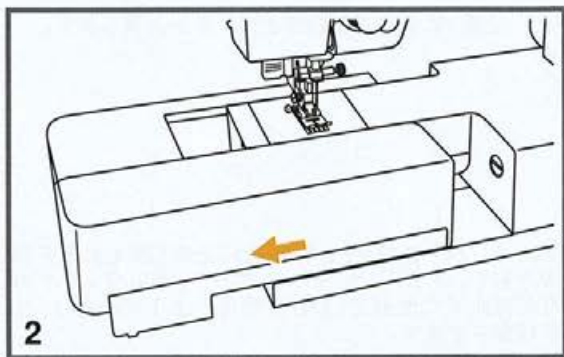
袖、袖口、ズボンのすそ、えり部分といった難しい縫製に利用してください。



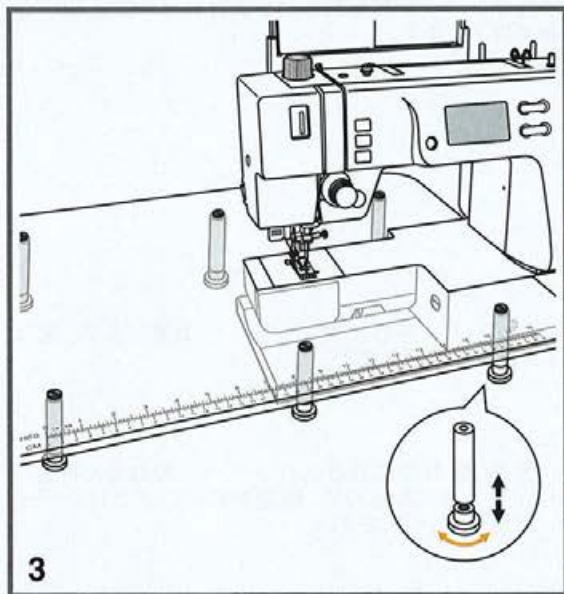
## ■ ワイドクリアテーブル



1. ワイドクリアテーブルおよび六本の脚を取り出します。脚のボルトを取り外し、ワイドクリアテーブルの下にセットしてから(図1)、ボルトを締め付けます。



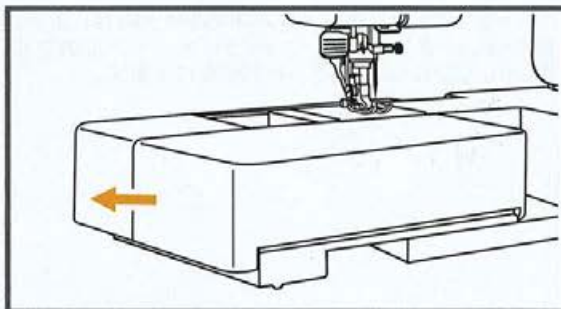
2. ワイドクリアテーブル使用前に付属キットカバーを取り外してください。



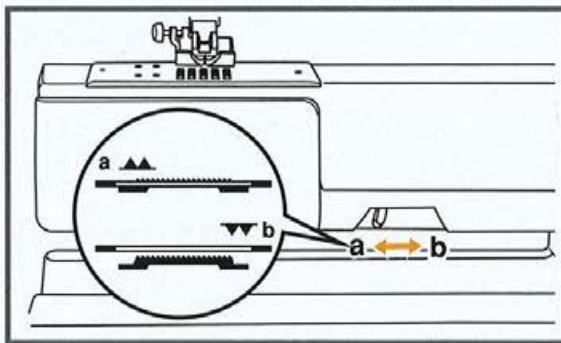
3. ワイドクリアテーブルを付属キットカバーの位置に取り付けます。脚のゴム座を回転させると、ワイドクリアテーブルの高さが簡単に調整できます。

⚠ 注意: ワイドクリアテーブルを取り付ける間にミシンを動かしてはいけません。損壊や傷害が起こるかもしれません。

## ■ 送り歯調整レバー



補助テーブルを水平にスライドさせて取り出します。送り歯調整レバーはアームの手前側に位置しています。

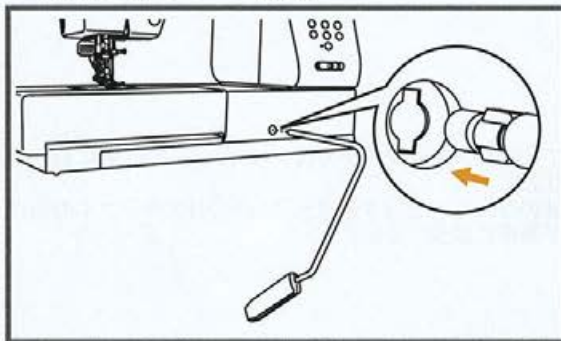


送り歯調整レバーを左側の“▲” (a) 方向に調整すると送り歯は上昇し、右側の“▼” (b) 方向に調整すると送り歯は下降します。

一般縫製の場合は送り歯を上昇させ、刺繍、ボタン付け等の場合は下降させます。

 注意: はずみ車を回すと送り歯が上昇します。

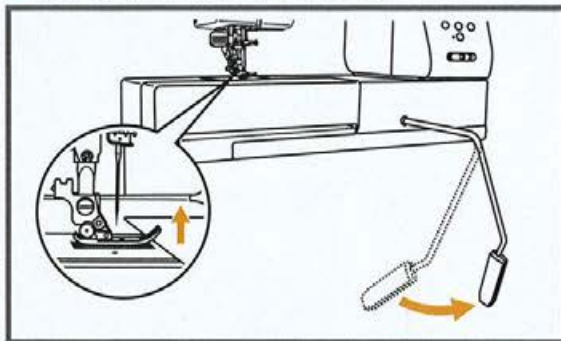
## ■ ひざ上げレバー装着




ひざ上げレバーを使うと、手を使うことなく押え上下を調整できます。アップリケ、パッチワーク、キルティングの時などに非常に便利です。ひざで押えの上下を調整し、生地を移動させます。

ひざ上げレバーの突起部をひざ上げレバー挿入口に合わせて挿入します。

## ■ ひざ上げレバー/押え上げ

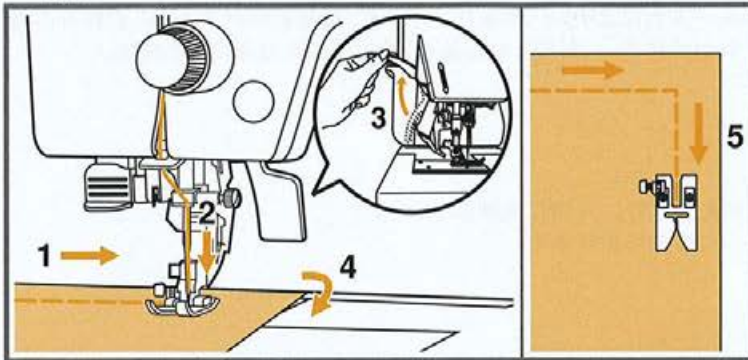


ひざ上げレバーを右に押すと押えが上昇します。左に戻すと押えは下降します。

 警告: 縫製時にひざ上げレバーに触れると布送りが不正確になるので、縫製時にはひざ上げレバーに触れないでください。

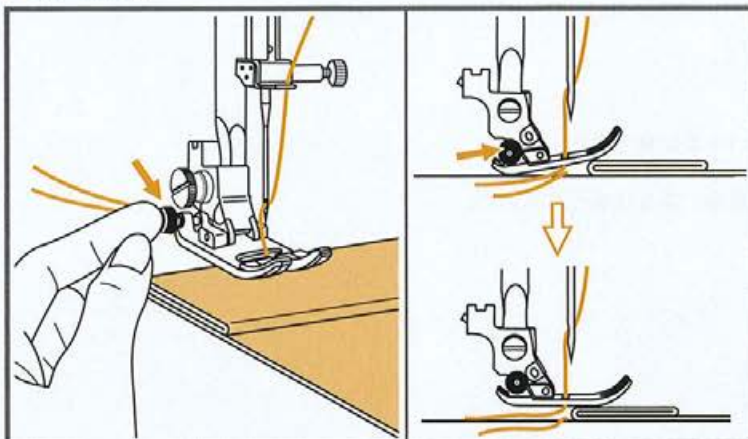
## 実用縫いの技巧

### ■ 角縫い



1. 針が生地端コーナーにさしかかったら、ミシンを停止してください。
2. はずみ車を回し、針を針下停止にする。
3. 押えを上げる。
4. 針落ち点を中心にして、好みの角度に生地を旋回させる。
5. 押えを下ろして縫い始めます。

### ■ 厚地縫い

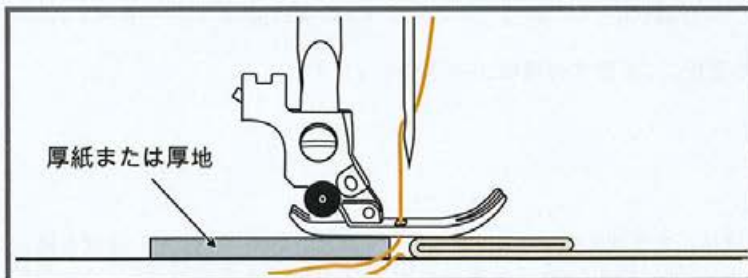


基本押え使用時:

縫い始めの生地端が厚めになっているとき、押えが斜めに傾斜して布送りに不具合が生じます。この場合、押えを針板と平行にし、左手で押え左後方の固定キーを押し、押えを水平状態に保ちながら縫い始めます。針が段部を越えた後、キーは解除されます。

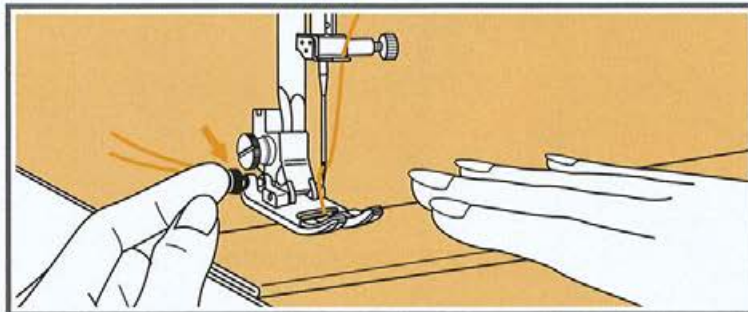
その他の押え使用時:

押えの下に生地と同じ厚みの厚紙または別の生地を差し込み、押えを針板と並行に保ちながら縫い始めます。



折り返し、または段部にさしかかった場合:

1. 基本押え使用時には、押え左後方の固定キーを押しながら縫製を進めます。
2. その他の押え使用時には、手で生地を軽く押しやって布送りしてやります。



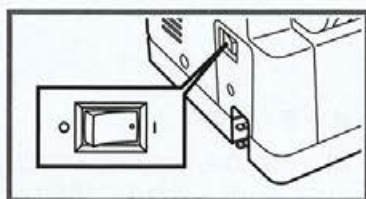


## 模様グループ選択

### ■ 模様グループ選択キー

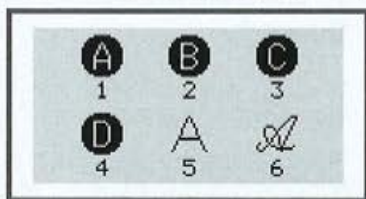
最もよく使われる 10 種類の模様が数字キー入力によりクイック選択できます。模様表示パネルからお好みの模様を決め、電源スイッチをオンにすると、針が直線縫い(針振り中心基点)の位置に自動設定されます。

1. お好みの模様を選択してください。  
\* 37 ページの模様一覧表参照。
2. 模様合った押えを選択してください。押えは付属キット内に収納されています。  
\* 二本針の使用可否については 93 ページの模様詳細表参照。
3. 選択した模様に対応する押えを装着。  
\* 押え交換方法は 32 ページ参照。
4. 電源スイッチをオンにする。



\* 直線縫い(針振り中心基点)が液晶パネルに表示されます。

5. “**FUNC**” キーを押すと、模様グループが液晶パネルに表示されます。

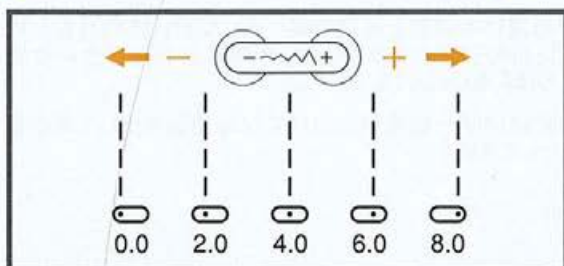


6. 数字キーを押して選択したい模様グループを選択してください。(例: Bグループの場合は“2”のキーを押す。)
7. 模様表示パネルから決定済みの模様を選択。二桁数字の模様コードをキーインする。

**注意:** 模様選択を終えると、その模様にあう押えのアイコンがモニター表示されます。押えの種類を確認し、もし取付けられている押えが正しくない場合には一旦電源を切り、正しい押えを取付けてから、お好みの模様を選択してください。

## 基本縫い

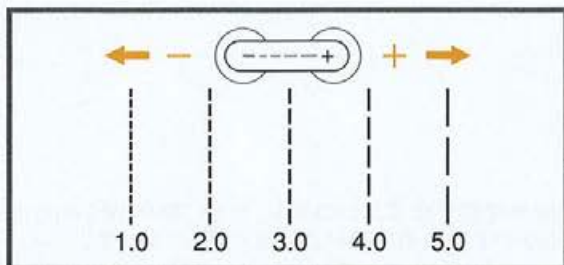
### ■ 直線縫いと針振り左右位置



針落ちの中心基点調整:

Aグループ模様 1-4、Bグループ模様 00-05、27-29、Cグループ模様 00-02、04、18 および Dグループ模様 50 はすべて直線縫いに属し、標準設定値である 4.0 が中心基点とされており、縫い始め位置で三針止め縫いを行ってから縫い進んでいきます。

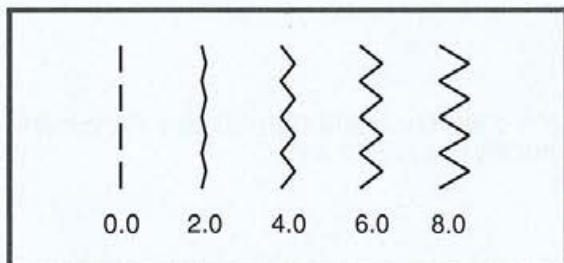
振り幅調整キーを手動調整することにより針振りの左右位置を選択できます。模様によって針振り調整可能な範囲が異なり、“+”キーを押すと針落ち位置が右に移動し、“-”キーを押すと左に移動します。キーを一回押すごとに 0.1 の間隔で左右調整され、針位置と数値が液晶パネル表示されます。



縫い目長さ調整:

縫い目を短くしたいときは“-”キーを押し、長くしたいときは“+”キーを押します。一般的には、縫い目長さは生地の厚み、糸サイズ、縫製の目的によって異なりますので、縫い始める前に試し縫いをして縫い目長さを調整してください。

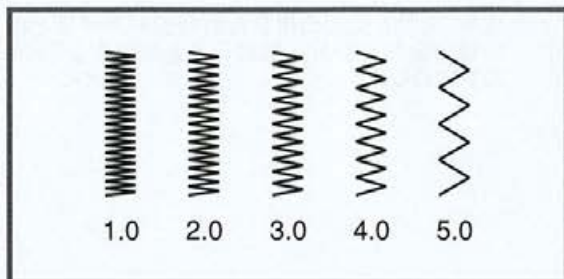
### ■ ジグザグ縫い



振り幅設定値:

振り幅調整キーにより手動調整が可能で、調整可能範囲は 0.0 から 8.0 の間、数値が大きいくほど振り幅が大きくなり、振り幅 0.0 だと直線縫いになります。

注意:一部の模様では振り幅調整の範囲が制限されています。

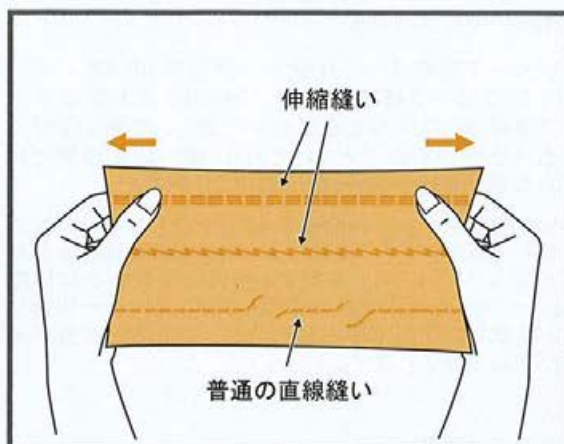
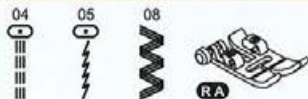


縫い目長さ設定値:

縫い目長さ設定値が 0.0 に近くなるほどジグザグの縫い密度が高くなります。ジグザグ縫いの適切な縫い密度は 1.0 から 2.5 の間です。針数の多いジグザグ縫い(設定値 1.5 前後)は一般的に刺繍縫いのときに使用され、押えコード“RK”のサテン押えは縫い密度の高い模様縫い専用設計された押えです。

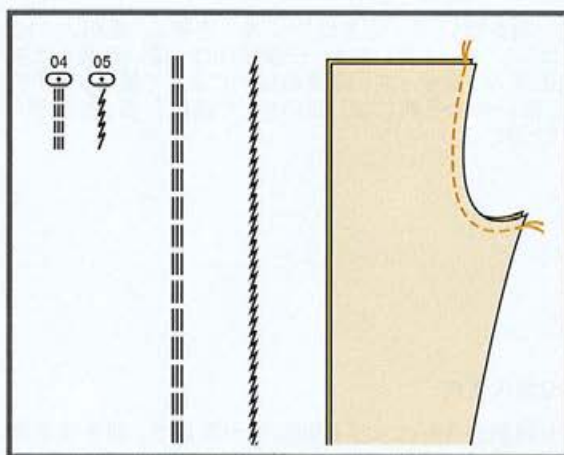
## 伸縮縫い

### Bグループ

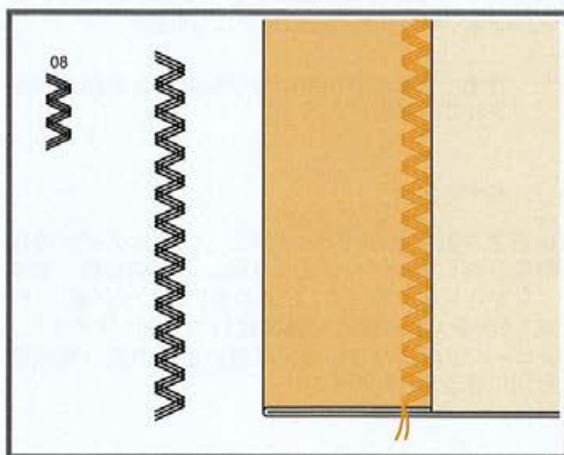


伸縮縫いは前進と後退を繰り返しながら縫われるため縫い目の強度と弾性があり、伸縮素材の接ぎ合わせ部分もほころびにくくなります。


伸縮縫いは一般生地においては装飾図案として用いることもできます。



直線伸縮縫いはズボンのまち、臀部、袖ぐりといったほころびやすい箇所の縫い合わせに適しています。

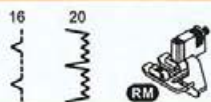


ジグザグ伸縮縫いは身頃の折り返し部分や密度の高い生地に用いることができます。

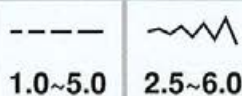
 注意：生地と生地の接ぎ合わせ部分や身頃と袖の縫い合わせ部分には縫い目を強化することをおすすめします。

## まつり縫い(ブラインドステッチ)

### Bグループ



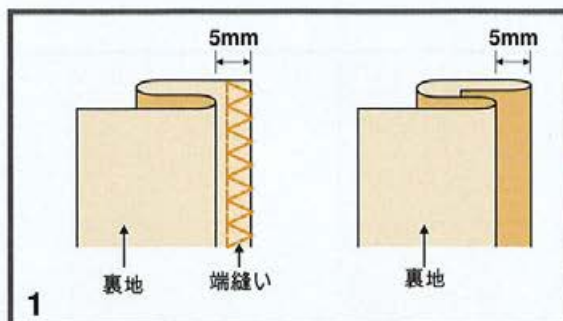
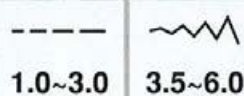
### おすすめ設定値



### Bグループ



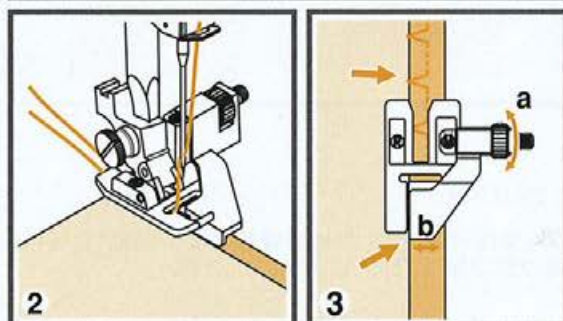
### おすすめ設定値



- 16: 厚地に適用。  
19: 伸縮布に適用。  
20: 伸縮布に適用。

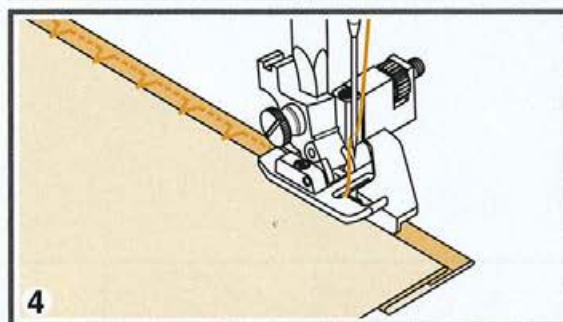
**注意:** まつり縫い(ブラインドステッチ)開始前に必ず試し縫いしてください。

1. 左図を参照に生地を折り返し、裏地を上に向けてください。

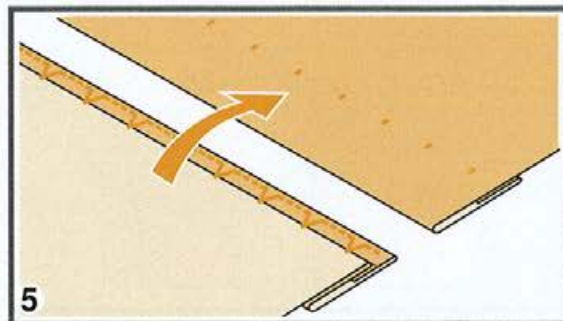


2. まつり縫い押えを取り付け、生地を押えの下に置き、はずみ車を時計と反対方向に回して針を下していきます。針が最も左に振られた時、針がちょうど折り目に落ちるように振り幅を調整します。

3. まつり縫い押えの振り幅調整ダイヤル(a)を回してガイドレバー(b)を左右に移動させ、ガイドレバーの端がちょうど折り目と重なり、針が折り目に対し垂直となるように調整します。



4. ガイドレバーの端に沿って折り目が移動するように、ゆっくりと布を送って縫います。



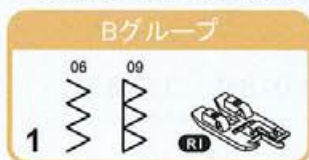
5. 裏地を返して表地を出します。

**注意:** 表地の縫い目が目立ちすぎるときは振り幅を小さくするか、またはガイドレバーを左に移動させてください。

縫い目が折り目を越えていないときは振り幅を大きくするか、またはガイドレバーを右に移動させてください。

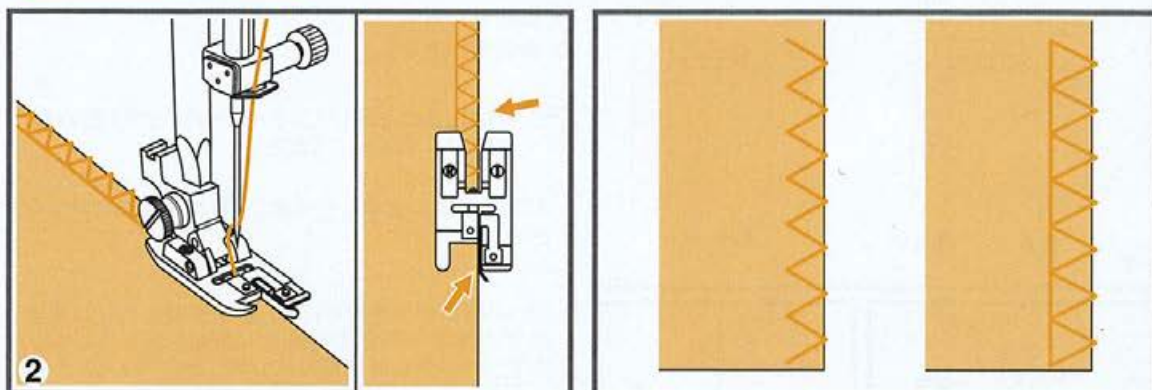
## 端縫い(縁かがり縫い)

### ■ 端縫い押えを使用する場合



おすすめ設定値

-----	~~~~~
2.0~3.0	5.0~7.0



端縫いで生地端のほころびを防ぎます。

1. 端縫い押えに交換。
2. 模様右側の縫い目がちょうど生地端を包み込むようにしてください。

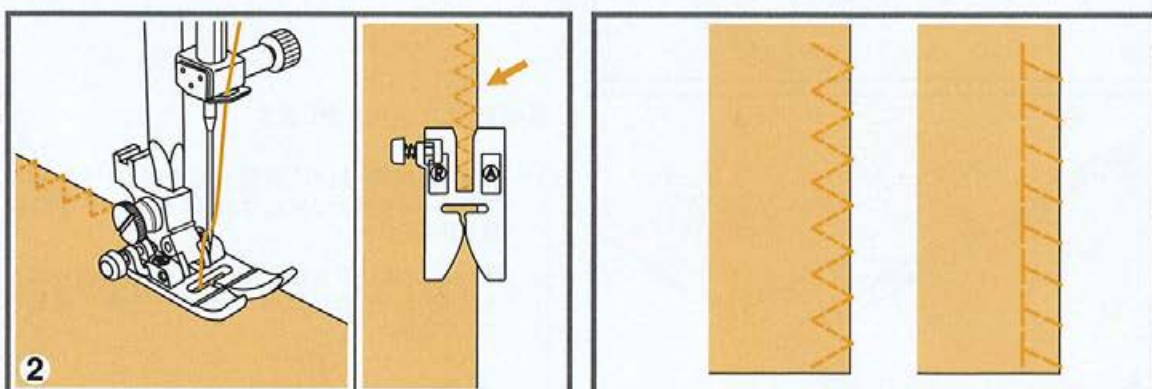
⚠ 警告: 端縫い押えはBグループ模様06と09に対してのみ使用可能です。生地の種類によって縫い目長さや振り幅を調整する場合は、針折れしないように、振り幅の設定値は“5.0”以上にしてください。

### ■ 基本押えを使用する場合



おすすめ設定値

-----	~~~~~
2.0~3.0	2.5~4.5



1. 基本押えに交換。
2. 模様選択後、生地の種類によって縫い目長さや振り幅を調整して、模様右側の縫い目がちょうど生地端を包み込むようにしてください。

## ファスナー付け

### Bグループ

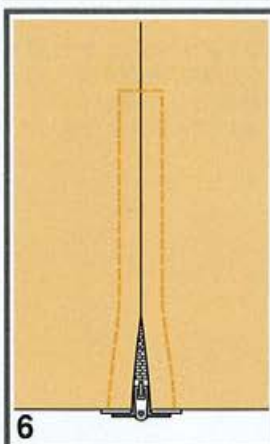
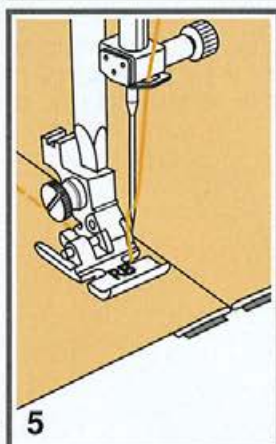
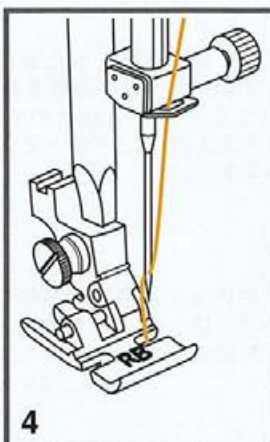
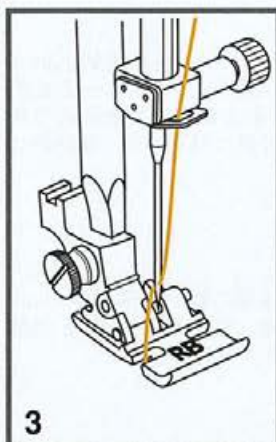
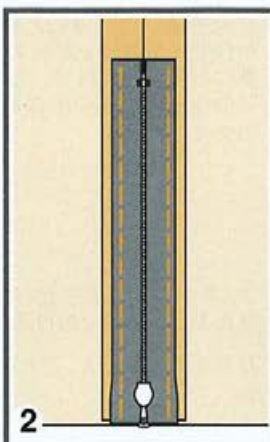
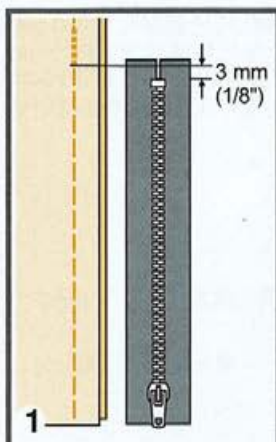


### おすすめ設定値

---	~~~~~
1.5~3.0	4.0

⚠ 警告: ファスナー押えは針落ち中心基点の直線縫いのみ使用可能です。もしその他の模様に対して使用すると針が当って針折れの原因となります。

### ■ ファスナー付け(あき止りを先に縫う方法)



1. 生地を表地どうしを合わせ、裏地から仮縫いし、下止めから 3mm の部分を返し縫いして強化します。仮縫いは抜き取りに便利のように糸調子を“1”に調整してください。

2. 生地を縫い合わせるとき、縫いしろ部分にアイロンをかけて折り返してから、直線縫いでファスナーを中間に仮縫い固定してください。

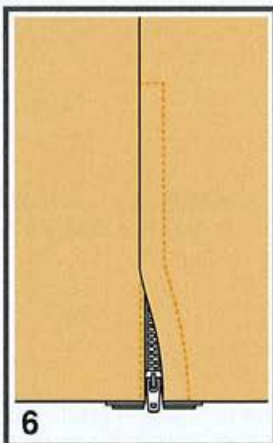
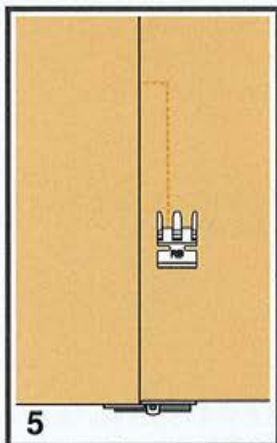
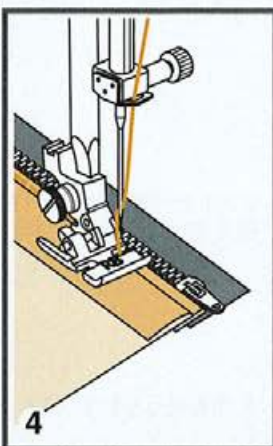
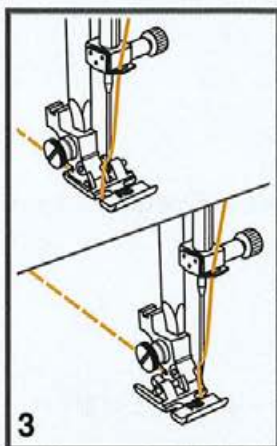
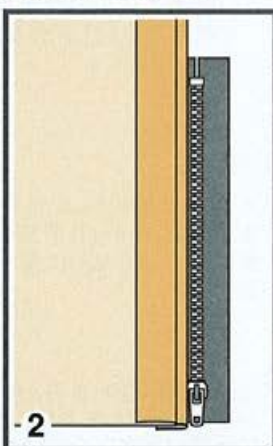
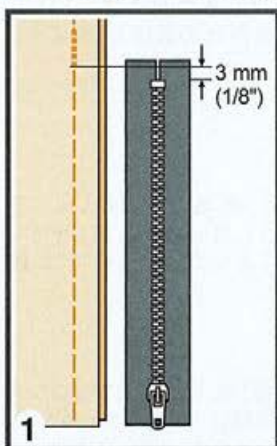
3. ファスナー押え取付け: 右側を縫うときは、ファスナー押え左ピンに取り付ける。

4. 左側を縫うときは、ファスナー押え右ピンに取り付ける。

5. 生地端から約 1cm の距離を保ちつつ、先にファスナー左側の下止め部分から、縫い始めます。

6. 次に右側部分を縫い、作業を終えたら仮縫い糸をほどこき、生地アイロンかけをします。

## ■ ファスナー付け(あき止りをファスナー付け後に縫う方法)



1. 生地を表地どうしを合わせ、裏地から仮縫いし、下止めから 3mm の部分を返し縫いして強化します。仮縫いの時は抜き取りに便利のように糸調子を“1”に調整してください。

2. 生地を縫い合わせるとき、縫いしろ部分にアイロンをかけて折り返す。左側の身頃生地端はファスナーの歯にぴたりと合わせ、右側の見頃生地端がファスナーの歯から 3mm の距離を保つように左右を縫い合わせする。

3. ファスナー押え取付け: 右側を縫うときは、ファスナー押え左ピンに取り付ける。  
左側を縫うときは、ファスナー押え右ピンに取り付ける。

4. 返し縫いされた下止め部分から縫製を開始。3mm の縫いしろの中央線を縫い進め、ファスナー上止め位置から 5cm ほどの所で針を刺したまま停めて押えを上げ、スライダを反対側に移動させ、縫い続けます。

5. 右下止め横縫いの部分は返し縫いで補強し、1cm ほど縫ったら 90 度回転させ、生地端から 1cm 距離を保ちながらファスナーあき部分を縫う。

6. ファスナー上止め位置から 5cm ほどの所で針を刺したまま停めて押えを上げ、スライダを反対側に移動させて縫い続け、完了後、仮縫いをほどこき、生地にアイロンかけをします。

## ボタン付け

### Bグループ

43

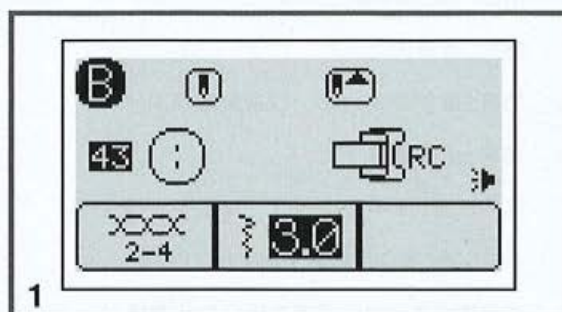


RC

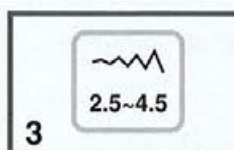
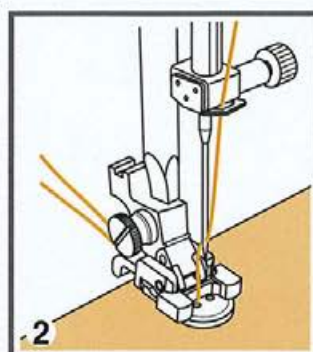
### おすすめ設定値



2.5~4.5

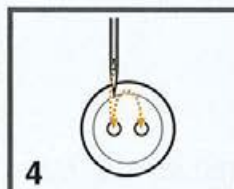


1. Bグループからコード 43 のボタン付け模様を選択し、押えコード“RC”のボタン付け押えに交換し、送り歯を下降させます。



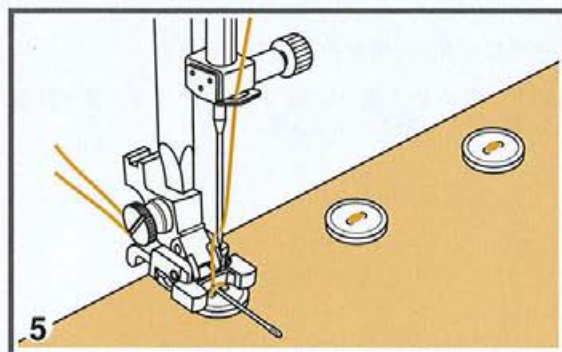
2. ボタンを生地の上に置き、押えレバーをボタンの上に下ろします。

3. 二つのボタン穴間の距離に合わせて、振り幅設定値を 2.5 から 4.5 の間にします。



4. 手動ではずみ車を回し、針がボタンの左右穴に正確に落ち、ボタンに当たらないことを確認します。

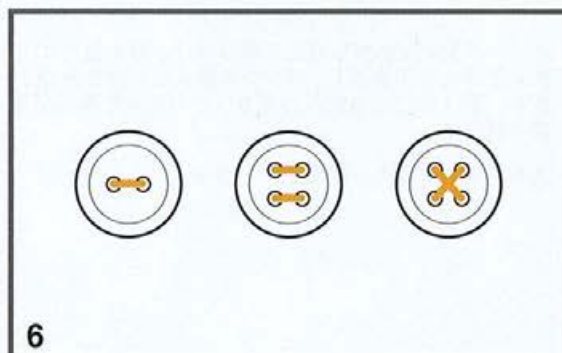
注意: 針がボタンに当たらないように低速で縫ってください。



5. 上糸の糸端を軽く握って縫い始め、縫い終わると自動的に止め縫い、停止されます。

注意: この手順をもう一度繰り返せばボタン付け縫いを補強できます。

上糸をはさみで切り、裏地の下糸を玉結びします。



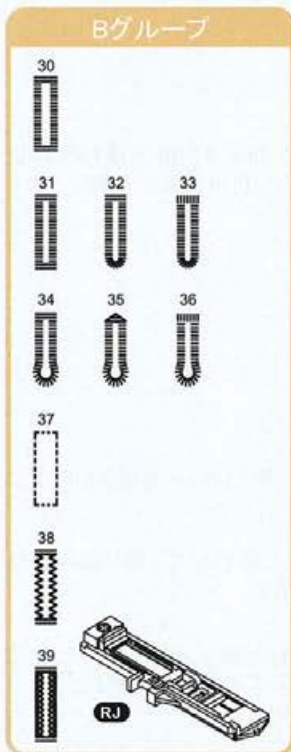
6. 四つ穴ボタンのときは、先に二つの穴を縫って、生地をずらして同様に残り二つの穴を縫います。

注意: 手縫い針一本をボタンと押えの間に噛ましてボタン付けすると、ボタンと生地間に適度な“遊び”が生まれます。



# ボタン穴かがり

## ■ オートボタン穴かがり



### おすすめ設定値

-----	~~~~~
0.3~1.0	3.0~7.0

-----	~~~~~
0.3~1.0	2.5~7.0

-----	~~~~~
0.3~1.0	5.5~7.0

-----	~~~~~
0.3~3.0	2.5~7.0

-----	~~~~~
1.0~3.0	2.5~7.0

-----	~~~~~
2.0~3.0	3.5~7.0

30: 薄手ワイシャツ、中厚地向け。

31: 薄地、中厚地向け。

32: 薄め、または中厚地向け。

33: 横穴、厚地向け。

34: 鳩目、厚手のコートまたは皮製衣類向け。

35: 鳩目、中厚地向け。

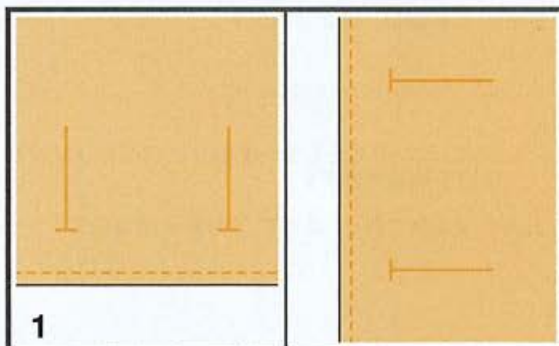
36: 横穴鳩目、厚手のコートまたは皮製衣類向け。

37: サテン地、柔らかめの生地向け。

38: 高弾性布または織密度の低い生地向け。

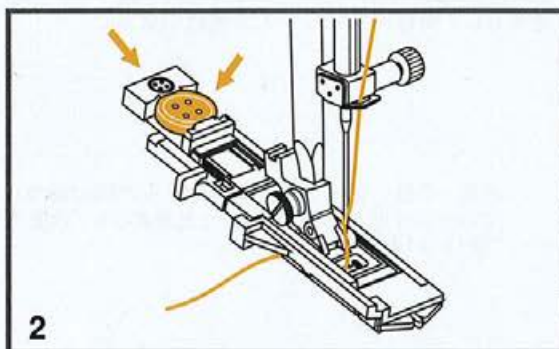
39: 高弾性布向け。

注意: 正式に縫製開始する前に、同じ生地を使って試し縫いしてください。



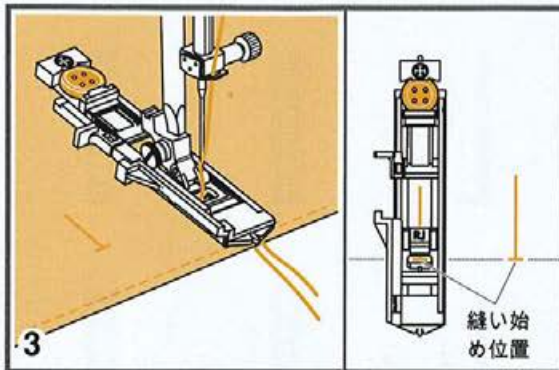
1. 生地にボタン穴位置の目印を付けます。

ボタン穴の最大長さは約 3cm。(ボタン穴長さ計算式: ボタン直径 + ボタン厚み)



2. オートボタン穴かがり押えを取り付け、押え後方のボタン受け台を引き出し、ボタンを挿入してはさみ込みます。受け台にはさまれたボタンでボタン穴長さが決定されます。

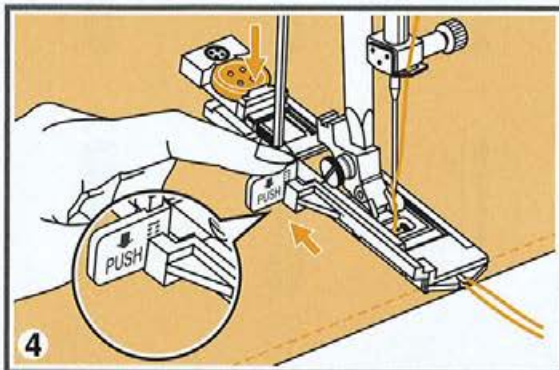
上糸を押えに通し、押え裏から出す。



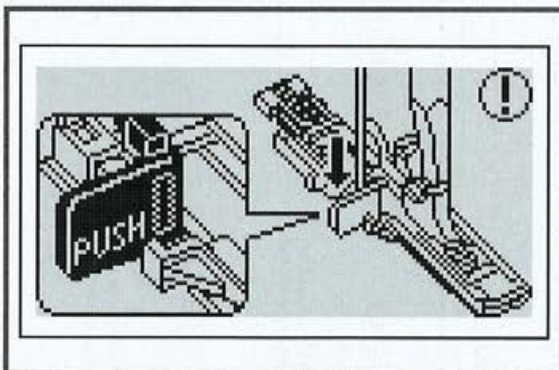
3. 生地の種類とボタン穴のはたらきに応じて適切なボタン穴の模様を選択し、設定を調整します。

生地を押えの下にもっていき、はずみ車を回して針を縫い始め位置に刺し、押えの下の上下糸を手前に引き出し、押えを垂直に下ろします。

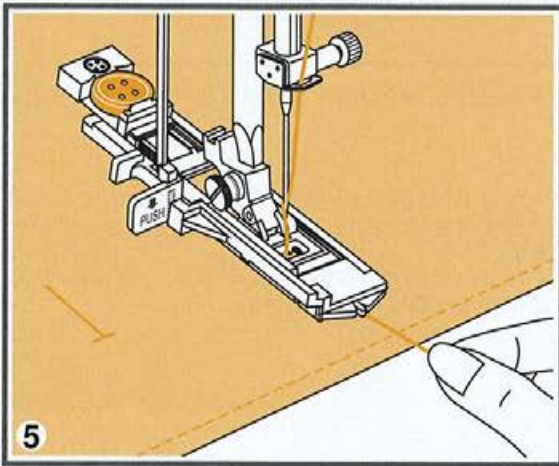
縫製後のボタン穴が左右不均等にならないようにするため、押えを下ろす前に左手で押え前端を支えるようにしながら右手で押え上げレバーを下ろすことをすすめます。



4. ボタン穴レバーを下げ切って、押え固定ピンを軽く支えるようにします。

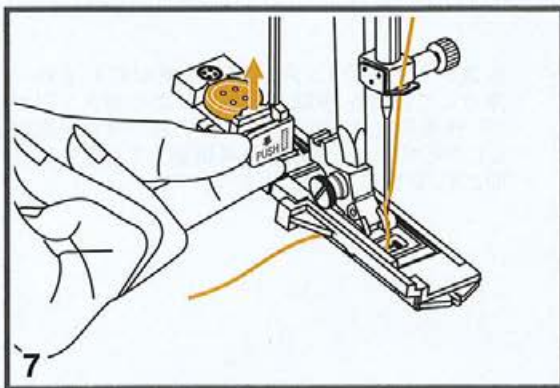
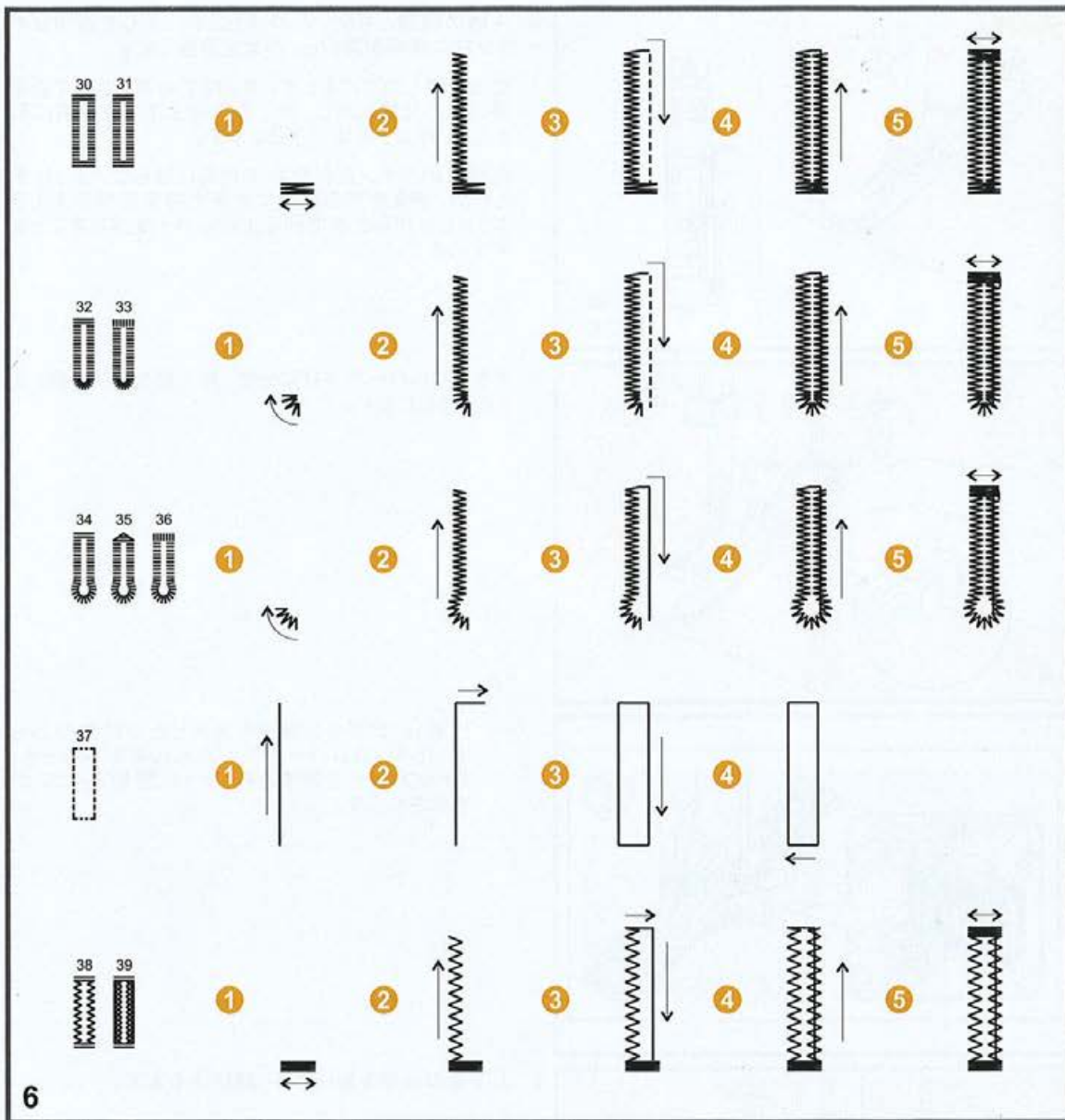


注意：どのボタン模様を選択したかにかかわらず、ボタン穴レバーを下げ忘れたまま「スタート/ストップキー」を押すとモニターに警告アイコンが表示されます。



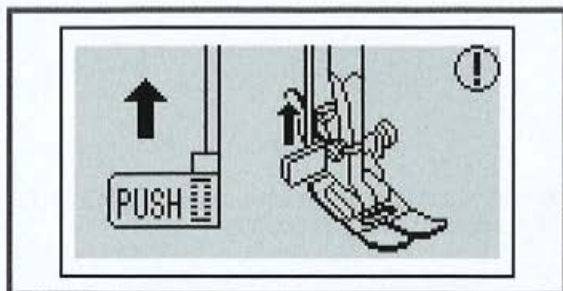
5. 上下糸の糸端を握りながら縫い始めます。

注意：一つのボタン穴かがり作業が終わる前に停止して位置を移動する場合、次のボタン穴かがり作業を始める前に、ひとまず別の模様を選択してからボタン穴の模様を再選択してください。このとき、針位置がリセットされます。

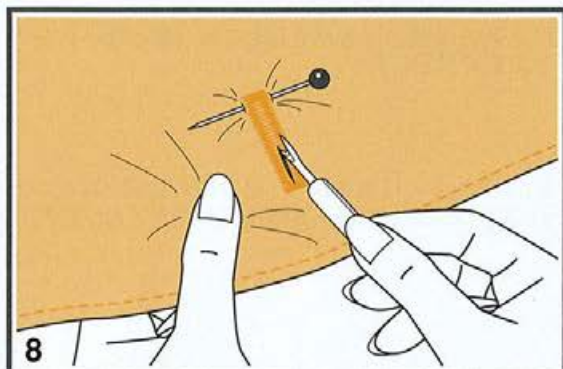


6. 手順どおり、ボタン穴かがりが自動的に行われます。

7. 一つのボタン穴かがりを完全に終えて次の穴かがり位置まで生地を移動させ、穴かがりを継続していきます。すべての穴かがりが終わったらボタン穴レバーを元の位置まで押し上げてください。



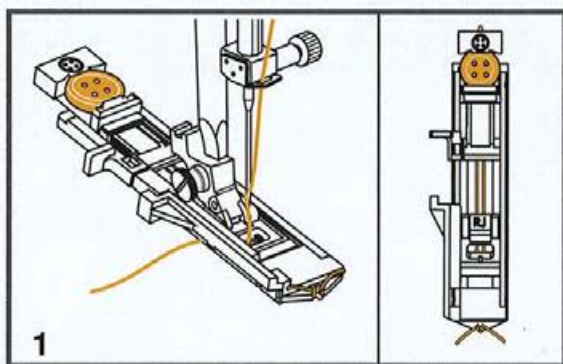
注意：一つの模様ボタン穴かがり作業が終了し、ボタン穴レバーの押し上げを忘れたまま別の模様を選択しようとしたり、“スタート・ストップキー”を押すと、ボタン穴レバーを押し上げるようモニターに警告アイコンが表示されます。



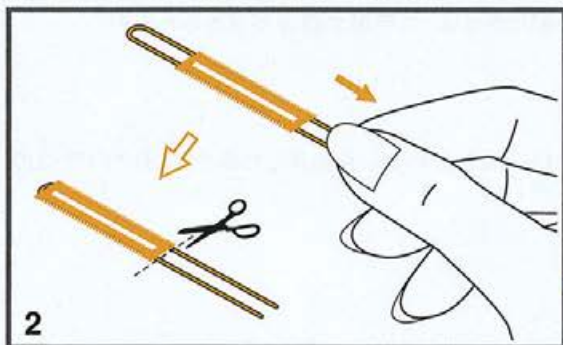
8. ボタン穴の縫い止め位置裏側に待ち針を刺し、目ほどもきでボタン穴をあけます。そのとき、縫い目をきずつけないように注意してください。

### ■ 伸縮素材のボタン穴かがり

伸縮素材生地にボタン穴かがりするときは、押えの下に木綿芯紐または太糸を置いておきます。



1. ボタン穴かがり押えを取り付け、押え裏のみぞ部分に木綿芯紐を置き、糸の両端をひとまず押え足の手前側にくくりつけ、振り幅が木綿芯紐両側を縫い込むように調整し、押えを下ろして縫い始めます。



2. 芯紐が縫い目に完全に隠れるように縫われたら、余分な芯紐を切り取り、目ほどもきでボタン穴をあけます。

注意：伸縮素材生地にボタン穴をあけるときの縫製がスムーズにいくように生地の下に裏当て布をすることをすすめます。

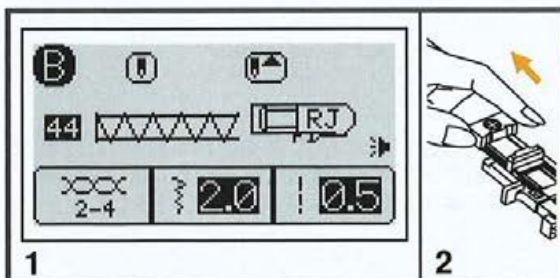
# かんぬき止め縫い

Bグループ

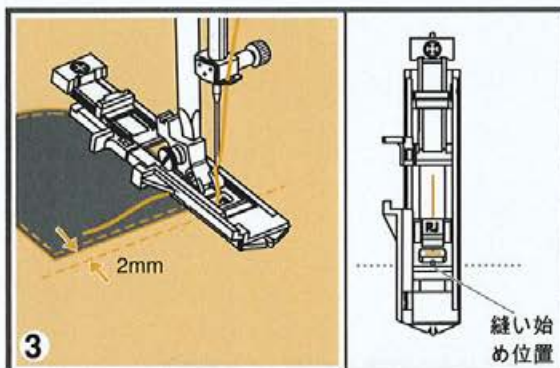


おすすめ設定値

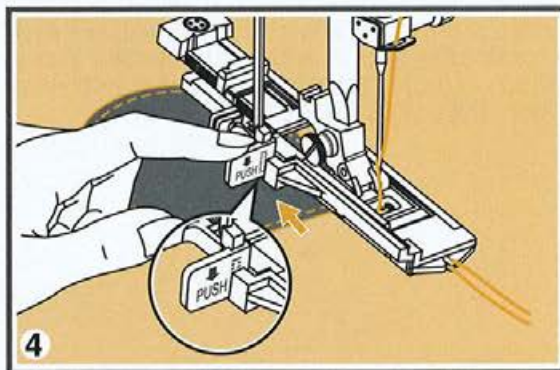
-----	~~~~~
0.4~1.0	1.0~3.0



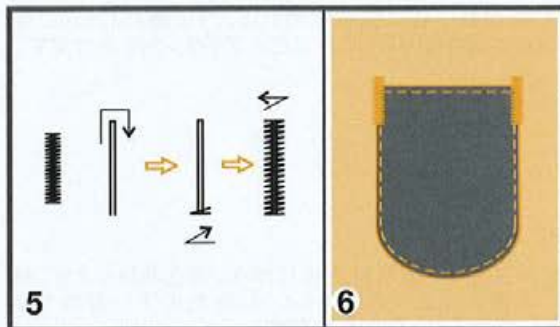
1. Bグループの模様コード44かんぬき止め縫いを選び、ボタン穴かがり押えに交換します。
2. 押え後方の受け台を引き出して振り幅と縫い目長さ設定値を調整します。



3. 先にポケットの位置を決め、縫い始め位置となるポケットあき口端から2mm上の所に押えを下ろします。



4. 上糸を押え裏に通し、ボタン穴レバーを下に押し切って押え固定ピンを軽く支えるようにします。手で上下糸の糸端を手前に引いて縫製開始です。



5. 図に示すような手順で縫製が進められます。
6. かんぬき止め縫いを利用したポケットあき口補強の例。

## Bグループ

45



RK

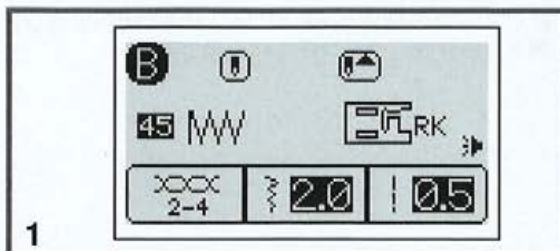
## おすすめ設定値

-----

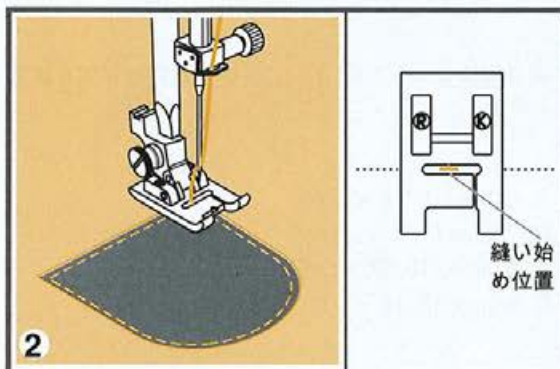


0.4~1.0

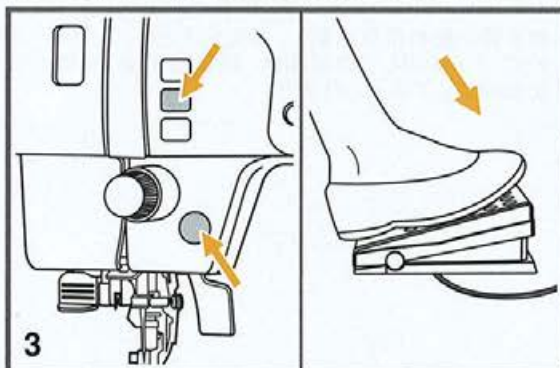
1.0~3.0



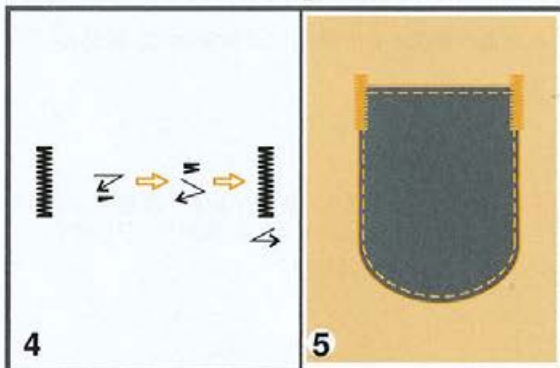
1. Bグループの模様コード 45 かんぬき止め縫いを選び、振り幅と縫い目長さ設定値を調整して、押えコード“RK”サテン押えに交換します。



2. 先にポケットの位置を決め、縫い始め位置となるポケットあき口端から 2mm上の所に押えを下ろします。



3. スタート・ストップキーまたはフットコントローラーで縫製開始します。



4. 図に示すような手順で縫製が進められます。

5. かんぬき止め縫いを利用したポケットあき口補強の例。

注意：ポケットのあき両端を補強することをすすめます。

# 穴かがり

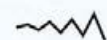
## Bグループ

40

41



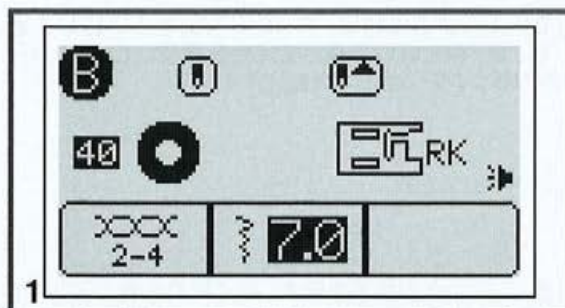
## おすすめ設定値



5.0 ~8.0

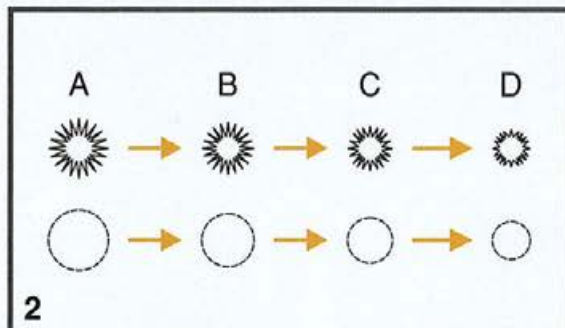
40: ベルト布上の飾り穴縫い。

41: ベルト布上の飾り穴縫い。



1

1. B グループの模様コード 40、41 の穴かがりを選び、押えコード“RK”サテン押えに交換します。



2

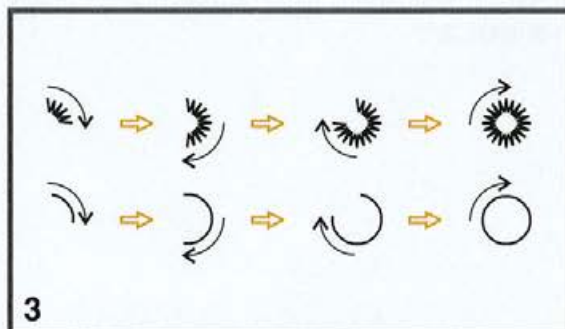
2. 振り幅調整キー“+”と“-”を使って穴サイズを決定します。

A. 8.0mm (5/16 インチ)

B. 7.0mm (1/4 インチ)

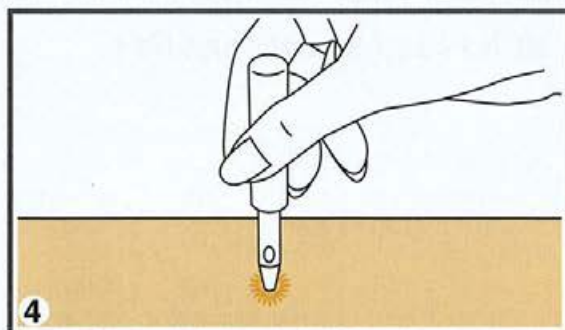
C. 6.0mm (15/64 インチ)

D. 5.0mm (3/16 インチ)



3

3. 針を縫い始め位置に刺し、押えを下ろし、スタート・ストップキーを押して縫製開始。縫製終了後、自動的に止め縫いして停止されます。



4

4. 穴あけ用きりで飾り穴の中心に穴をあけてください。

\* 穴あけ用きりは付属品には含まれていません。

注意: 細糸で縫うと効果があまり顕著ではありませんが、二度縫いすると効果がアップします。

# つくろい縫い

## Bグループ

46



47



48



## おすすめ設定値

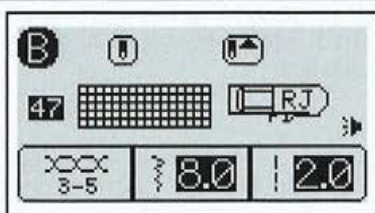


1.0~2.0



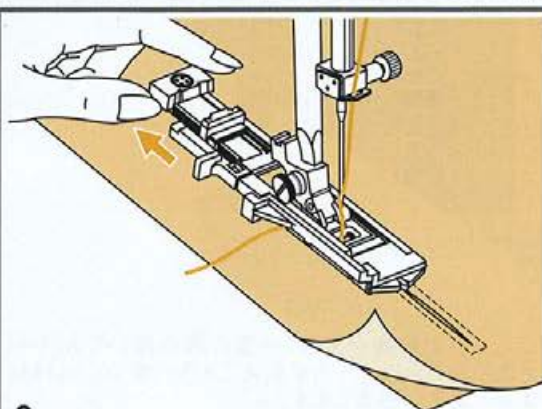
3.5~8.0

1



1. Bグループの模様コード46、47、48つくろい縫いを選び、押えコード“RJ”ボタン穴かがり押えに交換します。

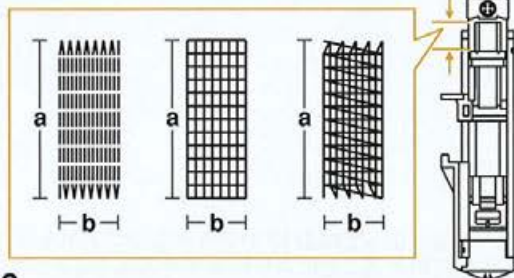
2



2. つくろいたい位置に色の近い布を裏当てしてから仮縫いして止め、生地を押えの下にもっていき、押えをつくろいの中央線に合わせます。

押え後方の受け台を引き出して縫い目長さを決め、糸を押え裏側に通します。

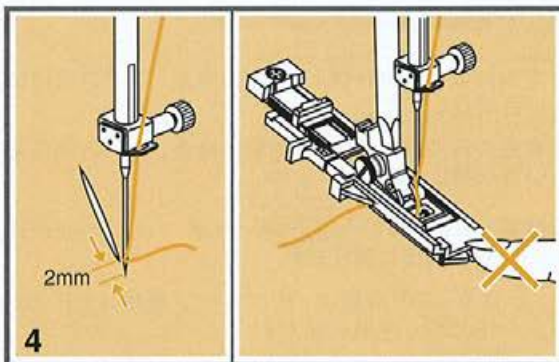
3



3. 一回の縫い模様長さは最大で3.5cm (1-1/8インチ)、最大振り幅は0.8cm (5/16インチ)。

- a. つくろい縫い模様長さ
- b. つくろい縫い模様幅

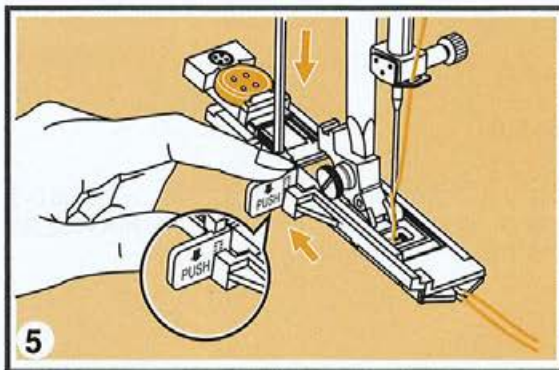
4




4. ほころびから2mm上の箇所が縫い始め位置となり、ここに押えを下ろします。

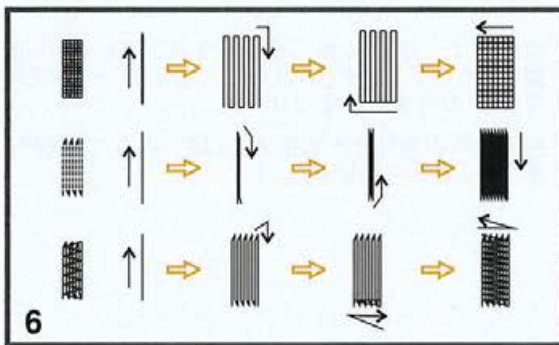
**注意:** つくろい縫い模様にくるいが生じますので、押えを下ろした後で押え足の先端部分を押さないでください。



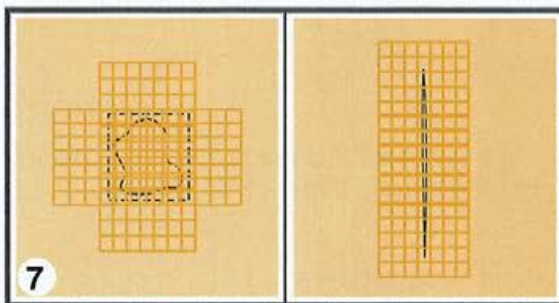


5. ボタン穴レバーを下に押し切って押え固定ピンを軽く支えるようにし、スタート・ストップキーを押して縫い始めます。

 注意:どのボタン模様を選択したかにかかわらず、ボタン穴レバーを下げ忘れたまま“スタート・ストップキー”を押すとモニターに警告アイコンが表示されます。

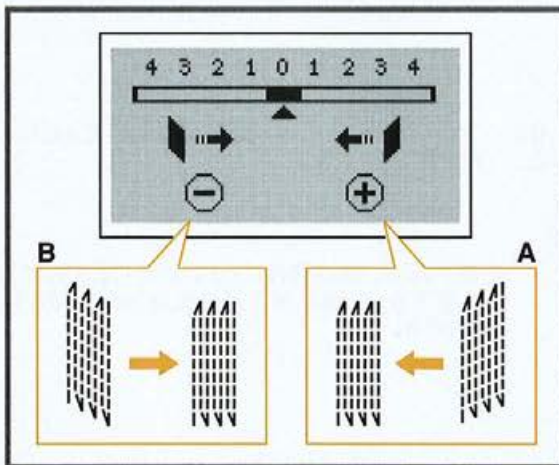


6. 図のような手順に従い、つくろい縫いが自動縫いされます。



7. ほころびの範囲が大きく一度の模様縫いでカバーしきれないときは、方向を変えてもう一度つくろい縫いすると効果が高まります。


### ■ つくろい縫いの針跡そろい調整



生地の種類によっては針跡がそろわないことがあり、この機能を利用することにより針跡をそろえることができます。

- “**EDIT**”キーを押す。

- A. 左側の返り点が右側よりも低い場合、“+”方向に縫い目調整します。  
 B. 右側の返り点が左側よりも低い場合、“-”方向に縫い目調整します。
- 調整を終え、再び“**EDIT**”キーを押すと、モニターは一般表示画面に戻ります。

 注意:この機能は、Bグループ模様コード46-48に限り使用可能です。

## 三つ巻き縫い

Bグループ



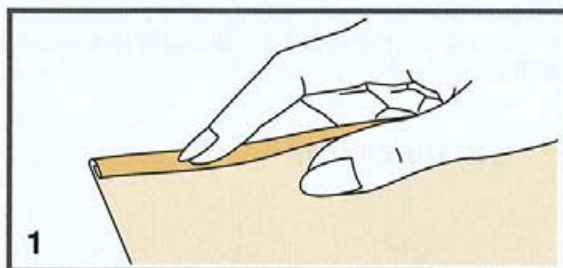
おすすめ設定値



1.5~3.0

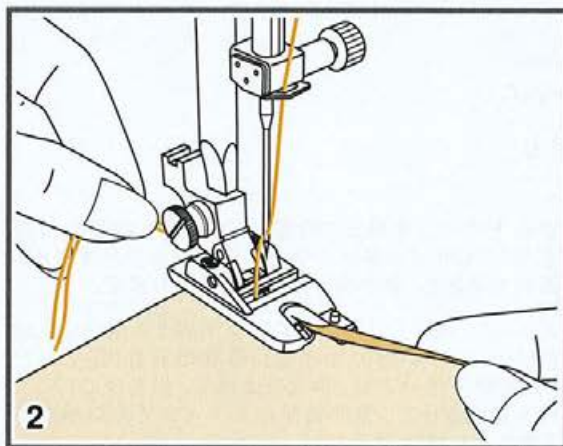


4.0



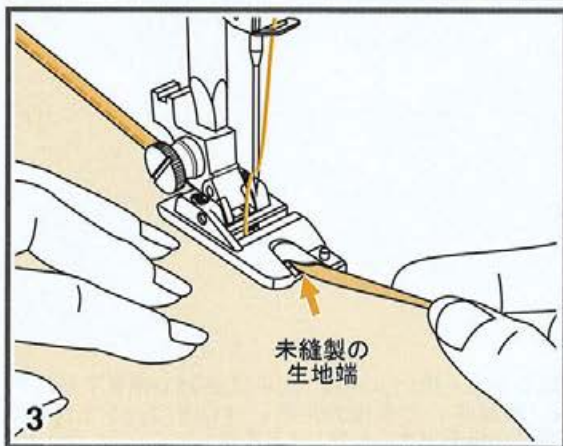
1

1. 生地端コーナーから 5cm くらいの部分を 3mm 幅で三つ折にします。折りにくい生地の場合はアイロンを利用すると縫いやすくなります。



2

2. はずみ車を時計と反対方向に回して針を縫い始め位置に刺し、押えを下げて、上下糸を後方に引っ張りながら生地を押えガイドに合わせながら二、三針縫って針を止め、“針上下調整キー”を押して針を生地に刺し、押えを上げ、三つ折を一旦ほどいて生地端を押え足の間に巻き込みます。

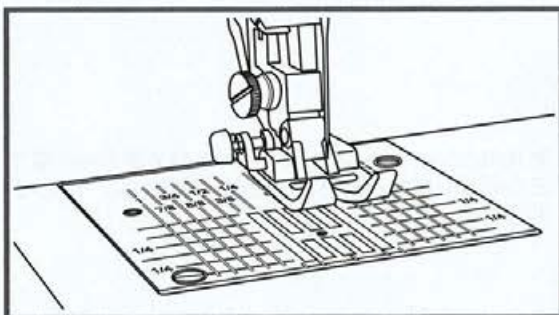


3

3. 押えを下げ、右手で生地をこころもち左に傾斜させながら、向かって右の押え足にあてがいつつ縫い続けます。

## キルティング

### ■ 直線専用針板

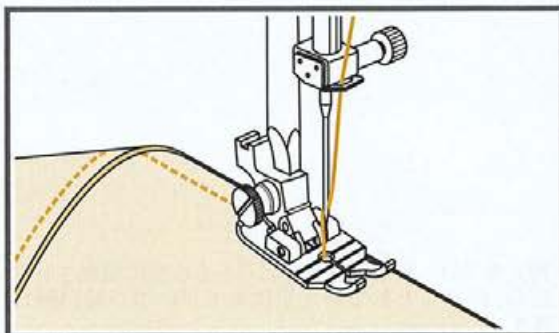
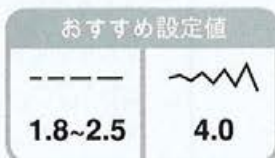
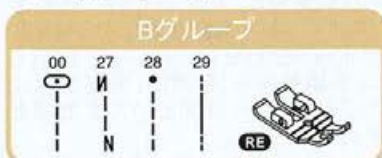


直線専用針板と押えコード“RE” 1/4 インチ直線専用押えは、同じ模様縫いの繰り返し(例:キルティング)のガイドに最大の効果を発揮します。

直線専用針板を使用するときには針落ちを中心基点とし、直線専用針板を使用する場合、模様を選択肢はAグループ模様コード1に限られ、縫い目調整キーのみ調整可能となります。

注意: 針板交換は 89 ページ参照。

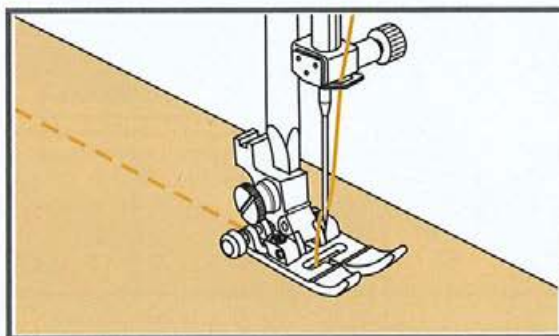
### ■ パッチワーク



端から 1/4 インチ残して縫製します。押えの中心基点の前後に 1/4 インチと 1/8 インチのまちを示すラインが赤線で示され、縫い向き変更の目安とします。

押えコード“RE”1/4 インチ直線専用押えを用いて生地端を縫い、向かい側の生地端が最初の赤線にさしかかると針を針下停止させ、押えを上げて、針を中心にして生地を旋回させて、生地端から 1/4 インチの距離がキープされるようにします。

### ■ 手縫い効果

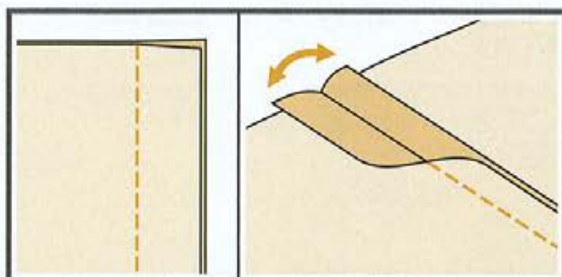


透明な上糸を用い、50番-60番のспан糸を下糸にすると、縫製時の上糸張力が増し、パッチワークキルトに手縫いの味を出すことができます。

上糸調子は生地の厚みに合わせて調整してください。

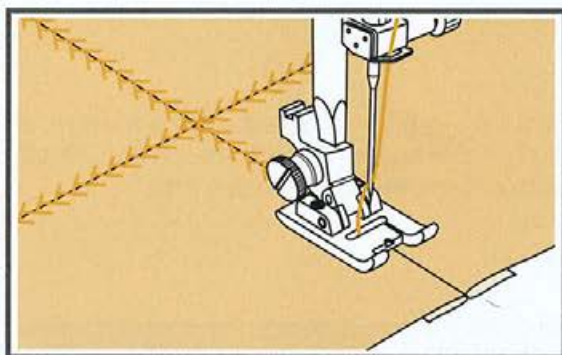
## ■ パッチワークキルト

### Bグループ



二枚の生地を表地どうしを合わせ、生地端から1cmの所を縫い合わせします。

見返し部分を左右に開き、アイロンをあてます。



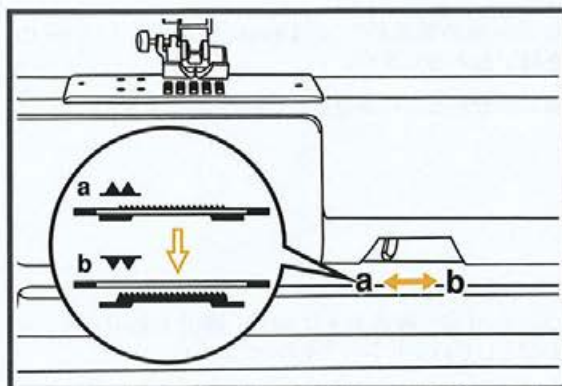
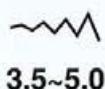
縫い合わせ後、表地を上に向け、縫い合わせラインを中心線としてパッチワークキルトします。

## ■ つくろい縫いと刺繍縫い

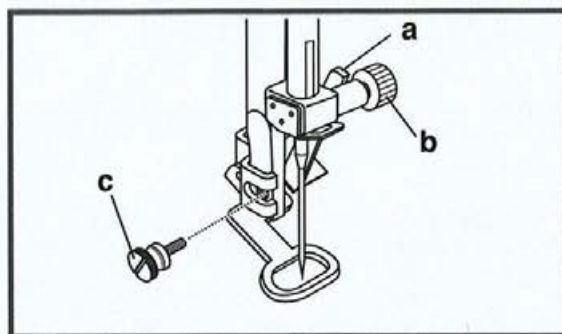
Bグループ



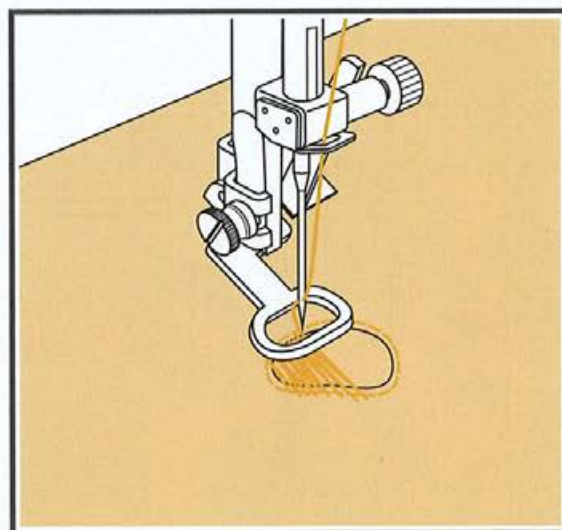
おすすめ設定値



送り歯調整レバーを“▼”にセットし、送り歯を下ろします。




押えホルダーを取り外し、刺繍縫い押えを取り付け、押えレバー(a)をねじ(b)の後ろ側にもたれさせ、押え止めねじ(c)を締め付けして、縫い始めます。

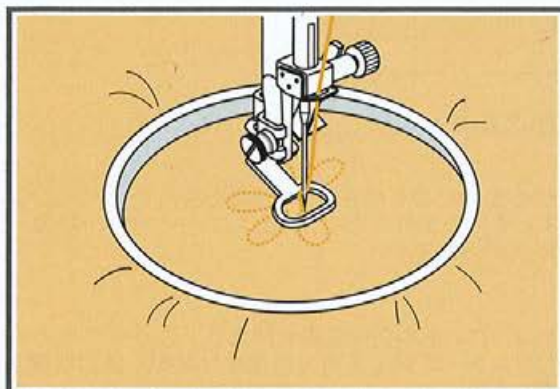


### つくろい縫い

縫製時にほころびが変形しないように、ほころびに裏当てをします。

まず、ほころびの周囲に沿って縫っていき(ほころび部分の固定)、ゆっくりとした速度で手前から後ろに布送りを繰り返して縫製します。このとき、縫い目が完全にほころび部分を越え、縫い目のラインの隙間は大きすぎることなく均一であること。ほころびが大きくて縫製が難しい場合は、生地の変換方向を変えて(生地を90度回転させて)、もう一度つくろい縫いで補強します。

 注意: 刺繍縫いの場合は送り歯を下降させ、布送りは自らが制御して、縫いの速さと布送りの方向を適切にコントロールしなければなりません。

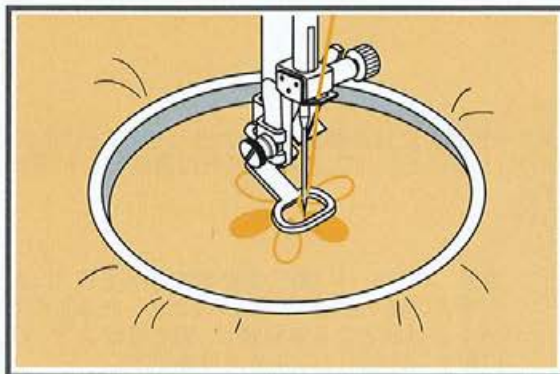


#### 刺繍縫い(図案)

先に刺繍の図案を生地に描き、生地に裏当てして刺繍枠をはめます。針を針上停止とし、刺繍枠を針の真下にもってきます。押えを下ろします。

左手で上系を持ちながら、はずみ車を時計と反対方向に回し、下糸を生地の上に出し、上下糸を軽く引っ張りながら三針から五針止め縫いします。

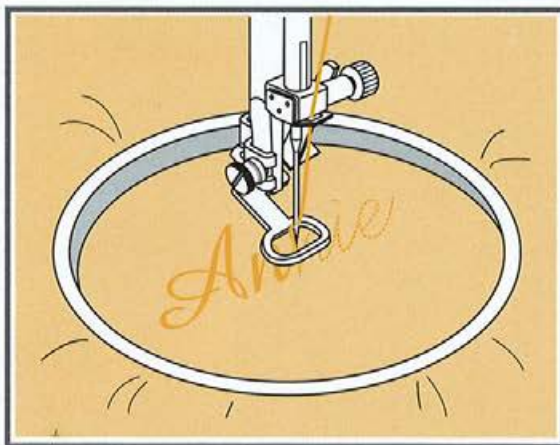
ジグザグ模様を選択し、図案によって振り幅調整し、刺繍枠を移動させて、図案の輪郭線に沿って同じ速さで連続縫いします。



輪郭線が縫い目で満たされるに当たり、一定の縫い密度が維持されていることを確認してください。

刺繍枠の移動のスピードが縫い目長さを決定します。素早く移動させると縫い目が長くなり、ゆっくり移動させると縫い目が短くなります。

“止め縫いキー”を押して、縫い終わり位置を補強します。



#### 刺繍縫い(文字の組合せ)

刺繍したい文字の組合せを生地に描き、生地に裏当てして刺繍枠をはめます。針を針上停止とし、刺繍枠を針の真下にもってきます、押えを下ろします。

左手で上系を持ちながら、はずみ車を時計と反対方向に回し、下糸を生地の上に出し、上下糸を軽く引っ張りながら三針から五針止め縫いします。

ジグザグ模様を選択し、図案によって振り幅調整し、刺繍枠を移動させて、図案の輪郭線に沿って同じ速さで連続縫いします。

刺繍枠を素早く移動させると縫い密度が低くなり、ゆっくり移動させると縫い密度が高くなります。

縫い終わりにさしかかると、“止め縫いキー”を押して、縫い終わり位置を補強します。

\* 刺繍枠は付属品には含まれていません。

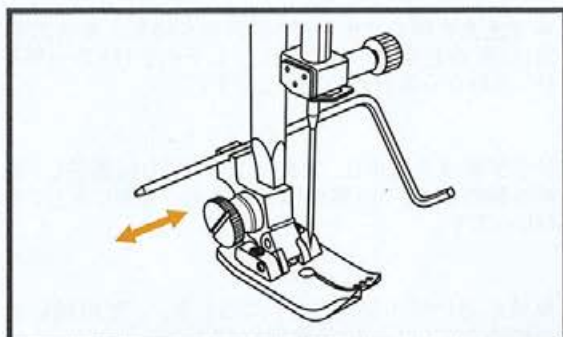
## キルター定規の取り付け

### Bグループ



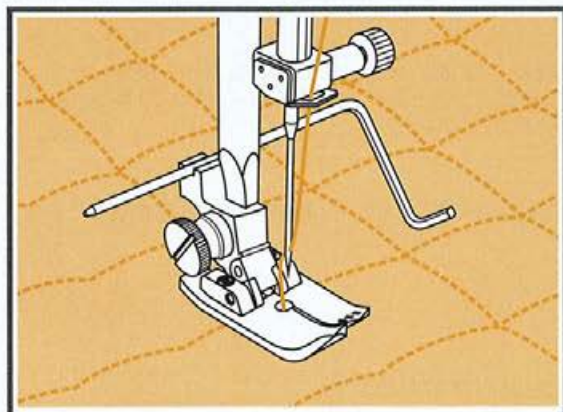
### おすすめ設定値

---	~~~~~
1.0~3.0	4.0




二枚の生地を芯をはさんで縫うのをキルティングといいます。薄めのかげぶとん、またはコートやベスト縫製への応用が可能です。

図のように、キルター定規を押えピンのみぞにはめ込み、キルター定規を左右に移動させながら縫い間隔を調整します。



キルター定規を最初の縫製ラインに沿わせることにより、キルティングのとき、同じ間隔で平行に連続縫いが可能です。

 注意：押えコード“RF”直線専用押えを使用。針が押えに当たらないようにするため、針落ち位置が中心基点となる直線縫い（振り幅は必ず 4.0 に設定）の場合にのみ使用可能です。

## コード縫い

芯紐コード一本を縫い込むと、ジャケット、ベスト、シャツに独特のカーブ曲線を出すことができ、三本縫い込みだと数珠つなぎ、紗織系、刺繍系、レース系、毛糸にも応用が可能です。

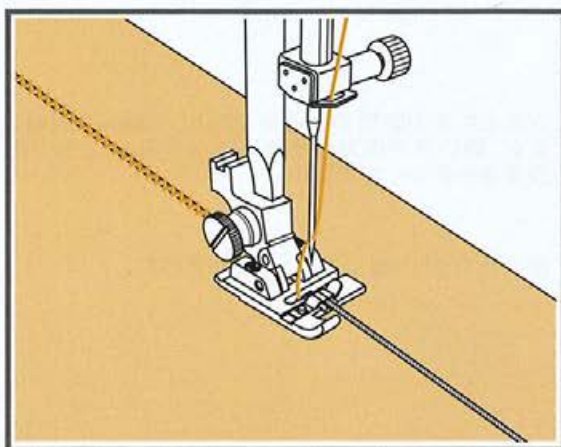
### ■ 一本線縫い込み

#### Bグループ

06



RH



押えばねプレートの右側から芯紐を中間のみぞに挿入し、芯紐を 5cm ほど後ろに出します。

押えを上げ、再び芯紐を押え裏の中間のみぞに入れ、芯紐固定します。

ジグザグ模様を選択し、芯紐がはみ出ないように芯紐の太さによって振り幅設定値を調整し、押えを下ろし、芯紐に沿ってゆっくりと縫っていきます。

### ■ 三本線縫い込み

#### Bグループ

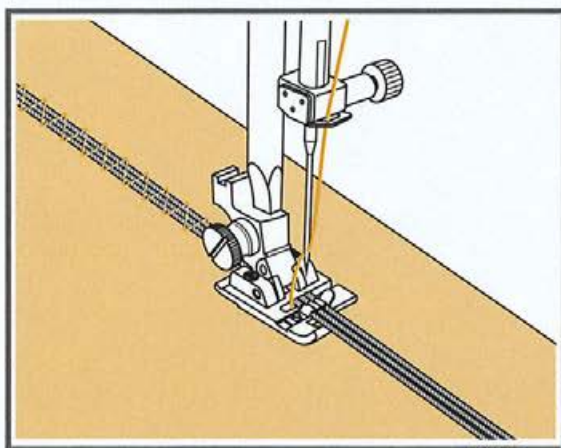
07



13



RH



三本の芯紐を押えばねプレートの右側から芯紐を三つのみぞに挿入し、芯紐三本を 5cm ほど後ろに出します。

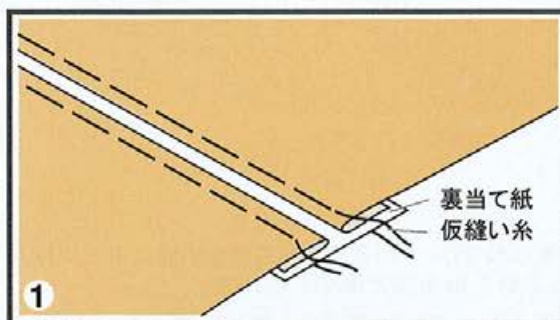
押えを上げ、再び芯紐三本を押え裏のみぞに入れ、芯紐を固定します。

模様を選択し、芯紐がはみ出ないように芯紐の太さによって振り幅設定値を調整し、押えを下ろし、芯紐に沿ってゆっくりと縫っていきます。

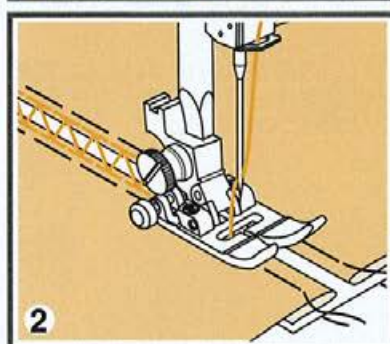


## 接ぎ合わせ縫い

### Bグループ



1. 縫いしろを折り返し、下に紙を裏当てし、生地と生地の間を0.4cmあけて、裏当てともども仮縫いします。



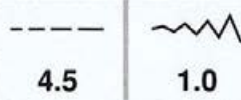
2. 生地と生地の間隙の中心線を軸として縫製を開始します。縫い目が両方の生地端に掛かるように振り幅設定値を調整してください。
3. 縫い終わったら裏当て紙を取り除きます。

## ギャザー寄せ

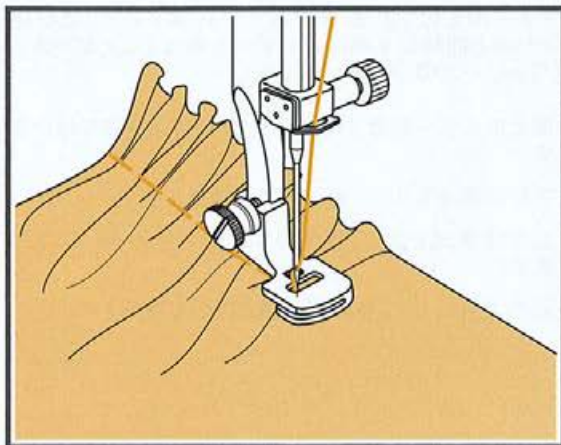
### Bグループ




### おすすめ設定値




ギャザー押えを使うと、一枚布にギャザーを寄せたり、下布にギャザーを寄せながら同時に上布に縫い合わせることもできます。ギャザー寄せには薄地もしくは中厚地を選ぶと効果がアップしますが、厚地には、すすめられません。



1. 押えホルダーを取り外し、ギャザー押えを取り付けます。押え交換方法は 32 ページ参照。
2. 一枚布にギャザーを寄せる場合、生地に押えを下ろし、縫い目長さを適切に調整し、上糸系調子を強くすると、生地にギャザーを寄せることができます。
3. 縫い目長さによる方法：お好みのギャザーがとれるように、縫い目長さと上糸系調子を調整してください。縫い目が長いほどギャザーが大きくなります。
4. 上糸系調子調整による方法：縫い目長さを 2.5-3.0mm の間にとり、お好みのギャザーがとれるまで上糸系調子を強くしていきます。
5. 縫い目長さと上糸系調子調整による方法：縫い目を長くし、上糸系調子を強くすると、比較的大きなギャザーがとれます。お好みのギャザーがとれるまで、必ず試し縫いしてください。

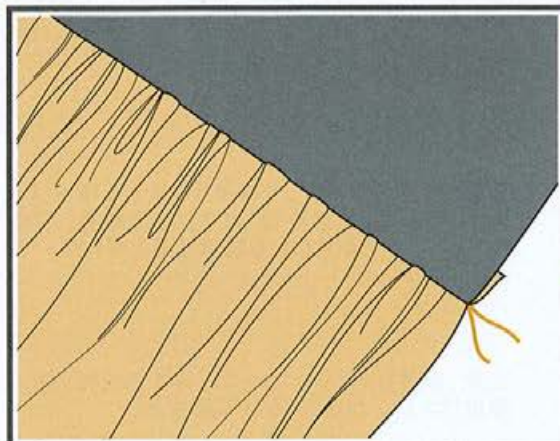
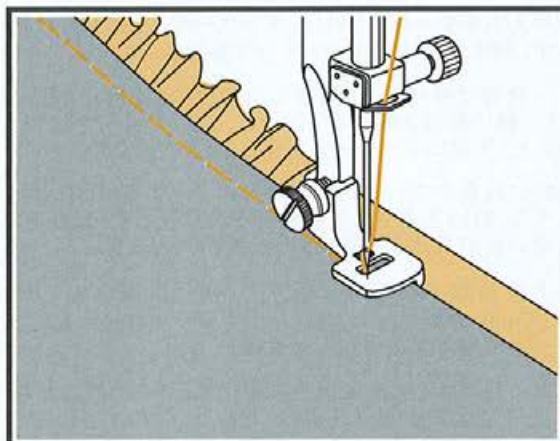
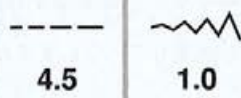
 注意：基本押えを使ってギャザーをとる場合は、上糸系調子設定値を“2”以下にまで弱め、下糸を持ち、ピンと張りながら縫製するとギャザーがとれます。

 注意：布送りをうまくコントロールするため、縫い速度はスローから中くらいの速さで。

Bグループ




おすすめ設定値




ギャザー押えの“コ”の字型みぞを利用すると、上布縫い合わせと同時に下布にギャザーを寄せることができます(ワンピースのウエスト部分等)。

1. 押えホルダーを取り外し、ギャザー押えを取り付けます。
2. 下布は表地を出し、押えの下に置きます。
3. 上布は裏地を出し、押えの“コ”の字型みぞにはさみます。
4. 図のように、上下布の同時縫製をしていきます。

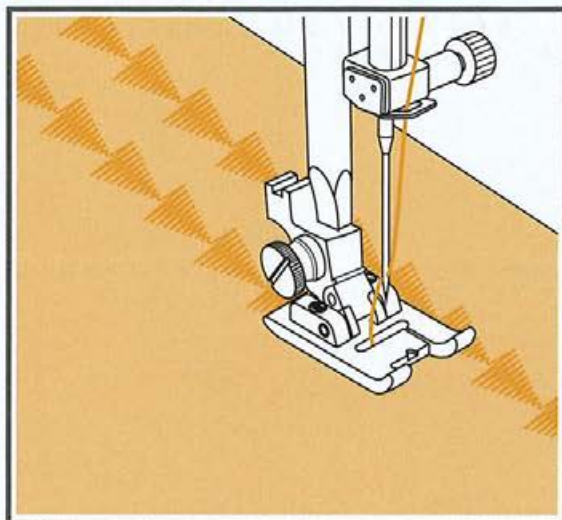
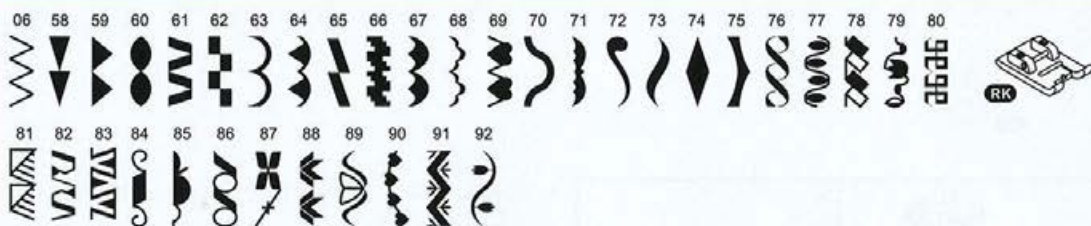
 注意: ギャザー寄せの試し縫いに当たり、上糸糸調子を強くしながら約30cm縫ってギャザーの寄り具合を確認すると、お好みのギャザー調整が容易になります。正式縫製時と同じ生地を使って試し縫いしてください。

縦地横地の生地よりもバイヤス生地のほうがギャザー効果が上がります。

 注意: 縫製時の縫い速度はスローから中くらいの速さで。

## サテン縫い


### Bグループ



93 ページの模様詳細表を参考に、縫い目長さとし振り幅を調整してください。

サテン縫い、または飾り縫いのときはサテン縫い押えを使用してください。この押えを使うと、押え裏のみぞの関係で高密度縫いが可能で、しかも布送りがスムーズです。

サテン縫い、または飾り縫いの模様に合わせて、適切な縫い目長さとし振り幅を調整し、縫い目長さとし振り幅が最適となるまで、余分の布を使って試し縫いしてください。

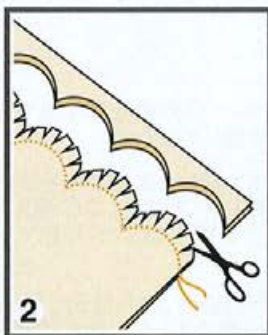
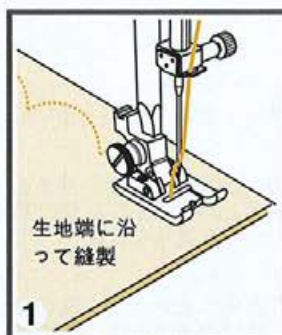
 注意：極薄の生地に縫う場合には、生地の下に布を裏当てして、裏当てともども縫うと、より良い効果が得られます。

## スカラップ模様縫い

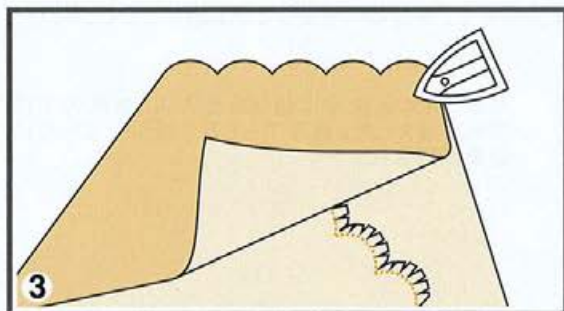
### ■ スカラップ模様端縫い

#### Dグループ

68



1. 二枚の布のオモテどうしを合わせ、生地ウラ端に沿って縫製します。
2. スカラップ模様に縫って、縫いラインから約 3mm 残して生地をスカラップ(貝殻)状に裁断し、さらにピンキングばさみで裁ちます。



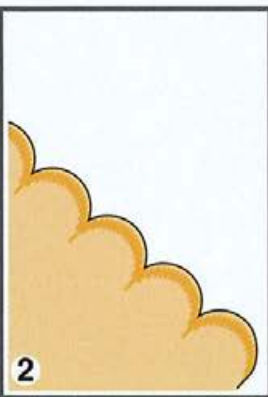
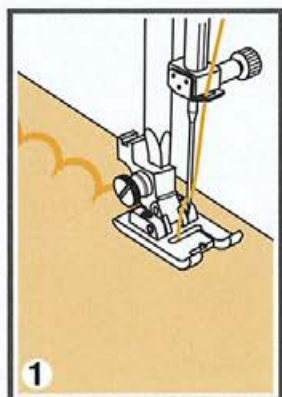
3. 生地のおモテを出し、模様部分にアイロンを当てます。

### ■ スカラップ(波形模様)かがり

#### Bグループ

63

3



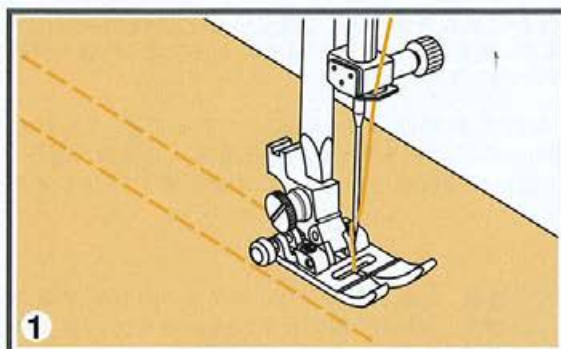
1. 生地端沿いにスカラップ(波形模様)縫いします。針が生地端を越えないこと。  
\* 生地に軽く糊をして、アイロンを当ててから縫うとより良い効果が得られます。
2. 縫製部分をいためないように、スカラップ(波形模様)に沿って生地端を裁断します。

## ギャザー＋飾り縫い

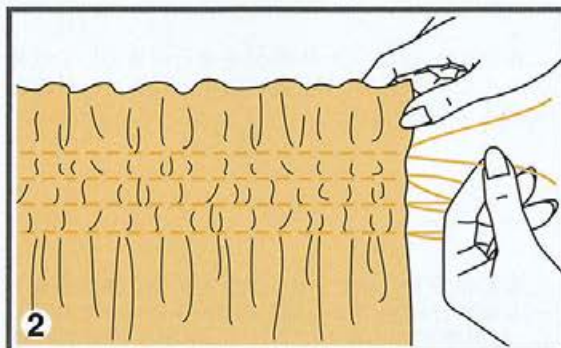
Bグループ



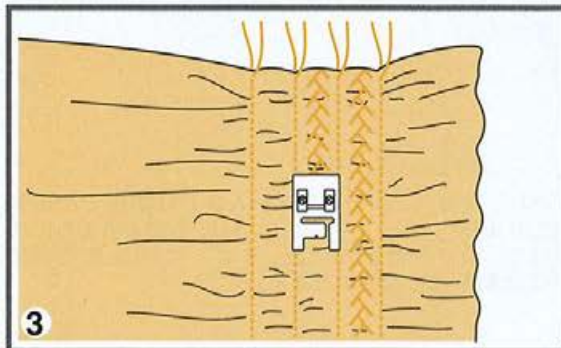
Bグループ



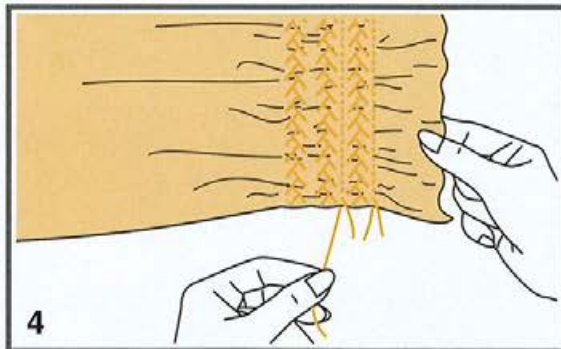
1. 基本押えを使い、1cm 間隔で数本、直線縫いします。



2. 縫い始めの上糸と下糸を結び、下糸を引っ張って均一にギャザーを寄せ、さらに縫い終わり位置で上糸と下糸を結んで固定します。



3. 二本の直線縫いの間に飾り縫いを施します。

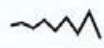


4. 直線縫いの糸を引き抜きます。

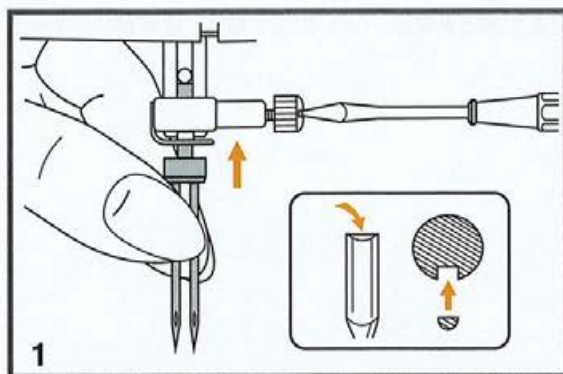
## 二本針



おすすめ設定値



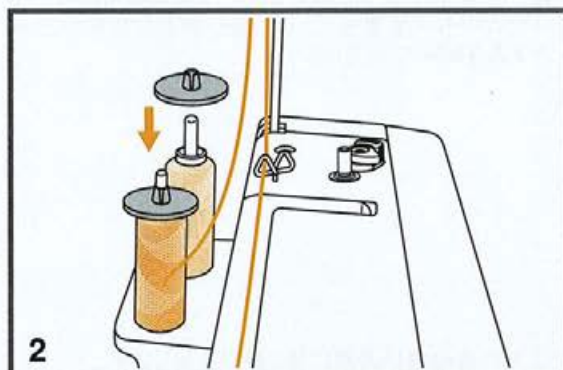
2.0~6.0



二本針に異なる糸を通して縫うと、同じ模様が平行に入ります。材質と糸サイズが似ている糸を使ったほうが模様のバランスがとれます。

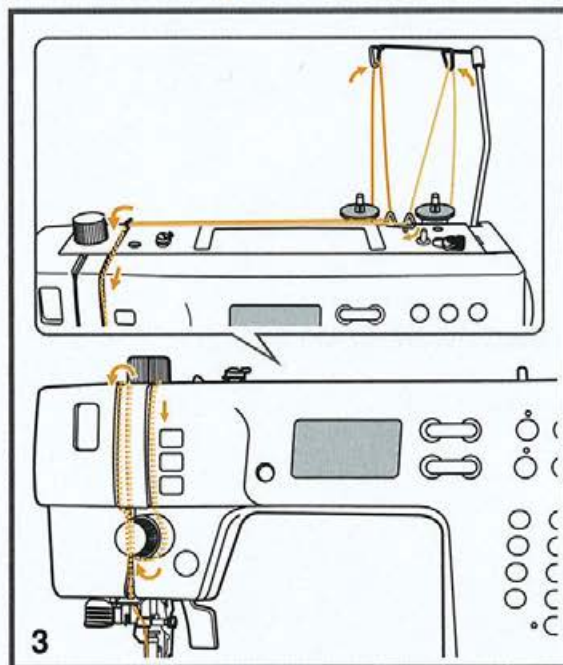
二本針の針幅は 5.0mm 以下であること。もし針幅 5.0mm の二本針を使うときは直線縫いの模様を選び、飾り縫いには針幅 2.0mm の二本針を使うことをおすすめします。

**注意:** 二本針使用では、押えコード“RA”の基本押え、または“RK”サテン縫い押えのみ使用可能です。

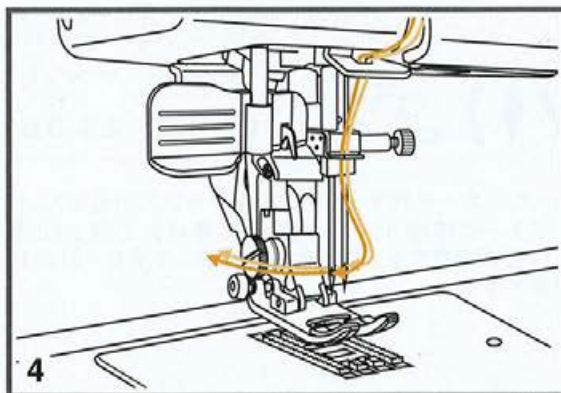


1. 二本針の針頭のフラット部分を後ろ向きにして針棒のみぞにはめ込み、押し上げます。(31 ページの針交換方法参照)

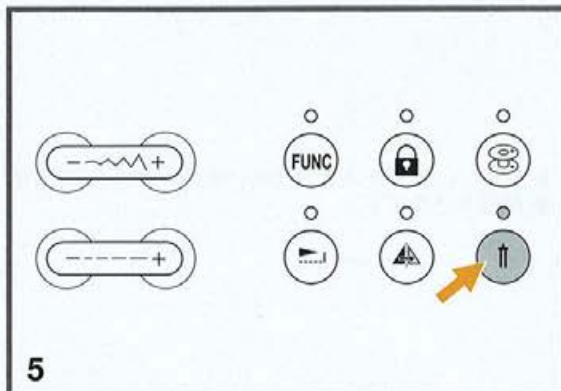
2. 二本の糸立棒に糸こまを入れ、左の糸こまの糸をアーム糸かけ経由で上糸通しのルートに沿って糸通し、針の手前から後ろに向けて、手で左の針穴に通します。(二本針使用時には自動糸通しは使用できません。)



3. 次に、右の糸こまの糸をアーム糸かけ経由で上糸通しのルートに沿って糸通し、針の手前から後ろに向けて、手で右の針穴に通します。(二本針使用時には自動糸通しは使用できません。)

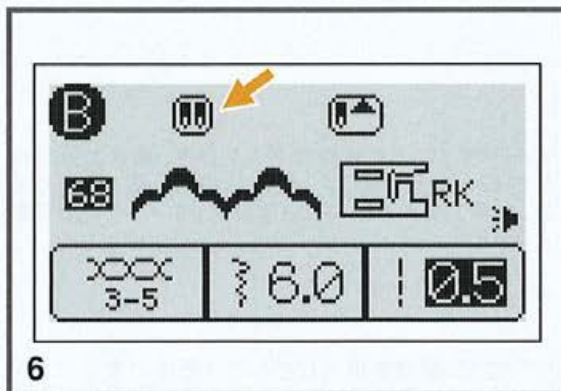



4. 二本の糸を、それぞれ針穴に通す。



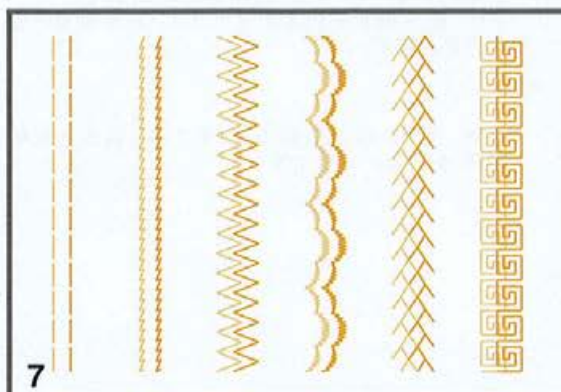
5. 模様選択。B グループ模様 27-49 を除き、すべて二本針使用可能。

二本針キーを押すとキーのLEDランプが点灯します。このとき、最大振り幅設定値が自動的に 2mm 減少します。





6. モニターに二本針を表す“”アイコンが表示されます。

模様を変えるたびに二本針キーを押して二本針モードにしてください。



7. 縫い模様が平行に入ります。

 注意：縫製開始前に、はずみ車を回して針が押えに当たらないことを確認してください。

 注意：二本針を使って縫うときには、縫製効果をアップさせるため、ゆっくりとした速度で縫ってください。



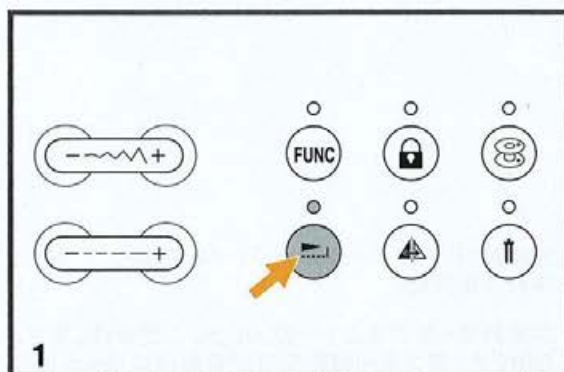
# 拡大機能

## Bグループ




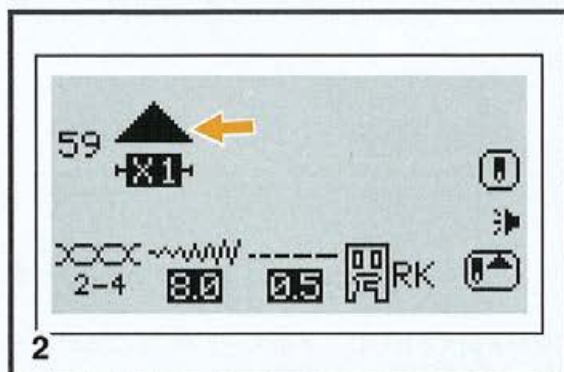
### おすすめ設定値

---	~~~~~
0.3~1.0	2.5~8.0



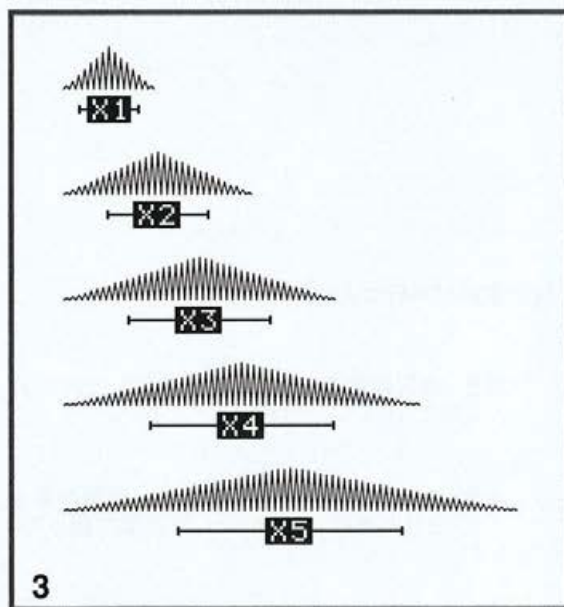
1

1. “”キーを押すとキーのLEDランプが点灯し、Bグループ模様 58-75 を選ぶと、模様を2倍から5倍に拡大できます。縫い目長さは同じですが、針数が増えます。




2


2. 拡大したい模様を選択すると、液晶パネルに拡大倍数が表示されます。



3

3. キーを押すごとに倍数が増えていき、最大で原寸の5倍まで拡大可能。さらに模様の振幅、縫い目長さ、針数を変えると、さまざまなバリエーションが可能となります。

 注意: 模様を拡大しても縫い密度に変化はありません。モニターには実際の縫い目長さが表示され、拡大倍数を表示するアイコンが模様長さ拡大を表します。

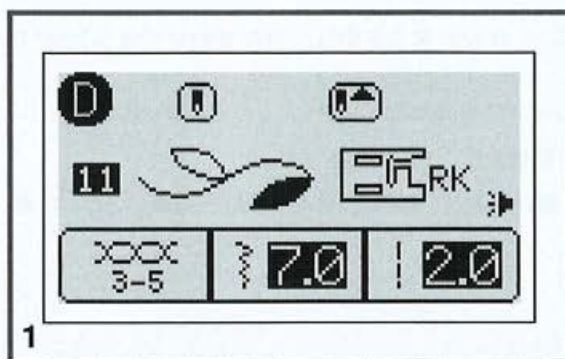
 注意: サテン縫い模様 58-75 では、拡大と反転の同時設定が可能です。

## 反転機能

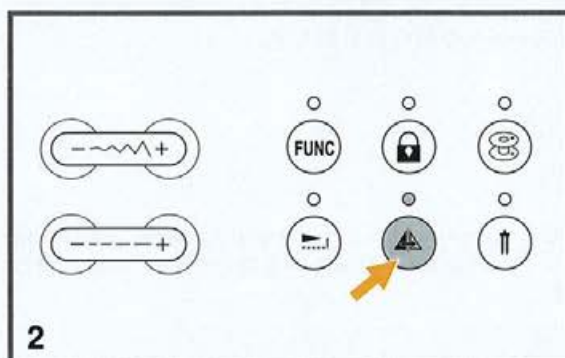


注意:

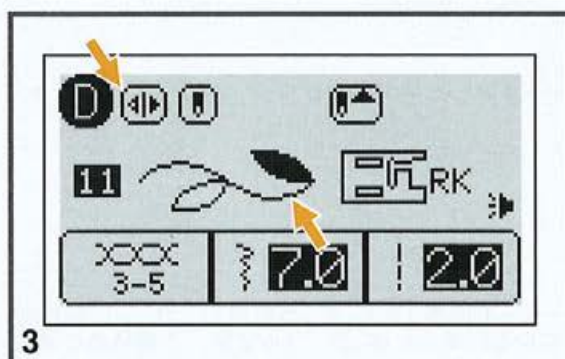
- B グループ模様 30-49 に反転機能はありません。
- 反転後の模様も、他の模様と同様にメモリーキーで記憶させることができます。



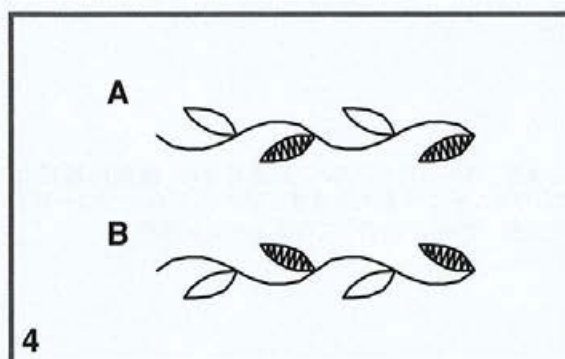
1. “▲”キーを押し、D グループ模様11を選択します。



2. 反転キーを押します。



3. モニターに反転後の模様と反転を表すアイコンが表示されます。



A. 通常の模様。

B. 反転模様。



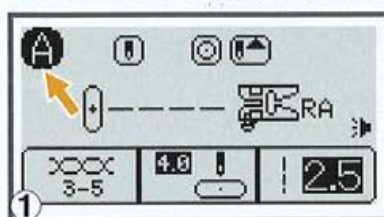
## メモリー機能

模様を組み合わせを保存し、次回の縫製時に使用できる機能。電源をオフにしても保存された模様は削除されず、メモリー機能で記憶された模様組合せを呼び出すことにより、保存された模様をいつでも縫うことができます。非常に便利な機能で、たとえば“名前”は最もよく使われる組合せです。

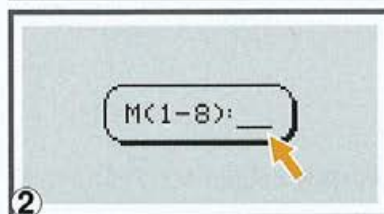
注意:

- Bグループ、Cグループ、Dグループ、ブロック体文字、筆記体文字を相互に組み合わせて縫うことができます。
- クイック選択模様、Bグループ模様 27-49、Cグループ模様00は記憶させることができません。
- 模様組合せは合計 8 組、1 組当たり 20 の模様を記憶させることが可能です。
- 文字グループを除き、記憶される模様はすべて、縫い目長さ、振り幅、反転、自動止め縫いといた機能の設定が可能です。

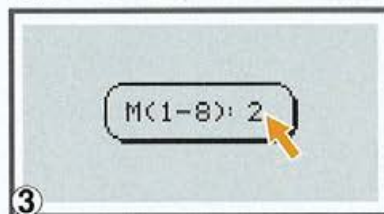
### ■ 文字または模様の組合せ



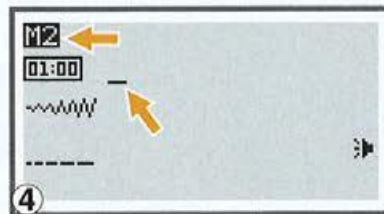
1. 電源をオンにするとモニターに“**A**”が表示されますが、大部分の画面の状態では記憶モードへの移行が可能です。



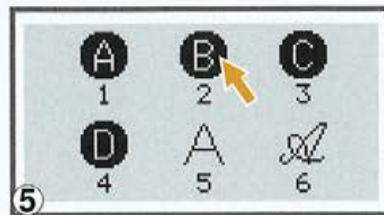
2. メモリーキーを押してメモリーモードに入ります。この時、メモリー組合せコードのカーソルが点滅し、数字キーを押してメモリー組合せコードを選択します。



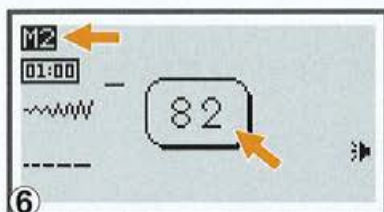
3. 数字の 1-8 のキーを押してメモリー組合せコードを入力します。(例: 第 2 組)



4. 自動的にメモリーモードに移ります。もし当該組合せコードに模様の一つも記憶されていない場合には、カーソルは第一の模様の位置を指します。



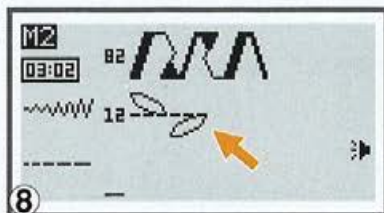
5. “**FUNC**”キーを押します。キーのLEDランプが点灯され、画面は模様グループを表示するウインドウに変わります。意中のグループコードを選択してください。(例: キー“2”を押してBグループを選択)




6. 意中の模様コードを入力します。(例: 模様 82)  
画面左上はメモリー組合せコード表示です。(例: 第 2 組)

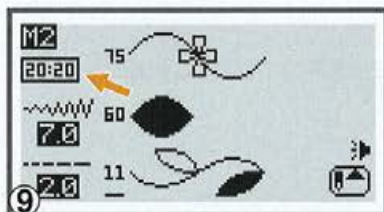


7. 選択された模様が画面に表示され、カーソルは次の位置に移動します。




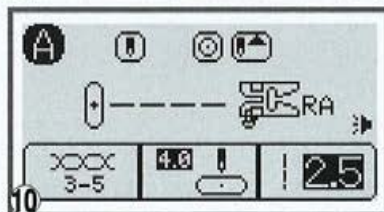
8. ステップ 5 から 7 を繰り返し、記憶させたい模様を入力していきます。

 注意: カーソルが模様コードの真下に現れます。左画面の例では、カーソルは 3 番目の模様の位置にあり、これは二つの模様が入力済み状態であることを示しています。




9. 1 組当たり選択できる模様は 20 まで。画面でカーソルが 20 番目の模様を指しているとき、すでに 20 の模様が入力されたことを示します。

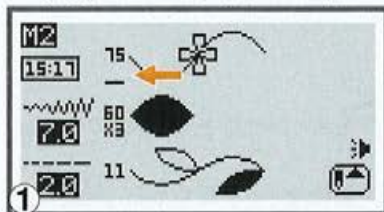
 注意: 21 番目の模様を入力すると、短めの効果音が三回鳴って警告します。




10. ここで再び“(M)”キーを押して保存完了し、メモリーモードを離れ、一般表示に戻ります。

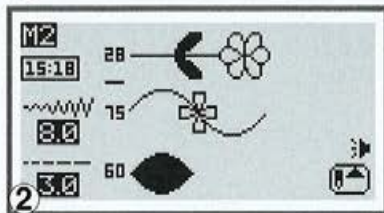
 警告: メモリー入力を終え、“(M)”キーを押さないまま電源を切ると入力された模様が記憶されません。

## ■ 模様または文字の追加



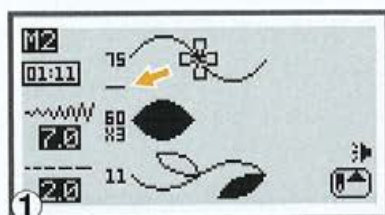
1. “(M)”キーを押し、振り幅キーを用いて模様を追加したい位置までカーソルを移動させ、別の模様または文字を挿入できます。

 警告: 模様または文字を選択する前に、選択済みの模様が 19 以下であることを確認してください。

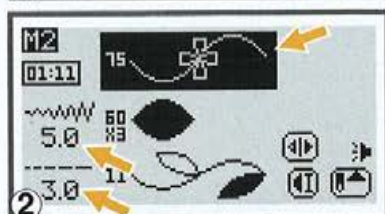


2. 模様コード(例: 28)を押して、模様を挿入、入力します。  
再び“(M)”キーを押して保存し、記憶モードを離れると、画面が一般表示に戻ります。

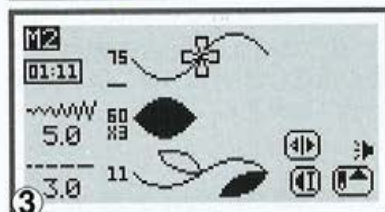
## ■ 編集機能



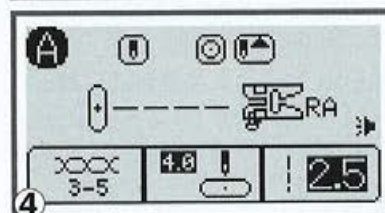
1. “(M)”キーを押し、振り幅キーを押してカーソルを編集したい模様的位置にもっていきます。



2. “(EDIT)”キーを押して編集モードに入り、縫い目長さ、振り幅、拡大、反転、自動止め縫いといったパラメータを手動設定できます。

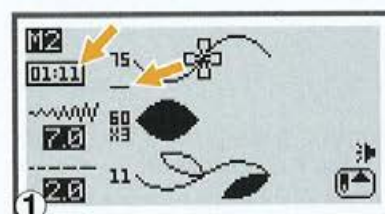


3. 再び“(EDIT)”キーを押して編集作業を終え、画面が元に戻ると、また別の模様の編集作業ができます。

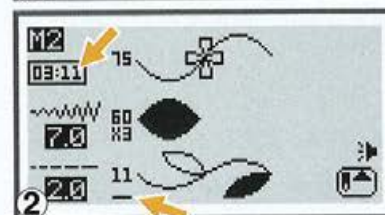


4. 編集作業完了後、再び“(M)”キーを押して保存し、記憶モードを離れると、画面が一般表示に戻ります。

## ■ 模様または文字のキャンセル



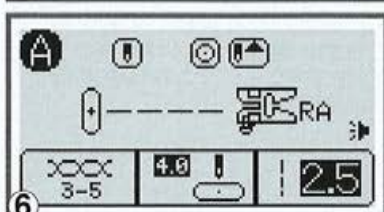
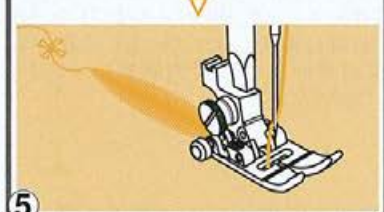
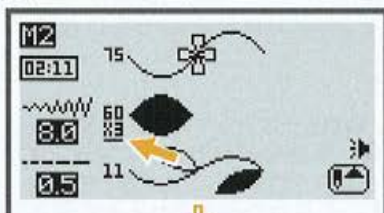
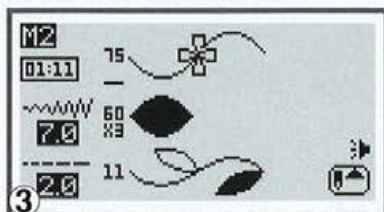
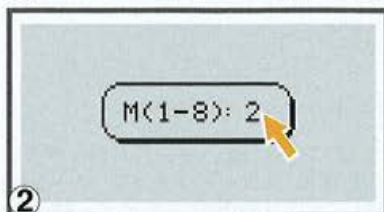
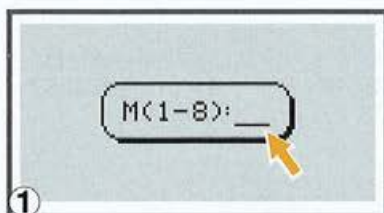
1. “(M)”キーを押し、振り幅キーを押してキャンセルしたい模様的位置にカーソルをもっていきます。



2. “(C)”キーを押して選択した模様をキャンセルすると、次の模様が見え隠れします。

再び“(M)”キーを押して保存し、記憶モードを離れると、画面が一般表示に戻ります。

## ■ 記憶された模様組合せの縫製



1. “M”キーを押してメモリーモードに入るとカーソルがメモリー組合せコードの位置で点滅するので、数字キーでメモリー組合せコードを入力してください。

2. 記憶させたい、または縫製したいメモリー組合せコードを入力します。  
(例: 第 2 組)

3. 画面に記憶済みの模様組合せが表示され、カーソルが最初の模様の位置を指します。

4. “スタート・ストップ”キーを押す、またはフットコントローラーを踏んで縫い始めます。

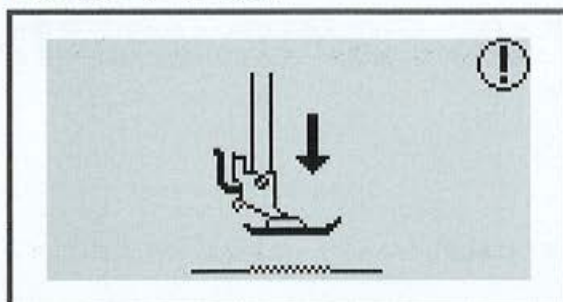
5. 画面中、カーソルが現在縫っている模様を指します。

注意: “スタート・ストップ”キーを押した時にカーソルが指している模様から縫い始めます。カーソルが空白部分にある場合にはメモリー入力順に縫い始めます。

6. 再び“M”キーを押して保存し、記憶モードを離れると、画面が一般表示に戻ります。

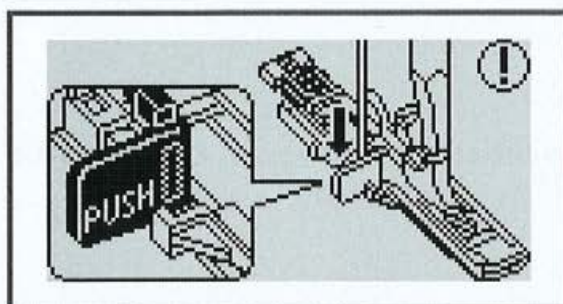
## 警告機能

### ■ 警告アイコン表示



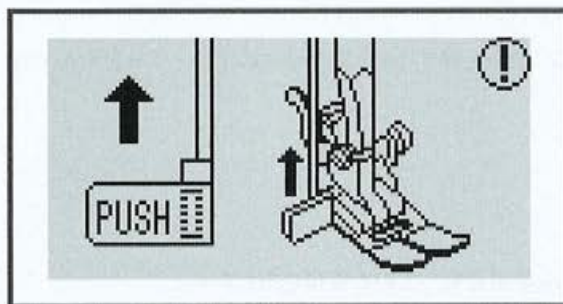
#### 押え下げ忘れ

押えを上げた状態で“スタート・ストップ”キーまたは“返し縫い”キーを押すと、押えを下げるように警告するアイコンが表示されます。



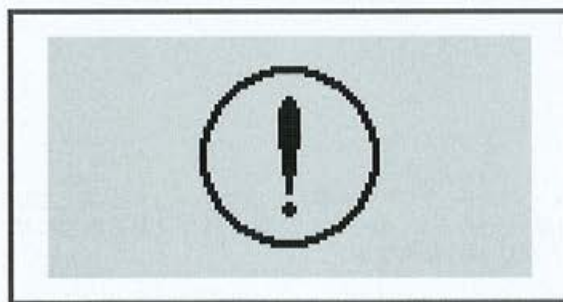
#### ボタン穴レバー下げ忘れ

ボタン穴かがり、またはつくりの縫いモードの時、ボタン穴レバーを下げ忘れたまま“スタート・ストップ”キーを押すと、モニターに警告アイコンが表示されます。縫製を続けたい場合にはボタン穴レバーを下げてください。



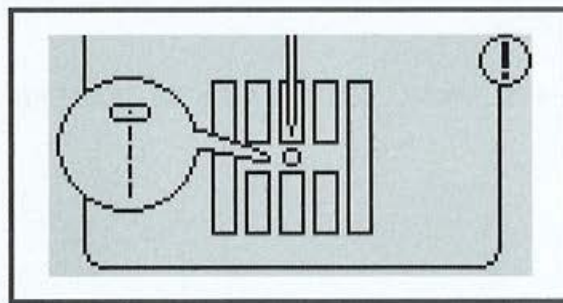
#### ボタン穴レバー上げ忘れ

ボタン穴かがり、またはつくりの縫いの模様を選択していない時、ボタン穴レバーを下げたまま“スタート・ストップ”キーを押すと、モニターに警告アイコンが表示されます。縫製を続けたい場合にはボタン穴レバーを上げてください。



#### モーター過負荷保護

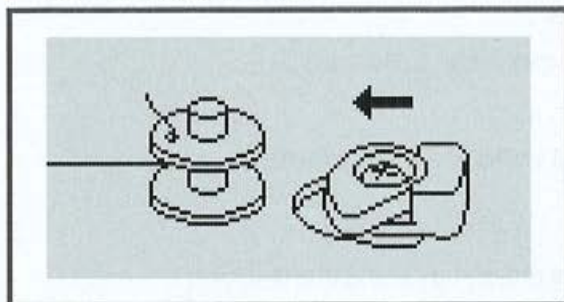
糸もつれ、または上軸ロックによりモーター過負荷となった場合、8秒連続の警告音が発せられ、警告アイコンが8秒間モニター表示されます。このとき、モーターは自動的に停止され、不具合が排除されるまで警告アイコンが表示され続けます。91、92ページの“トラブルチェック”を参照して故障に対処しますが、もし問題が解決できない場合にはお買い上げの販売店または「お客様相談係」までお問合せください。



#### 直線専用針板交換

直線専用針板に交換するに当たり、針落ち中心基点を標準設定値の“4.0”に設定して直線縫いする以外、他の模様または針落ち位置を選択できない旨、モニターに警告アイコンが表示されます。もし別の模様を選択すると、針折れの原因となります。

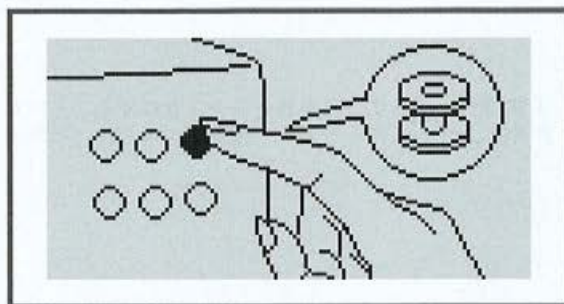
## ■ 操作説明提示の画面



ボビン押えを左に押しやる動作

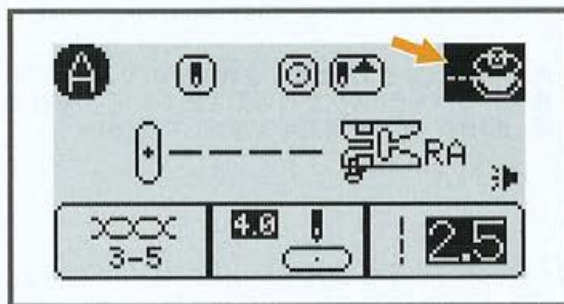
下糸巻きキーを押す前にボビン押えを左に押しやらないと、このアイコンが表示されます。

下糸巻きをする場合、先にボビン押えを左に押しやってから下糸巻きキーを押してください。



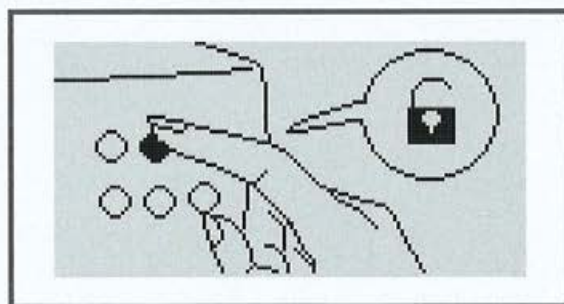
下糸巻きキーを押す

ボビン押えを左に押しやると、下糸巻きキーを押すように促すアイコンが表示されます。下糸巻きキーを押して作業を継続してください。




下糸巻き

下糸巻き作業中、このアイコンが表示されます。



ロック解除

ファンクションキーがロックされているとき、画面にロックを示すアイコンが表示されます。

“”キーを押してロック解除してください。




**警告:** ボビンが糸つまりを起こし針動作が停止した状態でフットコントローラーを踏み続けると、安全のためミシンが作動停止となります。この場合には一旦電源をオフにし、ボビンの糸くずを除去して上糸通しをやりなおし、再び電源スイッチを入れてください。



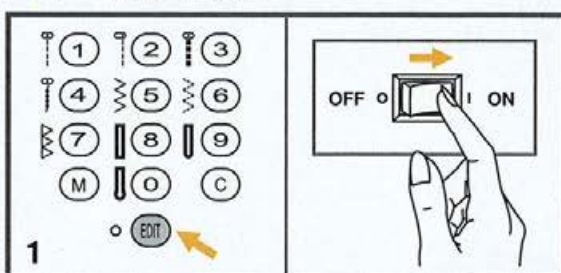
## ■ キー効果音

- 正確にキーが押された場合:短めの効果音が1回鳴ります。
- メモリーモードで、記憶した模様が20に達した場合:短めの警告音が3回鳴ります。
- 操作エラー発生:短めの効果音が3回鳴ります。
- 縫製中、機器に問題が発生して縫製できなくなった場合:8秒間連続で警告音が鳴ります。

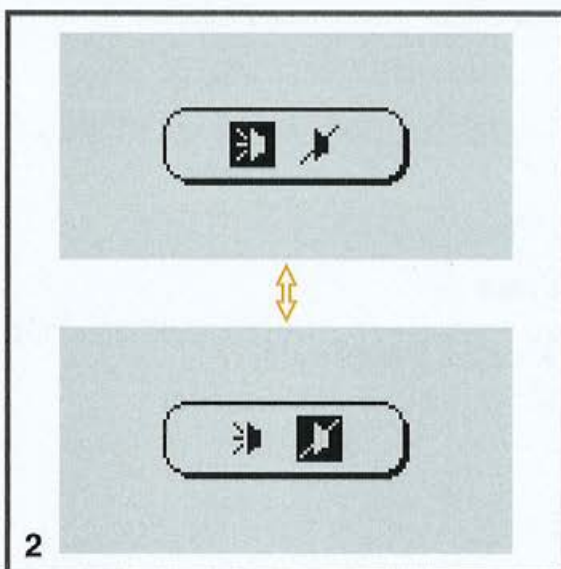
91、92 ページの“トラブルチェック”を参照してください。



 注意:故障を排除できない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談係」にお問合せください。

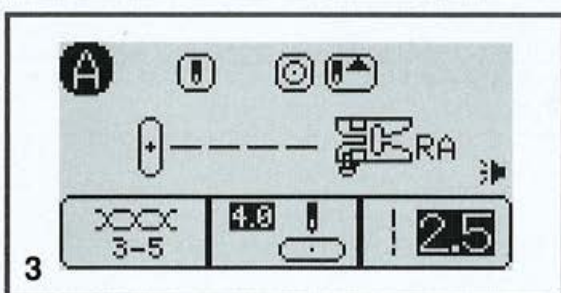
## ■ キー効果音設定



1. 正常操作のもとに、効果音をキャンセルすることができます。“EDIT”キーを押し、電源をオンにしてください。



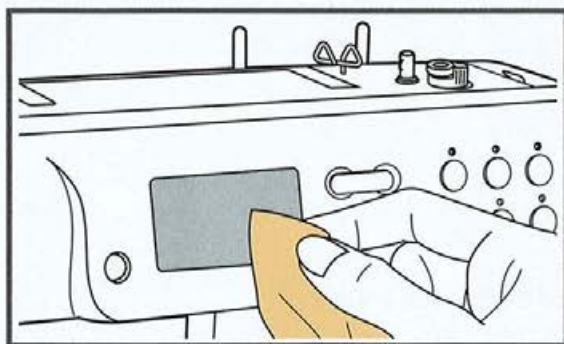
2. 画面に選択アイコンが表示されますので、振り幅調整キーでハイライトを左右移動させて“”有効果音、または“”無効果音を選択してください。



3. 効果音の有無を選択後、再び“EDIT”キーを押すと一般表示画面に戻ります。このとき効果音設定が液晶パネルに表示されます。

## ミシンのメンテナンス

### ■ 液晶パネルの清掃



⚠ 警告: ミシンのエクステリアおよび液晶パネルの清掃を開始するに当たり、感電を防止するため、必ず先に電源プラグを抜いてください。

もしフロントカバーの液晶パネルが汚れた場合、溶解力のある溶剤を用いず、布で軽く拭いてください。

### ■ エクステリア清掃

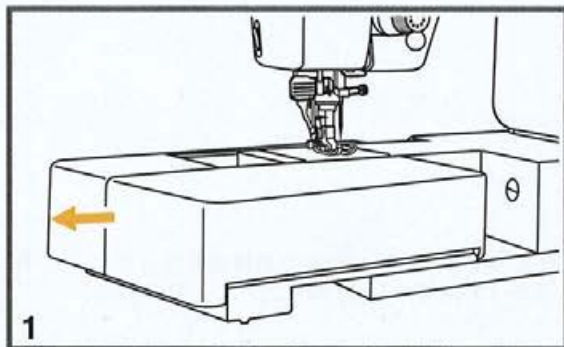
ミシンのエクステリアが汚れた場合、布に軽く中性洗剤を含ませて、軽くしぼってからミシンの表面を拭いてください。拭き終わった後、乾いた布でもう一度拭いてください。

⚠ 警告: この機器には 200 mW、300 mW および 200 mW のLEDランプが使用されています。交換が必要な場合にはお買い上げの販売店まで連絡をとってください。

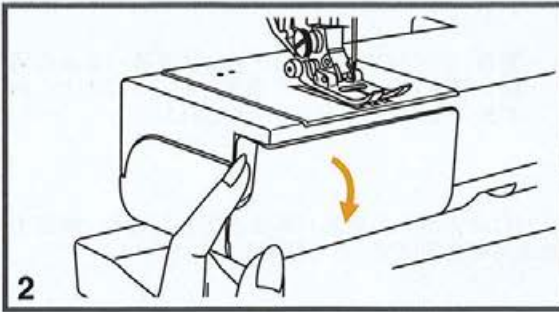
### ■ カマの清掃

カマカバー内の糸くずが多すぎると、下糸系調子が不安定となり機械の縫製機能に悪影響を与えます。定期的にかまカバー内を清掃してください。

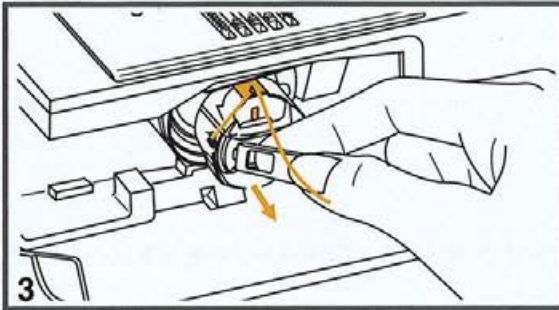
⚠ 警告: カマカバーを清掃する前には、感電防止のため必ず電源プラグを抜いてください。



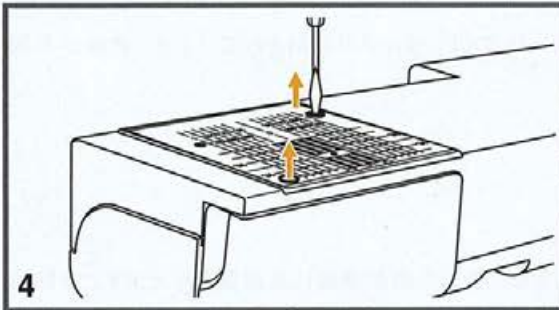
1. 補助テーブル/付属キットカバーを取り出す。



2. カマカバーを開ける。

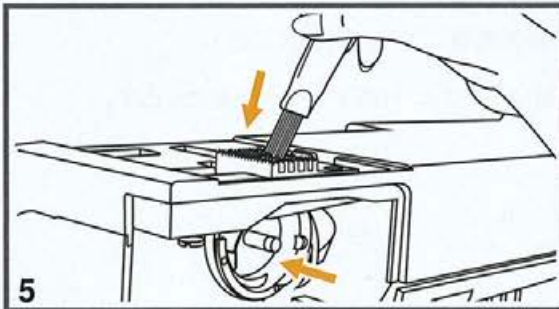


3. ボビンケースを取り出す。

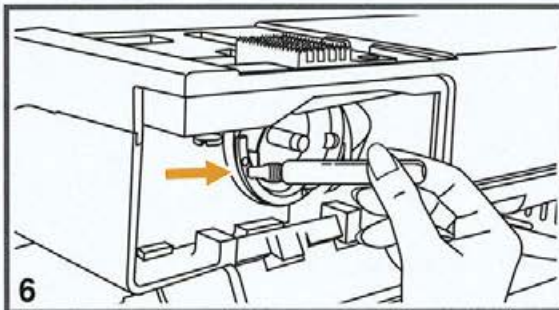


4. 針、押え、押えホルダーを取外します。

付属品のドライバーを使って針板固定ボルトをゆるめ、針板を取り外します。



5. ブラシでカマカバー内の外カマ、送り歯のほこりと布くずを清掃し、乾燥した布で拭き掃除します。



6. 図の矢印の箇所に微量の潤滑油を注します。(操作時間 15 時間から 20 時間ごとに一回の割合)

 注意: 高品質潤滑油を使用してください。

## トラブルチェック

ミシンの動作が不正常のとき、修理に出す前に、下記のチェック表に照らしてトラブル対処して、それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店または「お客様相談係」までお問合せください。

トラブル内容	原因	対処方法	参照ページ
上糸が切れる	1.上糸通しがちがっている。	1.上糸を正しく通し直す。	25
	2.上糸系調子が強すぎる。	2.上糸系調子を弱める。	40
	3.生地、針、糸の組み合わせがわるい。	3.針、糸、生地の組み合わせ表を参照。	39
	4.針取付け不良。	4.針取付けのやり直し。	31
	5.上糸がからまっている。	5.からまっている部分を除去し正しく通し直す。	25
	6.針曲がり、針先の鈍化。	6.新しい針と交換。	31
下糸が切れる	1.ボビンの選択がちがっている。	1.使用するボビンがちがうとミシンが不正常となります。正しいボビンに取り替えます。	23
	2.下糸通し(ボビン装着)がわるい。	2.下糸通し(ボビン装着)のやり直し。	23
	3.下糸調子が強すぎる。	3.下糸調子を弱める。	24
縫い目かとぶ	1.針取付け不良。	1.針取付けのやり直し。	31
	2.針が曲がったり、針先がつぶれている。	2.新しい針と交換。	31
	3.針サイズの選択がちがっている。	3.糸と生地にあった針を選択。	39
	4.押えの種類が合っていない。	4.模様にあった正しい押えを選択。	33
	5.上糸通しがちがっている。	5.上糸を正しく通し直す。	25
	6.押え圧が合っていない。	6.押え圧を正しく調整。	43
針が折れる	1.針が曲がったり、針先がつぶれている。	1.新しい針と交換。	31
	2.針取付け不良。	2.針取付けのやり直し。	31
	3.針サイズの選択がちがっている。	3.糸と生地にあった針を選択。	39
	4.押えの種類が合っていない。	4.模様にあった正しい押えを選択。	33
	5.針止めねじのゆるみ。	5.針止めねじを締め付ける。	31
	6.縫い中に生地を無理に引っ張っている。	6.両手を押えの両側に置きかるくそえて縫う。	36
	7.上糸系調子が強すぎる。	7.上糸系調子を弱める。	40
糸がはずれる	1.上糸通しがちがっている。	1.上糸を正しく通し直す。	25
	2.下糸通し(ボビン装置)がわるい。	2.下糸通し(ボビン装着)のやり直し。	23
	3.生地、針、糸の組み合わせがわるい。	3.針、糸、生地の組み合わせ表を参照。	39
	4.上糸系調子が合っていない。	4.上糸系調子を正確に調整。	40

トラブル内容	原因	対処方法	参照ページ
生地にしわが寄る	1. 上糸糸調子が強すぎる。	1. 上糸糸調子を弱める。	40
	2. 上糸通しがちがっている。	2. 上糸を正しく通し直す。	25
	3. 生地、針、糸の組合せがわるい。	3. 針、糸、生地の組合わせ表を参照。	39
	4. 縫い目長さが長すぎる。	4. 縫い目長さを調整。	41
	5. 押え圧が合っていない。	5. 押え圧を正しく調整。	43
縫い模様に変形する	1. 押えの種類が合っていない。	1. 正しい押えに交換する。	33
	2. 糸調子が合っていない。	2. 糸調子を正確に調整。	40
	3. 縫い目長さが合っていない。	3. 縫い目長さを調整。	41
	4. 縫い模様が圧縮変形、または引き伸ばされている。	4. 模様調整ダイヤルで調整。	42
糸がつかまる	1. ボビンの糸つまり。	上糸とボビンを取外し、はずみ車を手動でゆっくりと前後に回し、つまった糸を取り除く。	89
	2. カマの糸つまり。		
異常音がする	1. 針板の下にゴミがたまっている。	1. 針板を取外して送り歯とカマを清掃。	89
	2. 間違った潤滑油を使用。	2. ミシンを代理店に送り、徹底メンテナンスを依頼。	--
	3. 針が曲がったり、針先がつぶれている。	3. 新しい針と交換。	31
	4. 電源をオンにした時、モーター回転の共鳴音発生。	4. 正常。	--
	5. カマ内部によけいな糸が巻き込まれた。	5. 上糸とボビンを取外し、はずみ車を手動でゆっくりと前後に回して糸くずを取り除く。	89
ミシンが動かない	1. 電源をオンにしていない。	1. 電源をオンにする。	17
	2. “スタート・ストップキー”押し忘れ。	2. “スタート・ストップキー”を押す。	8
	3. 押え上げレバーの下げ忘れ。	3. 押え上げレバーを下げる。	86
	4. カマ内部によけいな糸が巻き込まれた。	4. 上糸とボビンを取外し、はずみ車を手動でゆっくりと前後に回して糸くずを取り除く。	89
	5. プラグ差込、コード線接続の誤り。	5. プラグ差込、コード線接続が正しいかを確認。	16

# 模様詳細表










































## A グループ

模様の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
一般模様	1	4.0	0.0~8.0	2.5	0.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	
	2	8.0	0.0~8.0	3.0	0.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	
	3	4.0	0.0~8.0	2.5	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	
	4	4.0	1.0~7.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	
	5	6.0	0.0~8.0	3.0	0.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	
	6	6.0	0.0~8.0	1.0	0.3~5.0	RA	*	*		*	RA	*	
	7	6.0	4.0~8.0	3.0	1.0~3.0	RI	*	*		*	RA	*	
ボタン穴 模様	8	5.4	3.0~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	9	5.0	3.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	0	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							

\* : 設定値調整可能

## B グループ

模様の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
一般模様	00	4.0	0.0~8.0	2.5	0.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	01	8.0	0.0~8.0	3.0	0.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	02	4.0	0.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	03	4.0	0.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	04	4.0	0.0~8.0	2.5	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	05	4.0	1.0~7.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	06	6.0	0.0~8.0	3.0	0.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	07	6.0	1.0~8.0	1.0	0.3~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	08	6.0	2.5~8.0	2.5	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	09	6.0	4.0~8.0	3.0	1.0~3.0	RI	*	*		*	RA	*	*
	10	6.0	2.5~8.0	3.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	11	6.0	2.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	12	6.0	2.5~8.0	3.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	13	6.0	2.5~8.0	3.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	14	6.0	2.5~8.0	3.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	15	4.0	2.5~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	16	3.0	2.5~6.0	2.0	1.0~5.0	RM	*	*		*	RA	*	*
	17	3.0	2.5~8.0	1.5	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	18	3.0	2.5~8.0	1.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RM	*	*
	19	4.0	2.5~6.0	1.0	1.0~3.0	RM	*	*		*	RA	*	*
	20	6.0	2.5~6.0	1.0	1.0~5.0	RM	*	*		*	RA	*	*
21	6.0	2.5~8.0	1.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*	

模様 の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
一般模様	22 	6.0	2.5~8.0	1.5	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	23 	4.0	2.5~8.0	1.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	24 	4.0	2.5~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	25 	6.0	2.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	26 	4.0	3.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
止め縫い	27 	4.0	0.0~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*			*	RA		
接ぎ合せ縫い	28 	4.0	0.0~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*			*	RA		
仮縫い	29 	4.0	0.0~8.0	5.0	1.0~5.0	RA	*			*	RA		
ボタン穴	30 	5.4	3.0~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	31 	5.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	32 	5.0	3.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	33 	5.0	3.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	34 	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	35 	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	36 	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	RJ							
	37 	5.0	2.5~7.0	2.0	0.3~3.0	RJ							
	38 	6.0	2.5~7.0	1.0	1.0~2.0	RJ							
39 	6.0	3.5~7.0	2.0	2.0~3.0	RJ								
穴かがり	40 	7.0	5.0~8.0			RK							
	41 	7.0	5.0~8.0			RK							
ボタン穴	42 	5.0	2.5~8.0	2.0	1.0~2.0	RJ							
ボタン付け	43 	3.0	2.5~4.5			RC							
かんぬき 止め	44 	2.0	1.0~3.0	0.5	0.4~1.0	RJ							
	45 	2.0	1.0~3.0	0.5	0.0~1.0	RK		*					
つくろい 縫い	46 	8.0	3.5~8.0	2.0	1.0~2.0	RJ							
	47 	8.0	3.5~8.0	2.0	1.5~2.0	RJ							
	48 	8.0	3.5~8.0	2.0	1.0~2.0	RJ							
	49 	8.0	3.5~8.0	1.0	1.0~3.0	RK							
ジグザグ 交差	50 	6.0	3.0~8.0	1.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	51 	6.0	3.0~8.0	1.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	52 	6.0	2.5~8.0	3.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	53 	6.0	3.0~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	54 	4.0	3.0~8.0	1.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	55 	8.0	3.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	56 	8.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	57 	6.0	3.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
サテン縫い	58 	8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	59 	8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	60 	8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	61 	8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	62 	8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*

模様 の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能							
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー	
サテン縫い	63		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	64		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	65		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	66		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	67		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	68		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	69		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	70		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	71		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	72		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	73		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	74		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
	75		8.0	3.0~8.0	0.5	0.0~1.0	RK	*	*	*	*	RK	*	*
飾り縫い	76		8.0	3.0~8.0	1.5	1.0~2.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	77		8.0	3.0~8.0	1.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	78		8.0	3.5~8.0	2.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	79		8.0	4.0~8.0	2.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	80		8.0	3.5~8.0	1.5	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	81		8.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	82		7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	83		7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	84		8.0	2.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	85		8.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	86		8.0	4.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	87		8.0	4.0~8.0	1.5	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	88		8.0	3.5~8.0	1.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	89		8.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	90		8.0	3.5~8.0	2.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	91		8.0	4.0~8.0	2.0	1.8~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	92		8.0	3.5~8.0	2.0	1.8~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*

\* : 設定値調整可能












































## C グループ

模様の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
パッチワ ークキルト	00	4.0	0.0~8.0	2.5	1.0~5.0	RA	*			*	RA	*	
	01	4.0	0.0~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	02	7.8	0.0~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	03	6.0	4.5~8.0	1.0	1.0~2.5	RA	*	*		*	RA	*	*
	04	1.8	0.0~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	05	2.5	2.0~8.0	2.5	2.5~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	06	2.5	2.0~8.0	2.5	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	07	2.0	1.5~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	08	3.0	2.0~8.0	2.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	09	3.0	2.0~8.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	10	2.0	2.0~8.0	1.0	1.0~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	11	6.0	2.5~8.0	3.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	12	6.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	13	6.0	2.5~8.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	14	8.0	3.5~8.0	3.0	2.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	15	8.0	3.5~8.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	16	8.0	3.5~8.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	17	8.0	3.5~8.0	2.5	2.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	18	4.0	0.0~8.0	2.5	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	19	8.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	20	5.0	2.5~8.0	3.0	1.5~5.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	21	5.0	2.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	22	8.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	23	7.0	3.5~8.0	1.4	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
24	7.0	3.5~8.0	1.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*	

\* : 設定値調整可能

## D グループ

模様の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
飾り縫い	00	5.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	01	5.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	02	5.0	3.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	03	7.0	3.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	04	7.0	3.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	05	7.0	3.5~8.0	2.0	2.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	06	7.0	3.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*

模様 の名称	振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
	自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
07 	7.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
08 	7.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
09 	7.0	4.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
10 	7.0	4.5~8.0	2.5	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
11 	7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
12 	7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
13 	7.0	4.5~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
14 	7.0	4.5~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
15 	8.0	5.0~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
16 	8.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
17 	8.0	5.0~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
18 	8.0	4.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
19 	8.0	4.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
20 	8.0	4.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
21 	8.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
22 	8.0	5.0~8.0	2.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
23 	8.0	4.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
24 	8.0	4.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
25 	8.0	5.0~8.0	2.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
26 	8.0	5.0~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
27 	8.0		3.0		RK	*	*		*	RK		*
28 	8.0		3.0		RK	*	*		*	RK		*
29 	8.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
30 	8.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
31 	8.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
32 	8.0	5.0~8.0	2.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
33 	7.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
34 	8.0	5.0~8.0	1.8	1.0~2.5	RK	*	*		*	RK	*	*
35 	8.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
36 	8.0	4.5~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
37 	7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
38 	8.0	4.5~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
39 	8.0	4.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
40 	8.0	4.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
41 	7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
42 	7.0	3.5~8.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
43 	7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
44 	7.0	3.5~8.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
45 	7.0	4.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
46 	8.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
47 	5.0	3.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*

飾り縫い

模様 の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能							
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー	
飾り縫い	48		5.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	49		8.0	3.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	50		4.0	0.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	51		7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	52		7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	53		7.0	3.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	54		7.0	3.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	55		8.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	56		8.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	57		7.0	5.0~8.0	1.5	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	58		8.0	5.0~8.0	3.0	1.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	59		7.0	3.5~8.0	2.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	60		7.0	5.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	61		7.0	5.0~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	62		8.0	3.5~8.0	2.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	63		7.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	64		8.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	65		8.0	5.5~8.0	3.0	2.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	66		8.0	5.5~8.0	1.5	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	67		8.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	68		7.0	3.5~8.0	1.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	69		7.0	4.5~8.0	3.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	70		8.0	4.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	71		8.0	4.0~8.0	2.5	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	72		7.0	3.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	73		8.0	5.0~8.0	2.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*
	74		5.0	4.0~8.0	1.0	1.0~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
	75		7.0	4.5~8.0	2.0	1.5~3.0	RA	*	*		*	RA	*	*
76		7.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*	
77		8.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*	
78		8.0	5.0~8.0	3.0	2.0~3.0	RK	*	*		*	RK	*	*	

\* : 設定値調整可能

## ■ ブロック体文字

模様 の 名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能							
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー	
ブロック 体文字	01	1	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	02	2	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	03	3	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	04	4	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	05	5	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	06	6	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	07	7	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	08	8	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	09	9	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	10	0	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	11	A	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	12	B	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	13	C	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	14	D	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	15	E	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	16	F	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	17	G	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	18	H	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	19	I	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	20	J	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	21	K	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	22	L	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	23	M	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	24	N	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	25	O	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	26	P	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	27	Q	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	28	R	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	29	S	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	30	T	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	31	U	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	32	V	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	33	W	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	34	X	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	35	Y	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	36	Z	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	37	a	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	38	b	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	39	c	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*

模様 の名称		振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能							
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー	
ブロック 体文字	40	d	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	41	e	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	42	f	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	43	g	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	44	h	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	45	i	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	46	j	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	47	k	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	48	l	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	49	m	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	50	n	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	51	o	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	52	p	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	53	q	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	54	r	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	55	s	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	56	t	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	57	u	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	58	v	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	59	w	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	60	x	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	61	y	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	62	z	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	63	-	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	64	.	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	65	'	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	66	,	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
	67	!	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
68	-	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
69	+	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
70	=	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
71	&	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
72	÷	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
73	?	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
74	%	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
75	(	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
76	)	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
77	[	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	
78	]	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*	

\* : 設定値調整可能

■ 筆記体文字

模様の名称	振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
	自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
01 <i>1</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
02 <i>2</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
03 <i>3</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
04 <i>4</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
05 <i>5</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
06 <i>6</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
07 <i>7</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
08 <i>8</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
09 <i>9</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
10 <i>0</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
11 <i>A</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
12 <i>B</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
13 <i>C</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
14 <i>D</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
15 <i>E</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
16 <i>F</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
17 <i>G</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
18 <i>H</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
筆記体文字 19 <i>I</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
20 <i>J</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
21 <i>K</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
22 <i>L</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
23 <i>M</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
24 <i>N</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
25 <i>O</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
26 <i>P</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
27 <i>Q</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
28 <i>R</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
29 <i>S</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
30 <i>T</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
31 <i>U</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
32 <i>V</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
33 <i>W</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
34 <i>X</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
35 <i>Y</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
36 <i>Z</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
37 <i>a</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
38 <i>b</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
39 <i>c</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*

模様の名称	振り幅(mm)		縫い目長さ(mm)		押え コード	機能						
	自動	手動	自動	手動		返し縫い	自動止め縫い	拡大	反転	押え	二本針	メモリー
40 <i>d</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
41 <i>e</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
42 <i>f</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
43 <i>g</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
44 <i>h</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
45 <i>i</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
46 <i>j</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
47 <i>k</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
48 <i>l</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
49 <i>m</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
50 <i>n</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
51 <i>o</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
52 <i>p</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
53 <i>q</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
54 <i>r</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
55 <i>s</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
56 <i>t</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
57 <i>u</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
58 <i>v</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
59 <i>w</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
60 <i>x</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
61 <i>y</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
62 <i>z</i>	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
63 -	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
64 .	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
65 '	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
66 ,	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
67 !	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
68 -	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
69 +	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
70 =	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
71 &	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
72 ÷	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
73 ?	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
74 %	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
75 /	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
76 /	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
77 /	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*
78 /	8.0	6.0,8.0	---	-----	RK		*					*

\* : 設定値調整可能

## 仕様

形 式	BC9800
定格電圧	100V
消費電力	70W
周波数	50/60HZ
LED ライト	5V Max.700mw
寸 法	ミシン本体:幅438mm × 奥行き180mm × 高さ303mm ワイドテーブル、模様表示板セット時:幅510mm × 奥行き 180mm × 高さ340mm
重 量	11.8 Kg (本体のみ)



株式会社 **ジューキ**

本社/〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-11-11 TEL 03 (3265) 2851 (代表)

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。